

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	納戸 美佐子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助の理論と方法 I	2	通年	必修	いいえ	82

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機をみると「必須科目である」が92.3%、「資格取得に必要である」27.7%、「関心のある内容である」1.5%であった。本科目は、社会福祉士国家試験受験科目のひとつであり、社会福祉士等の実習とも関連する科目である。講義では、ソーシャルワークについて学生の関心が高まるように、テキストだけでなく事例や時事問題を活用した。相談場面に関するビデオ教材も活用し、相談場面のイメージを抱くことができるようにした。また、講義内で確認問題を実施し、理解度を学生本人が確認できるようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績が80点以上であった学生は、全体の約41%、成績が70点以上の学生は、全体の約66%であったこれらのことから、全ての学生が標準レベル以上であると考えられた。再試対象者は10%であったが、再試には該当者全員が合格点に達し、再履修が必要な学生は0名であった。また、学生による授業評価の到達度自己評価において、「自分なりの目標を達成した」平均値3.9点(かなりそうだと思う19.1%、わりにそうだと思う47.1%、まあまあそうだと思う33.8%)、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」平均値4.1点(かなりそうだと思う33.8%、わりにそうだと思う38.2%、まあまあそうだと思う27.9%)であった。これらのことから、教育目標は「達成された」と判断した。今後は、講義内で振り返り問題に取り組む時間を確保するなど、学生自身が理解度を確認できる教材などの作成および活用について検討していきたい。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP・カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性: 本科目は、カリキュラムマップにおいて福祉専門科目のひとつであり、社会福祉士および精神保健福祉士の国家試験受験資格の必須科目であると同時に、卒業に関わる必須科目である。再履修者もなく、多くの学生が標準レベルに達していることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DPにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性: 全ての学生が標準レベルに達していたことからDPにおける内容的妥当性に問題はないと考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質において、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」および「説明は理解しやすいものであった」は、平均値4.1点、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」および「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」は、平均値4.0点であった。「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均値が3.8点であった。今後、授業内において、授業内容を復習出来る課題を提示し、学生が自らの学びを確認出来るようにしていきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>再履修者は0名であり、全ての学生が標準レベル以上に達したと考えられる。次年度の講義では、学生が主体的に授業に参加できるように工夫することが課題である。また、約5割の学生が予復習の時間を確保していなかった。昨年は、約7割の学生が予復習の時間を確保していないと回答していたため、昨年と比べると改善されたと考えられる。今後も、予復習として取り組むべき課題を具体的に提示していきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助の理論と方法Ⅱ	3	通年	必修	いいえ	71

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機については、「必修科目である」85.7%、「資格取得に必要である」41.1%、「関心のある内容である」3.6%、「単位数を確保する」1.8%であった。本科目は1年次の「相談援助の基盤と専門職」、2年次「相談援助の理論と方法Ⅰ」での学習内容の理解を前提とした科目であると同時に、「相談援助の理論と方法Ⅱ」では難度が高くなり、これまでにこの科目に関心があった学生でさえ学習意欲の低下、理解が困難になるなどのおそれが予想される科目である。ソーシャルワークを学ぶ上でなぜこのような内容の理解が必要であるのかということ、今学んでいることがソーシャルワーク実践にどのように位置づけられるのかということを伝えることに努めた。また、そのための手法として、実践事例を用いた解説や視聴覚教材の活用、時事や身近な話題などと関連させた解説などを多く取り入れるように努めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
<p>前期試験の平均点75.1点、後期試験の平均点79.3点であった。学習到達度の自己評価においては、「知識・理解」(DP1)において「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(かなりそうだと思う8.8%、わりにそうだと思う57.9%)「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」(かなりそうだと思う5.3%、わりにそうだと思う52.6%)、「思考・判断」(DP2)においては、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」(かなりそうだと思う5.3%、わりにそうだと思う50.9%)、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」(かなりそうだと思う5.3%、わりにそうだと思う54.4%)、「関心・意欲」(DP3)においては「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」(かなりそうだと思う7%、わりにそうだと思う54.4%)であった。これらのことから、本科目における教育目標はある程度達成できたと考える。</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP,行動目標からの内容的妥当性 4(2)に記載したように、試験の結果、学生の学習到達度自己評価から、DPにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性に問題はないと考える。</p> <p>②CP,カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性 本科目は1年次「相談援助の基盤と専門職」および2年次「相談援助の理論と方法Ⅰ」での学習内容の理解を前提とした科目であると同時にこれら2科目と比較して難度が高くなるため、これら2科目での学習内容を振り返りつつ、他の関連科目での学習内容も取り入れつつ、総合的かつ包括的にソーシャルワークを実践するための視点と求められる知識を培うことを意識した授業内容と展開を心掛けた。相談援助に関わる関連科目での学びの統合が求められる科目という点から、適切な位置づけである。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価においては、平均値3.6～3.8であり、おおむね高い評価を得たと考える。一方、1回30分程度以上の予習を63.2%、復習を59.6%の学生が一度も行っていないことは反省点である。学生が学びを深めたい意欲をもち、自発的学習につながるような授業の展開を工夫していきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目の教育目標はある程度達成できたと考えるが、学生の学びを深める意欲を引き出し、主体的自発的に学ぼうとする態度の形成につながるよう、さらなる改善を行いたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
地域福祉論	2	通年	必修	いいえ	86

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>地域における具体的な福祉問題をテキストの学習箇所で紹介し、解説を行いソーシャルワーカーとしてどのように理解し取り組むかを考えられるよう説明した。僅かではあったが準備と復習を行った学生が30%いたことは評価できる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	達成された	やや達成された	どちらともいえない	どちらともいえない
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>「学習到達度の自己評価」ではおおむね達成されたと判断する。「学習量の評価」は復習の促しをしたが結果として十分とは言えない結果であった。適宜参考文献の紹介はしたものの図書館利用をした学生は一部を除き「利用しなかった」者が大部分であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は「必須科目である」が94.0と高く、「資格取得に必要」は19.4であった。「到達度自己評価」は全般的に低い結果であったのは残念だが「知識を確認、修正したり新たに得ることができた」にやや高い評価であったことは成果だと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>具体的な話をすることで地域への理解が得られるのではないかと考え講義をしてきたが学生の考えと違いがあったようで「勉強の仕方がわ」からなかった」とする意見があった。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>達成状況は十分とは言えないが、対象者そのものではなく地域に暮らす人々であると認識されるまでには達したと判断できる。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会保障論	2	通年	必修	いいえ	88

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機を見ると、「必修科目である」93.1%、「資格取得に必要である」20.8%であった。本学科における必修科目であるとともに、社会福祉士・精神保健福祉士指定科目であることから、国家試験の出題傾向を念頭に置きつつ、法改正が頻繁に行われる社会保障制度について、最新の情報を提供することに努めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>試験は前期・後期の2回実施した。前期試験の平均点は63.98点(福祉・養護教諭コース2年63.95点、子ども家庭福祉コース2年67.73点)、後期試験の平均点は67.49点(福祉・養護教諭コース2年67.75点、子ども家庭福祉コース2年70.77点)であり、初めて子ども家庭福祉コースの平均点が福祉・養護教諭コースの平均点を上回った。再試対象者は25名、理想的レベル(80点以上)に達した者は12名となった。学生の授業欠席率について調べたところ、前期の平均は2.95%であったが、後期の平均は5.29%と、昨年度を下回った。到達度自己評価について、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値がともに3.4、他の項目の平均値は3.2-3.3の範囲内に収まっている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみると本科目は「必修科目」、「福祉専門科目」であり、社会福祉士・精神保健福祉士の指定科目でもある。国家試験を受験する予定の学生が多く、学生の講義に対する動機付けは高い。試験の平均点が60点台とやや低い、これについては、学生の授業以外における学習量の問題であると考え。国家試験受験のために必要な最低限度の内容となっているため、内容的には妥当であると考え。②DP行動目標から見ると、自己評価と成績の分布に相関関係がみられることから、内容的には妥当であると考え。よって、内容的妥当性には問題ないと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価のうち、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」「説明は理解しやすいものであった」「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値はいずれも3.4であった。いずれも2017年度より平均値がやや低下している。また、予習をしていない学生が53名、復習をしていない学生が49名と、授業以外の学習をしていない学生が全体の6～7割に上っている。その理由について、「何をしたらいいかわからなかったから」、「授業で十分だったため」、「レジュメがあるから」などの回答があった。他方、授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習について「復習」、「ネット」、「テスト勉強のための勉強」、「ノート作り」などの回答があった。前期の講義の冒頭で、予復習の仕方について説明をしているが、社会保障制度は非常に複雑であり、授業以外で学生が学習する量を、教員に過重な負担を掛けない程度でいかに増やすかが課題となろう。学生の意見については、「パワポ、レジュメ説明がとてもわかりやすかったです。授業の開始、修了とも適格(ママ)で理想的な先生です」、「いつも、大変なのにレジュメありがとうございます!」と、非常に高く評価するコメントが見られた。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>福祉専門科目であり、かつ社会福祉士・精神保健福祉士指定科目である本科目の位置づけから、知識理解、意欲関心のいずれもある程度は達成できたと考えている。今後は授業以外の学習(とりわけ予復習)の重要性を学生に伝えることが課題となろう。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
高齢者福祉論	2	通年	必修	いいえ	85

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は2年次を対象とした福祉専門科目(必修)である。また社会福祉士指定科目の1つでもある。授業は教科書を中心に展開し、単元ごとにレジュメを作成するなど学生の理解を助けた。特に法制度改正など国家試験で出題が予想される部分については入念に解説を行うとともに、コメントカードを通じて学生の理解度の把握に努めた。また、新聞記事等を活用し、高齢者福祉に関する最新情報の提供を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>最終的な試験結果の平均は77.6点であり、本科目の教育目標はある程度達成されたと考える。授業評価アンケートでの学生の到達度自己評価においても「自分なりの目標を達成した」(まあまあと思う38.6%、わりにと思う40.8%、かなりと思う20.0%)、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(まあまあと思う18.6%、わりにと思う50.0%、かなりと思う30.0%)などが示された。</p> <p>一方で授業評価アンケートからは、本科目を通して知識の修得はできたものの、学生の主体的学習態度を引き出すと言う点では課題があることが明らかとなった。例えば、学生が授業の課題以外に学習に取り組んだ割合は「していない」(75.7%)であった。また、授業参加のための準備学習をしていない学生が41.4%、授業の復習をしていない学生が37.1%見られた。図書や雑誌の利用も「利用しなかった」90.0%となっていた。</p>					
* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP上の位置づけ 試験結果(平均77.6点)や学生の達成度自己評価結果からも教育目標は概ね達成しており、DP上の位置づけに問題はないと考える。</p> <p>②CP, カリキュラムマップ上の位置づけ 本科目は福祉専門科目(必修)であり、社会福祉士指定科目でもある。3年次の相談援助実習の領域の1つに高齢者福祉領域があることから、本科目の配当年次に問題はないと考える。また教育目標も概ね達成しており、CP・カリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本科目の教育目標はある程度達成したと判断できる一方で、授業評価アンケートからは学生の自発的学習を十分に引き出すことができなかつたことが示された。また予習・復習についても十分に取組めていない現状が明らかとなった(上記の他に、授業での図書館利用率1.8%、インターネットの利用率5.6%)。この点では昨年度同様に毎回の授業ごとに予習・復習のポイントを的確に提示し、学生の学習量を担保していく必要があると考える。また課題を課すことも検討する必要があると考える。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目の教育目標はある程度達成したと判断できる。しかし、再試験対象者が6名存在していることや最終成績の差が大きいこと(最高点94点、最低点38点)から、学生の理解度に差があることが推察される。この点、毎回提出させるコメントカードの内容を踏まえた復習や小テストの定期的実施も必要と思われる。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	田代 京子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
高齢者福祉論	2	通年	必修	いいえ	85

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①高齢者福祉論の介護過程や介護各論を担当している。「介護技術」の授業は、技術演習を中心に授業展開がなされることが多いが介護技術を理論で理解をさせるための工夫として、限られた時間内で内容を絞り「エビデンスに基づいて介護実践」を講義室内の空間を活用して『みえる化』授業展開を指導計画・指導案に盛り込み実施した。例えば介護現場で使われている福祉用具等を使用して実際に演習体験を導入し、授業を動きのある魅力的なものに努力した。この効果は毎回提出をさせているコメントカード等に理解しやすかったと効果を得ている。</p> <p>②コメントカードについては、全学生に質問や感想等を記入させ、次の授業冒頭に解説・回答を行っている。2018年度はこのカードの提出率が80%を超えており学習意欲の高さを感じた。しかし、講義10日間で一度もカードを提出していない学生が8名いた。一部の学生の授業理解や思考の可視化が出来ていない事は今後の課題と思う。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお願いします。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値60点満点の48点(100点満点で80点)であった。再試験者が6名で全員標準的レベル到達し、再履修者はいなかった。60点満点が2名いたことも例年になく高得点者が多かったことも、知識理解が達成されたと思う根拠のひとつだ。目標別にみると知識理解に関しては83%、思考判断に関する問題(事例問題)は45%と低い。</p> <p>事例問題は、事例家族を理解した上で問題提起された課題を解決するための思考が問われるが、毎年、この考察する力をどう獲得するかが課題として残るため、思考の可視化や多様な考え方を目標達成できる授業展開方法の検討をしたい。</p> <p>2018年度は思考の可視化という点でコメントカード使った方法等工夫を行ったが次年度は提出率を上げていく方法や思考力を上げる課題を与えていくことも検討したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は、高齢者に対する支援を考える場合に最も基本的基礎科目であり、必須である。高齢者を総合的に理解する知識を取得する科目であるが、社会福祉士国家試験を受けない学生や高齢者支援をしないと考える学生も受講する。この学生のモチベーションを上げる面に課題を感じるが、高齢者福祉には一応に興味を示しており熱心に学習し、一定の成績も収めていることから、内容的妥当性はあると考える。</p> <p>②DP行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から思考判断に関する(事例検討)目標達成度が低い。分析してみると事例検討を科目で履修している学生にとっては正解率は高いが一部のこの科目で初めて学習する学生にとっては、どう支援すれば良いのかが短い授業時間の中で理解出来なかったと考える。本年度はこの思考力を上げていく授業展開を考察して、内容検討を実施したい。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>昨年度の授業展開や質の向上の方策等継続させながら、思考判断を向上させるための目標として、事例を事前に提示して自宅での学習の進め方等も示していきたい。授業を情報伝達の場にしないこと、学生の学習支援の場と捉えて学びを支援するため、学生の到達目標、(学習内容の理解度)を教員が欲張らず、しかし曖昧な目標にせず、“凝縮エッセンス”を十分に検討したい。このために授業を支える資料の改訂も行う。 授業展開においては『みえる』授業を継続し、いきものである授業空間を魅力あるものにしていきたい。 また、系統的に復習、確認がとれるよう改善する。同時に次の授業につながるような課題の提出の仕方考え、学生自身が短時間でも自宅学習を行い学びたいと思う意欲高揚に繋げていける工夫をする。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は、高齢者の生活支援がテーマである。したがって日々の生活は学生が毎日行っているため、身近なテーマであることやイメージが取りやすい科目であることは、長所ではあるが、学生の生活観は個々の生活背景や生活史の違いによって様々であり、高齢者や障害者の生活を理解するには充分ではない。そこで、この科目では多様な生活支援の過程でどのようなニーズを発見していくのか、高齢者や障害者の生活史・生活観、価値観などをどのように理解を図り、支援を具体化して他の職種と連携して援助するかを学生自らが考え、意見が言える授業にしていかなければならない。 しかし、この科目に与えられた時間内にこの目標をすべて達成させることが出来ていない。 教員中心の講義方式だけでなく、学生が主体性をもって学習できるように今ある課題を改善し、しっかりとした指導計画・指導案を作成し実践していきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
障害者福祉論	2	後期	必修	はい	85

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>身近に障害者との関わりのない学生においては、理解が難しい科目でもある。障害者の福祉について制度の運用面だけでなく、各々の障害についてもその理解と援助について解説した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>制度面の知識については学期末のテストで評価し、平均点を勘案しても一定の到達点にある。授業アンケート結果からは全体として教員が意図した水準に到達したか否かについて判断は難しい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>内容について概ね妥当であると考えられる</p>
--	----------------------------

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン
ターネット利用」学生の意見など

障害者福祉の個々の課題について学生に伝えていき、ともに考えていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

知識としては一定にラインをクリアした。次年度以降更江に洞察・探求が深まるように授業を展開したい。

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
就労支援サービス論	3	後期	選択	いいえ	41

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は3年次の社会福祉士指定科目であり、「社会福祉実践の展開」をねらいとした福祉専門科目である。受講動機を見てみると、「資格取得に必要である」が71.4%、「関心のある内容である」が8.5%となっており、資格取得のための履修であることがうかがえる。前述のとおり本科目は社会福祉士指定科目であるため、授業はできるだけテキストに沿う内容で進めると同時に、新聞記事で時事的な問題を提示したり、DVDなどの視聴覚教材を用いたりして、学生が就労支援の実際をイメージ化できるよう努めた。加えて、障害者や生活困窮者への就労支援の場で実践を行っている講師を招き、就労支援の具体的内容について事例などを提示してもらい、就労支援への意欲関心を高められるようにした。</p> <p>また国家試験も意識化できるよう、過去問を適宜提示し、授業内容と国家試験問題の内容が結びつくようにした。また毎回のコメントカードにより学生の質問や意見等を求め、次回の講義の冒頭で質問等に答えるなどのフィードバックを行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は71.4点、中央値は76点であり、再試対象者は10名であった。評価割合はA評価14.6%、B評価22.0%、C評価19.5%、D評価24.4%、E評価17.1%となっており、D評価、E評価が41.5%を占めていた。さらに制度内容等をわかりやすく伝えていく工夫を行い、底上げ図っていく必要がある。</p> <p>学生の「自分なりの目標を達成した」の自己評価では、平均値3.7、中央値4.0であった。またDP1に関わる「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「事象を理解する視点や考えを得ることができた」の平均値は3.8-4.0であり、DP2に関わる「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値は3.7-3.9であった。これらの点からやや達成されたと判断した。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性</p>
---	---------------------------------------

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価では、各項目とも平均値3.7-4.0、中央値4.0となっており、概ね妥当であったと考える。ただ各項目において「少しそうでないと思う」と回答した学生が1-2名存在しており、すべての学生が理解できるような、より噛み砕いた説明の工夫をしていく必要がある。また自由回答において「(レジュメの)穴埋めの部分が分かりにくいときがあった」とのコメントがあった。今後はよりわかりやすいレジュメ作成に努めていきたい。</p> <p>学習量の評価では、2, 3回の予習をした学生は8%、4, 5回の予習をした学生は2%、2, 3回の復習をした学生は14%、4, 5回の予習をした学生は2%にとどまった。自発的学習についても5%にとどまった。課題等を提示することにより、学習を促していきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は3年次の社会福祉士指定科目であり、「社会福祉実践の展開」をねらいとした福祉専門科目である。制度論が中心の科目ではあるが、就労支援の実際をできるだけイメージ化できるよう工夫し、学生の意欲関心を高めて、自発的学習をうながしていきたい。またわかりやすい説明を心がけ、学生の理解を促して、成績の底上げを図っていきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
権利擁護論	3	後期	選択	いいえ	59

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機を見ると、「資格取得に必要な」75.6%、「必修科目である」39.0%であった。社会福祉士・精神保健福祉士指定科目であることから、国家試験の出題傾向を念頭に置きつつ、相談援助に必要な成年後見制度とその知識の前提となる民法・行政法の内容を中心に、なるべく理解しやすく伝えるよう努めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	やや達成された	どちらともいえない		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>後期試験の平均点は73.02点であり、昨年度を上回った。うち福祉・養護教諭コースの平均点は71.61点であった一方、子ども家庭福祉コースの平均点は84.7点と、極めて高かった。その結果、理想的レベル(80点以上)に達した者は22名であったが、再試対象者は9名にとどまった。到達度自己評価について、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が3.9、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値は3.6(中央値4.0)、そのほかは3.3-3.6の範囲内にほぼ収まっている。ただ、学生の欠席率は10.65%であり、平均すると5～6名の学生が毎回欠席していることになる。とくに実習前後で20%以上の欠席率を示した回があったことが残念である。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみると本科目は「福祉専門科目」であり、社会福祉士・精神保健福祉士の指定科目でもある。国家試験を受験する予定の学生が多く、学生の講義に対する動機付けは高い。試験の平均点が60点台とやや低いが、これについては、学生の授業以外における学習量の問題であると考え。国家試験受験のために必要な最低限度の内容となっているため、内容的には妥当であるとする。②DP、行動目標から見ると、自己評価と成績の分布に相関関係がみられることから、内容的には妥当であるとする。よって、内容的妥当性には問題ないとする。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価のうち、「説明は理解しやすいものであった」の平均値は3.8であるが、他の項目の平均値は3.3-3.5の範囲内にある。また、授業以外の学習をしていない学生が約6割に上っているが、授業の課題以外に学習していない理由として「特にすることがなかったから」との意見が見られた。成年後見制度を中心とする権利擁護に関する制度およびこれらの前提となる民法等の法律は非常に複雑であり、授業以外で学生が学習する量を、教員に過重な負担を掛けずに増やすことが課題となろう。また、「学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均は3.4であった。学生の意見は特になかった。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>福祉専門科目であり、かつ社会福祉士・精神保健福祉士指定科目である本科目の位置づけから、知識理解、思考判断、意欲関心のいずれもある程度は達成できたと考えている。授業以外の学習を増やすこと、および意欲関心を高めることについての課題が若干あるものの、その他の改善すべき点は特になく考えている。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅲ	2	後期	選択	いいえ	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目(2年次対象・選択)の1つであり、相談援助演習Ⅳ(3年次前期)及び相談援助演習Ⅴ(3年次後期)と連動し、5人の教員がオムニバス形式で担当している。主な教授内容は各担当教員の専門領域(障害福祉、高齢福祉、児童福祉、医療福祉、地域福祉)における事例を活用し、支援内容の検討やグループディスカッション、ロールプレイ等を行っている。</p> <p>授業評価アンケートにおける学生の受講動機では、「資格取得に必要である」(41.4%)や「必修科目である」(82.8%)が見られ、学生の多くが社会福祉士取得を意識した受講であることがうかがえる。一方で「関心のある内容である」(3.4%)と非常に低い状況であり、授業内容や展開等を工夫し、学生の関心・意欲を高める必要があると考える。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成されなかった	やや達成されなかった	やや達成されなかった	やや達成されなかった	やや達成されなかった	やや達成されなかった
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> <p>全体の成績は平均78.3点であり、この点では教育目標をある程度達成したと考える。各DP項目の達成状況について授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」(DP1)については「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(わりにそうだと思う31.0%、かなりそうだと思う27.6%)であり、目標をやや達成できなかったと言える。思考判断(DP2)については、「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」(わりにそうだと思う37.9%、かなりそうだと思う20.7%)であり、これも目標をやや達成できなかったと言える。「意欲関心」(DP3)については、「自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた」(わりにそうだと思う34.5%、かなりそうだと思う24.1%)であり、目標をやや達成できなかったと言える。「態度」(DP4)については、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」(わりにそうだと思う37.9%、かなりそうだと思う17.2%)であり、やや程度達成できなかったと言える。「技能表現」(DP5)については、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要とする技術を身につけることができた」(わりにそうだと思う41.4%、かなりそうだと思う13.8%)、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」(わりにそうだと思う24.1%、かなりそうだと思う17.2%)となり、これもやや程度達成できなかったと考える。</p> <p>以上の他、授業評価アンケートにおける学生の自発的学習や図書館利用の状況からは、今後、学生の関心・意欲を高め、主体的学習態度を引き出す必要があると考える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP上の位置づけ 学生の到達度自己評価からは、教育目標をやや達成できなかった状況が示された。しかし、全体の成績は平均78.3点と高く、本科目のDP上の位置づけに問題はないと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけ 本科目は相談援助の専門的視点や態度、知識・技術を実践的に修得するものである。これらの学びは3年次開講の相談援助実習の展開において不可欠であり、本科目のCPおよびカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に教えてください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>上記で述べたように、学生の自発的学習や図書館利用の状況から、学生の主体的学習態度を十分に引き出せていない現状が明らかとなった。具体的には授業評価アンケートにおける「授業の課題以外に学習に取り組みましたか」との問いでは「していない」(86.2%)が見られた。また「この授業では、図書館の図書、雑誌を利用した」との問いについては「利用しなかった」(82.7%)が見られた。学生の関心・興味を引き出す授業展開について、さらに各教員の教授内容や方法の現状を見直し、改善する必要があると考える。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>既述の通り、全体成績という点では本科目の教育目標はある程度達成されたと考える。しかし一方で、学生の到達度自己評価の結果からは各DP項目の達成について課題があると言える。本科目は教員5名によるオムニバス形式の授業形態となっており、教員間の連携が特に重要になる。今後も授業内容や展開方法等について教員間で共有しながら、より教育効果の高い授業を目指したい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅲ	2	後期	選択	いいえ	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>事例集を読ませ行間に隠れる当事者の思いや援助者の考え方についてを学生一人ひとりに想像させる形式を用いた。「受講動機」は「必修科目」であるからが82.1%、「資格取得に必要」と答えた者が17.9%であった。医療の事例であったことで関心が薄かったのか自分の進む方向性が違うと判断したものなのかかわからないが、インターネットの活用などがやや少なかったと思われる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学習到達度は「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」で高い評価がされたことは納得したい。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP達成度はいずれも低いものではあったが、学習の成果はあったと判断する。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン
ターネット利用」学生の意見など

レポートの評価について「基準が明らかでない」とする者がいた。今後は学生の納得の行く基準としたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「学生の質問を受け付け、それにこたえる機会が作られていた」に評価する者が多かった。今後も更に行って行きたい。

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅲ	2	後期	選択	はい	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>演習科目であり、提示した課題について事前学習をしておくことを求めた。また各課題ごとに担当学生を決め、プログラムを作成し、各々の課題について意見交換等を含めて理解を深めることを意図して授業を構成した。二年生であることから、内容について十二分とは評価できないが、能動的な授業参加はできたと考えられる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>二年次開講科目であり、達成状況についてやや不十分な側面は否定できないが、今後の学年進行で補完され、強化されていくと考えられる。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>内容については妥当であると考えられる。</p>
--	----------------------------

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、
インターネット利用」学生の意見など

上述したが、能動的・協働的学習形態として、一定の成果があったと考えられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

二次数後期科目であるが、学年進行により、次ぎへの準備となっていると考えられる。

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	納戸 美佐子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅲ	2	後期	選択	いいえ	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は、「必須科目である」64.3%、「資格取得に必要である」60.7%であった。本科目は、相談援助の展開とそこで活用される専門的な知識・技術の習得を目指している。具体的なイメージを抱くことが出来るように、福祉的課題を抱えた人々への相談援助の事例を活用し、グループワークも実施した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>達成度自己評価では、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」は、平均値4.1点(かなりそうだと思う25%、わりにそうだと思う57.1%、まあまあそうだと思う17.9%)であった。「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は、平均値4.0点(かなりそうだと思う25%、わりにそうだと思う50%、まあまあそうだと思う25%)であった。「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」は、平均値4.0点(かなりそうだと思う17.9%、わりにそうだと思う60.7%、まあまあそうだと思う21.4%)であった。「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」は、平均値4.0点(かなりそうだと思う28.6%、わりにそうだと思う48.6%、まあまあそうだと思う25%)であった。これらの項目は、本科目の行動目標とも関連しているものである。再履修者は0名であった。また、成績の平均は、82.6点であった。これらのことから、多くの学生が標準レベル以上に達していることから、教育目標は「達成された」と判断した。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP・カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性:本科目は、カリキュラムマップにおける専門教育科目である。全ての学生が標準レベル以上に達したことから内容は妥当であると考えられる。</p> <p>②DPIにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性:本科目は、社会福祉士受験資格取得のための必須科目であるとともに、ヒューマンサービス専門家に必要な知識(DP1)、思考判断(DP2)、意欲関心(DP3)、態度(DP4)、技能表現(DP5)を習得する科目である。学生の目標達成状況からDPIにおける内容は妥当であると考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価について、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」は、平均値4.3点(かなりそうだと思う42.9%、わりにそうだと思う39.3%、まあまあそうだと思う17.9%)であった。「説明は理解しやすいものであった」は、平均値4.1点(かなりそうだと思う35.7%、わりにそうだと思う42.9%、まあまあそうだと思う21.4%)であった。「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」は、平均値4.0点(かなりそうだと思う32.1%、わりにそうだと思う35.7%、まあまあそうだと思う32.1%)であった。「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」は、平均値4.0点(かなりそうだと思う25%、わりにそうだと思う46.4%、まあまあそうだと思う28.6%)であった。また、図書館の図書や雑誌を64.7%の学生が利用していた。また、インターネットのホームページを検索し、利用した学生は、60.7%であった。しかしながら、35.7%の学生は、予習を行っていないと回答していた。以上のことから、学生が予習を行いやすい課題を具体的に提示していくことが課題である。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>再履修者は、0名であった。多くの学生が標準レベル以上に達したと判断される。授業の質評価の全ての項目において、4項目は、平均値が4.0点以上であり、1項目も3.9点であった。これらのことから、本年度の内容を継続して実施し、さらに、学生が予復習を行いやすい課題を具体的に提示していくことが課題である。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅲ	2	後期	選択	いいえ	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は2年次の社会福祉士指定科目であり、「相談援助実習」と連動して行われる相談援助の知識・援助技術を学ぶ演習科目である。学生の受講動機をみると、「必修科目である」が78.6%、「資格取得に必要である」が28.6%、「関心のある内容である」は0.0%であり、本科目への関心の低さがうかがえる。本科目では、福祉的課題を抱えた人々への相談援助の事例を活用し、相談援助の展開とそこで活用される専門的な知識・技術の習得に向けた実技指導を行う。演習ではできるだけ多くの事例を用い、「相談援助実習」で実践的に用いられる社会福祉の視点や職業倫理、援助技術を習得できるような内容となるよう工夫した。また相談援助の実践ではチームアプローチが基本となるため、できるだけグループワークを通して課題解決を導く演習となるよう工夫した。毎時間ごとにはふり返りの時間を設け、学生のコメントに対してフィードバックを行ったり、次回の演習の冒頭で紹介しながら、専門的視点への理解を深めたり、共有したりできる機会を設けた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>成績の平均値は、76.7点で、中央値は76点であり、平均値、中央値ともに8割を下回った。学生の学習到達度の自己評価についても、「自分なりの目標を達成した」の平均値が3.5で、中央値3.0であった。これらの点から次年度はより多くの学生が目標達成できるよう、教授内容を工夫していく必要がある。各項目をみると、知識理解が平均値3.8-3.9、中央値4.0、思考判断が平均値3.7、中央値4.0、意欲関心が平均値3.7、中央値3.7、態度が平均値3.8、中央値4.0、技能表現が平均値3.6、中央値4.0であり、概ね目標は達成されたと考える。ただし、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」の項目において、「少しそうでないと思う」と回答した学生が1名、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の項目において、「少しそうでないと思う」と回答した学生が2名いた。これらの点は、ソーシャルワークの実践的な知識・技術を身につけることに主眼をおく本科目において、目標達成が困難であったことを示しているため、次年度は各学生の達成度を判断しながら、個別の対応を丁寧に行っていくたい。</p>					
* 根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本演習は「相談援助実習」と連動して行われる相談援助の知識・援助技術を学ぶ演習科目であり、「社会福祉実践の展開」の科目として位置付けられている。4.に記したように、内容的妥当性には問題がなかったと考えられるが、さらに多くの学生が目標達成できるよう、教授内容を工夫していく必要がある。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業の質評価では平均値4.0-4.3、中央値4.0であった。ただし「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それにこたえる機会が作られていた」の項目において、「少しそうでないと思う」と回答した学生が1名いた。今後はどの学生も質問しやすい雰囲気を作っていく必要がある。</p> <p>学習量の評価をみると、2、3回の予習をした学生は21%、4、5回は7%、6回は10%であり、2、3回の復習をした学生は14%、4、5回は7%、6回は10%であった。また自発的学習を行った学生は7%にとどまった。また「図書館の図書、雑誌を利用した」学生は14%、「学術データベースを利用した」学生は14%、「インターネットを利用した」学生は39%にとどまった。図書館利用については、少数にとどまった。課題等によりさらに予復習や自発的学習を促す必要がある。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目は「相談援助実習」と連動して行われる相談援助の知識・援助技術を学ぶ演習科目であり、「社会福祉実践の展開」の科目である。4. に記した学習達成度の自己評価、6. に記した授業の質評価により、概ね授業の目標は達成されたと考えるが、次年度はより多くの学生が目標達成できるよう、教授内容を工夫していく必要がある。また文献利用等の自発的学習をさらにうながしていく取組みが必要である。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅴ	3	後期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目(3年次対象・選択)の1つであり、相談援助演習Ⅲ(2年後期)及び相談援助演習Ⅳ(3年前期)と連動し、5人の教員がオムニバス形式で担当している。主な教授内容は各担当教員の専門領域(障害福祉、高齢福祉、児童福祉、医療福祉、地域福祉)における事例を活用し、支援内容の検討やグループディスカッション、ロールプレイ等を行っている。</p> <p>授業評価アンケートにおける学生の受講動機では、「資格取得に必要である」(77.8%)が見られ、相談援助演習Ⅲと同様に、社会福祉士取得を意識した受講がうかがえる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成されなかった	やや達成された	達成されなかった	達成されなかった	達成されなかった	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>全体の成績は平均80.3点であり、この点では教育目標を達成したと言える。各DP項目の達成状況について授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」(DP1)については「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(わりにそうだと思う50.0%、かなりそうだと思う11.1%)であり、目標を達成できなかったと言える。「思考判断」(DP2)については、「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」(わりにそうだと思う33.3%、かなりそうだと思う5.5%)であり、達成できなかったと言える。「意欲関心」(DP3)については、「自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた」(わりにそうだと思う33.3%、かなりそうだと思う5.5%)であり、これも達成できなかったと言える。「態度」(DP4)については、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」(わりにそうだと思う33.3%、かなりそうだと思う5.5%)であり、達成できなかったと考える。「技能表現」(DP5)については、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」(わりにそうだと思う38.9%、かなりそうだと思う5.5%)、また、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」は「わりにそうだと思う」(33.3%)、かなりそうだと思う(11.1%)となり、やや達成できたと考える。</p> <p>以上の他、授業評価アンケートにおける学生の自発的学習や図書館利用の状況から、今後は学生の関心・意欲を高め、主体的学習態度を引き出す必要があると考える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP上の位置づけ 全体の成績は平均80.3点であった。授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価では、全体として「やや達成されなかった」となったものの、成績点等を加味すると、DP上の位置づけに問題はないと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけ 本科目は相談援助の専門的視点や態度、知識・技術を実践的に修得するものである。これらは当該学年で履修する相談援助実習の展開において不可欠となるものであり、本科目のCPおよびカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業評価アンケートにおける「授業の課題以外に学習に取り組みましたか」との問いでは、「していない」(72.2%)が見られた。また、「この授業では、図書館の図書、雑誌を利用した」との問いについては、「利用しなかった」(77.7%)が見られ、本科目において学生の主体的学習態度を十分に引き出せていない現状が明らかとなった。引き続き学生の関心・興味を引き出す授業展開を検討する必要があると考える。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目における教育目標の達成という点では課題があると考えます。本科目は教員5名によるオムニバス形式の授業形態となっており、教員間の連携が特に重要になる。今後も授業内容や展開方法等について教員間で共有しながら、より教育効果の高い授業を目指したい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅴ	3	後期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>後期実習を挟み実践場面を経験したところから援助の視点が拡がりを感じられるが、更に気づき足りない点を構造化できればと演習を進めた。受講動機で「必修」だからとするものは60.0%であったが、「資格取得に必要」と答えた者が70.0%と学生が実習などでの経験を通して援助の必要性に気づいてくれているものと評価でき「専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」と評価する者が多かった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」に高い評価が得られた。また、図書館利用においても評価は少なかったものの自主的な取り組み姿勢が伺えた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>「到達度自己評価」「授業の質評価」いずれにおいても高い評価であった。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「図書館、インターネット利用」をする学生が少ないものの、僅かでも自主的な取り組み姿勢は評価できると考える。調べることも含め、課題の提出など事前学習、事後学習に結び付ける改善を行ってきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>総じて達成されたと考える。今後においては、一人ひとりからの疑問や質問について何らかの形で関わりを持ちたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅴ	3	後期	選択	はい	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>三年次後期科目であり、前半グループと後半グループで、演習の課題内容が異なることもあり一概に評価できないが三年次となり演習科目の学習経験を積んでいることもあり、一定の成果があったと考えられる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	プログラムの準備状況や授業参加度から勘案して一定の成果があった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>内容としては妥当であると考えられる。</p>
--	---------------------------

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン
ターネット利用」学生の意見など

演習授業の進め方としては現行のまま継続したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

三年次後期科目であることから、相談援助実習の経験も生かされており、一定の効果はあったと考えられる。

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	納戸 美佐子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅴ	3	後期	選択	いいえ	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は、「必須科目である」53.3%、「資格取得に必要な」80.0%、「関心のある内容である」6.7%であった。本科目は、本科目は、相談援助の展開とそこで活用される専門的な知識・技術の習得を目指している。具体的なイメージを抱くことが出来るように、福祉的課題を抱えた人々への相談援助の事例を活用し、グループワークも実施した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>平均点は、81.8点であった。80点以上の学生は、72%であった。再履修者は0名であった。また、授業評価において、到達度自己評価では、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は、平均値3.7点(かなりそうだと思う13.3%、わりにそうだと思う46.7%、まあまあそうだと思う40%)であった。「自分なりの目標を達成した」は、平均値3.6点(かなりそうだと思う13.3%、わりにそうだと思う33.3%、まあまあそうだと思う53.3%)であった。「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」は、平均値3.6点(かなりそうだと思う13.3%、わりにそうだと思う13.3%、まあまあそうだと思う60%)であった。「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」は、平均値3.6点(かなりそうだと思う13.3%、わりにそうだと思う33.3%、まあまあそうだと思う53.3%)であった。また、全ての学生が1回以上の予習を行っていた。これらのことから、教育目標を「達成できた」と判断した。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP・カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性:本科目は、カリキュラムマップにおける専門教育科目である。全ての学生が標準レベル以上に達したことから内容は妥当であると考えられる。</p> <p>②DPにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性:本科目は、社会福祉士受験資格取得のための必須科目であるとともに、ヒューマンサービス専門家に必要な知識(DP1)、思考判断(DP2)、意欲関心(DP3)、態度(DP4)、技能表現(DP5)を習得する科目である。学生の目標達成状況からDPにおける内容は妥当であると考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価については、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」平均値4.2点、「説明は分かりやすいものであった」平均値4.1点、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会がつけられていた」平均値4.1点であった。「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」の平均値は、4.1点であった。また、予習をした学生は100%であり、復習を行った学生は40%であった。次年度は、評価基準について説明をするとともに、図書や雑誌などを学生が活用し、学生が積極的に学ぶことができるような課題を提示することが必要である。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>再履修者は0名であり、全ての学生が標準レベル以上であったと考えられる。本年度においては、72%の学生が80点以上の成績であった。しかしながら、例年に比べ、到達度自己評価が低かった。これらのことから、学生自身が自分の理解度を把握し、新たな学びを得たことを感じるような機会を学生に提供することが課題である。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅴ	3	後期	選択	いいえ	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は3年次の社会福祉士指定科目であり、「相談援助実習」と連動して行われる相談援助の知識・援助技術を学ぶ演習科目である。学生の受講動機をみると、「資格取得に必要である」が63.2%、「関心のある内容である」が5.3%であり、資格取得のための履修であることがうかがえる。本演習は相談援助演習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴと連続しており、学生にとって演習Ⅴは最後の相談援助演習となるため、これまで演習・実習で学んできた援助技術を総括できるよう、地域を基盤として、複数の課題を解決することが求められるような事例を用い、ソーシャルワークの理論と実践を統合化できるような内容になるよう努めた。今年度は、地域福祉の実践としてボランティア講座の企画・立案、実施をグループワークに取り入れた。</p> <p>また相談援助の実践ではチームアプローチが基本となるため、できるだけグループワークを通して課題解決を導く演習となるよう工夫した。毎時間ごとにはふり返りの時間を設け、学生のコメントに対してフィードバックを行ったり、次回の演習の冒頭で紹介しながら、専門的視点への理解を深めたり、共有したりできる機会を設けた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は80.9点、中央値は80点であった。学生の学習到達度の自己評価をみると、「自分なりの目標を達成した」の平均値が3.8、中央値4.0であった。これらの点から学生は十分な目標達成レベルに達していると判断した。各項目については、知識理解が平均値4.0～4.1、中央値4.0、思考判断が平均値4.1、中央値4.0、意欲関心が平均値4.0、中央値4.0、態度が平均値4.1、中央値4.0、技能表現が平均値3.9～4.1、中央値4.0であった。これらの結果より、概ね目標は達成されたと考える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性</p>
--	---------------------------------------

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業の質評価では、「全くそうでないと思う」、「少しそうでないと思う」と回答した学生はおらず、平均値4.1-4.4、中央値4.0-5.0と高かった。 学習量の評価をみると、2、3回の予習をした学生は21%、4、5回の予習をした学生は26%であり、2、3回の復習をした学生は15%、4、5回の復習をした学生は15% にとどまり、自発的学習を行った学生は1人であった。また「図書館の図書、雑誌を利用した」学生は21%、「学術データベースを利用した」学生は15%、「インターネット を利用した」学生は42%であった。さらに課題等で予習・復習や自発的学習をうながしていく必要がある。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は「相談援助実習」と連動して行われる相談援助の知識・援助技術を学ぶ演習科目であり、「社会福祉実践の展開」の科目である。4. に記した学習達成度 の自己評価、6. に記した授業の質評価により、概ね授業の目標は達成されたと考える。今後は自発的学習をさらにうながしていく取組みが必要である。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導 I	2	通年	選択	いいえ	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目(2年次対象・通年)の1つであり、相談援助実習(3年次)の実施に向けた準備学習として位置づけられる。学生自身も本科目のこうした位置づけを認識していると思われ、授業評価アンケートの受講動機は「資格取得に必要である」(60.7%)とやや高い割合となっている。本科目では高齢者福祉領域及び地域福祉領域を担当した。既述の通り、本科目が実習に向けた準備学習であることから実習領域・施設、利用者理解が深まる教授内容とした。また、授業の展開ではグループワークを多く使い、学生間の相互交流により実習への動機が高まるよう意識した。さらに、視覚教材の活用や見学実習を行うことで、実習のイメージを具体化できるよう工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成されなかった	やや達成された	やや達成されなかった	やや達成されなかった	やや達成されなかった	やや達成されなかった
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>各DP項目の達成状況について授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」(DP1)については「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(わりにそうだと思う53.6%、かなりそうだと思う10.7%)であり、ある程度達成したと言える。「思考判断」(DP2)については、「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」(わりにそうだと思う46.4%、かなりそうだと思う10.7%)となっており、やや達成できなかったと言える。「意欲関心」(DP3)については、「自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた」(わりにそうだと思う39.3%、かなりそうだと思う17.9%)であり、やや達成できなかったと言える。「態度」(DP4)については「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」(わりにそうだと思う46.4%、かなりそうだと思う10.7%)となっており、やや達成できなかったと言える。「技能表現」(DP5)については、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」(わりにそうだと思う32.1%、かなりそうだと思う10.7%)、また、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」は「わりにそうだと思う」(42.9%)、「かなりそうだと思う」(7.1%)となっていることからやや達成できなかったと言える。</p> <p>以上、DP項目の達成度からは、総じて本科目の教育目標はやや達成されなかったと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP上の位置づけ 授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価では、全体として「やや達成されなかった」が、本科目のDP上の位置づけに問題はないと考える。</p> <p>②CP, カリキュラムマップ上の位置づけ 本科目は3年次に実施する相談援助実習の準備学習として、実習に必要な知識・技術や態度を修得するものである。本科目のCPおよびカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>昨年度は教育目標をある程度達成できたものの、本年度はやや達成できなかった。今後も学生個々の理解度や学習の進捗状況の把握を十分に行い、授業を展開していきたい。また、学生が図書館を積極的に利用するなど、主体的な学習態度の涵養と言う点では昨年度同様に課題が残ったと考える。学生の学習意欲を高め、実習への動機が高まるよう取り組みたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>既述の通り、本科目における教育目標はやや達成されなかった。本科目は実習への準備・事前学習としての位置づけにあり、実習への動機や実習態度に直接関わってくる。今後も引き続き学生個々の状況を踏まえながら授業改善に取り組みたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導 I	2	通年	選択	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>実習の領域を選択して受講しているため「必修科目」「資格取得」の回答者が共に80%、26.7%であった。実習先やそこで行われることの具体的なイメージが掴めていないため、ビデオ視聴や現場でのことを多く話し、何をするのかを理解できるようにした。「学習の範囲や課題は明らかであった」が4.1と最も高かった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全員が「到達度自己評価」各項目の③以上の回答であり教育目標は達成されたと考える。また、インターネットの利用も60%ではあるが検索をしていることがわかった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機については「必須科目」「資格取得に必要」がともに全員であり、到達度自己評価も達していると判断する。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「授業の質評価」において「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会がつけられていた」に30%の満足が得られていた。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>実習先についてのイメージが出来ないことを思うあまりに経験を基にした講義が多くなり自主的な取り組みをさせることが少なかったと反省する。今後は、個人若しくはグループで自主的な取り組みを更にさせるようにしたい。</p>
------------------------------	---

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導 I	2	通年	選択	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目の一つであり、「相談援助実習(3年次)」の実施に向けた準備段階として位置づけられる。児童福祉領域を担当し、実習領域で求められる知識・技術を高めると同時に、実習に向けての動機づけが高まるよう、現時点で取り組むべき課題を明確化するためのグループワーク、その課題に主体的に取り組むためのグループ学習に重点をおいて授業を展開した。見学実習においては、例年2時間程度の見学のみ行う形態で実施してきたが、今年度は現場にて4～5時間活動することを通して、対象者との関わりから学び、自己の課題を振り返る機会を得ることができたと考える。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	やや達成された	やや達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>各DP項目の達成状況について、学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」(DP1)については「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(かなりそうだと思う29.4%、わりにそうだと思う47.1%)「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」(かなりそうだと思う29.4%、わりにそうだと思う41.2%)、「思考判断」(DP2)については「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」(かなりそうだと思う29.4%、わりにそうだと思う41.2%)、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」(かなりそうだと思う29.4%、わりにそうだと思う41.2%)、「意欲関心」(DP3)については、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」(かなりそうだと思う35.3%、わりにそうだと思う47.1%)であり、「態度」(DP4)については「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」(かなりそうだと思う29.4%、わりにそうだと思う41.2%)、「技能表現」(DP5)については「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」(かなりそうだと思う29.4%、わりにそうだと思う35.3%)、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」(かなりそうだと思う29.4%、わりにそうだと思う41.2%)であり、一定程度には達成されたと評価した。</p> <p>また、図書、雑誌や学術データベースなど図書館利用の状況においては、「利用した」がそれぞれ17.6%、11.8%にとどまっており、「学びを深めたいと意欲をもつことができた」と回答している一方で実際の学生の行動に結びついてはいないことが伺えることから、教育目標の達成は十分ではないと考える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP,行動目標からの内容的妥当性 4(2)に記述したように、十分とはいえないものの一定程度の達成状況にあると考えることができ、本科目の位置づけから見た内容的妥当性に問題はないと考える</p> <p>②CP,カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性 本科目は3年次の「相談援助実習」の実施に向けて展開される科目であり、実習に向けた具体的準備、実習に向けての動機づけを行い、準備学習を深めていくものである。本科目のCPおよびカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価においては、平均値3.9～4.1となっており、比較的高い評価が得られた。本科目においては学生が主体的に学ぶ姿勢が問われるが、授業に参加するための準備を行わなかったものが52.9%、復習を行わなかったものが58.8%、自発的学習に取り組まなかったものが88.2%となっており、明確な課題に対しては十分に取り組むことができるが、主体的に学びに向かう態度を十分に引き出すことができていない状況であることが明確になった。昨年度も同様の課題があり、主体的な学びへの動機づけを高めるよう工夫したが、回答結果では成果が得られなかったことから、引き続き学生の主体的かつ積極的学習を進めるような姿勢を養うことに取り組んでいきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目における教育目標はある程度達成できたと考えるが、主体的学習態度の形成においてさらなる改善、工夫が必要であるとする。</p>
------------------------------	---

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導 I	2	通年	選択	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目であり、3年次の「相談援助実習」に向けた準備学習を行う科目として位置づけられる。授業は、2年次までに修得した相談援助にかかわる基礎的な知識・技術を障害者領域に特化して再度復習、整理し直し、加えて社会福祉士を目指すモチベーションを確認して、実習に向けた自己の準備性や対人援助職への適性を確認していくことを目標にして展開した。受講動機を見てみると、「資格取得に必要である」との回答が58.8%を占め、「関心のある内容である」との回答は0.0%であった。必ずしも社会福祉士取得に意欲の高い学生のみが受講している訳ではないことを踏まえ、将来の進路を見定めていくことも目標に加えて、できるだけ実習やソーシャルワーカーの仕事をイメージ化できるよう指導内容に反映させていくよう努めた。</p> <p>前年度には、実習に必要な技術の習得と職業倫理を確認できる演習内容をさらに授業に加えていくという改善計画を立てた。そこで今年度は障害者支援の現場で実際に用いられている、視覚的構造化や認知行動療法などの技術を実践的に学べる演習を取り入れた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は82.1点、中央値83点で十分な目標レベルに達していた。学生の学習達成度の自己評価においては、「自分なりの目標を達成した」の項目が、平均値3.7、中央値4.0であった。各項目をみても、知識理解が平均値3.7-3.9、中央値4.0、思考判断が平均値3.8、中央値4.0、意欲関心が平均値3.8、中央値4.0、態度が平均値3.8、中央値4.0、技能表現が平均値3.8、中央値4.0であった。このことから学生の自己評価においても概ね目標は達成されたと考える。ただし、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の項目において、「少しそうでないと思う」と回答した学生が1人いた。次年度は各学生の達成度をみながら、個別の指導を行っていく必要がある。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性</p>
--	--------------------------------------

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業の質評価の回答をみると、平均値3.8-3.9、中央値4.0であった。ただし「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の項目について、「少しそうでないと思う」と回答した学生が1人いた。すべての学生が伝達事項を理解できるような丁寧な説明が必要であり、また授業に参加できるような工夫が必要である。</p> <p>学習量の評価をしてみると、授業に参加するために準備をした学生は2、3回が35%、4、5回は11%、6回は5%であり、授業を振り返るために復習をした学生は、2、3回が29%、4、5回は5%、6回は5%であった。また自発的学習を行った学生は17%にとどまった。図書館利用では、「図書、雑誌を利用した」学生は11%、「学術データベースを利用した」学生は11%、「インターネットのホームページを検索し、利用した」学生は35%であった。今後は課題等への取り組みを通して、さらに自発的な学習を促していく必要がある。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目であり、「相談援助実習」という社会福祉実践の展開につなぐ科目として位置付けられている。本科目を通して「職業選択の参考になった」の評価から、学生が進路を定めていくことに貢献できたと考える。今後は課題等への取り組みを通して、さらに自発的な学習を促していく必要がある。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導Ⅱ	3	通年	選択	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目(3年次・通年)の1つであり、相談援助実習(3年次)の事前及び事後指導を行うものである。高齢者福祉領域及び地域福祉領域を担当し、実習前指導では実習関連書類の作成指導や実習現場で必要となる知識・技術の教授を通じて実習への動機を高めた。実習後指導では個別面談やケース検討会、実習報告会を通して実習で得た学びや気づきを深めさせた。また、実習期間中は巡回訪問を行い、個別指導及び実習指導者への面談を通して、実習状況の確認を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>各DP項目の達成状況について授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」(DP1)は「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(わりにそうだと思う41.1%、かなりそうだと思う47.1%)となっており、目標を達成したと言える。「思考判断」(DP2)については、「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」(わりにそうだと思う35.3%、かなりそうだと思う35.3%)となっており、やや達成できたと言える。「意欲関心」(DP3)については、「自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた」(わりにそうだと思う29.4%、かなりそうだと思う35.3%)であり、やや達成できたと言える。「態度」(DP4)については、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」(わりにそうだと思う29.4%、かなりそうだと思う47.1%)となっており、ある程度達成したと言える。「技能表現」(DP5)については、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」(わりにそうだと思う29.4%、かなりそうだと思う41.2%)であり、また、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」は「わりにそうだと思う」(35.3%)、「かなりそうだと思う」(41.2%)となっていることからある程度達成できたと言える。</p> <p>以上、本科目の教育目標の達成については各DP項目の達成度から全体として「ある程度達成できた」と考える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP上の位置づけ 授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価では、DP項目の達成は「ある程度達成された」となっており、本科目のDP上の位置づけに問題はないと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけ 本科目は相談援助実習の実施に向けた事務手続きや動機づけ、実習で得た学びの整理・振り返りを行うものである。本科目のCPおよびカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本科目における実習前指導では、実習実施に向けた関連文書の作成、実習で必要となる知識・技術の獲得、動機づけ等を行っている。こうした過程において学生には主体的学習態度が求められるが、授業評価アンケートの「授業の課題以外に学習に取り組みましたか」との問いでは、「していない」(88.2%)が示された。また、授業にあたって図書・雑誌の利用について「していない」(82.3%)、インターネットの利用について「していない」(52.9%)も見られた。図書やホームページ等のネット情報を具体的に提示し、学習意欲を高める必要があると考える。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目における教育目標の達成はある程度達成されたと言える一方で、実習への動機づけや主体的学習態度を引き出す点で課題が明らかとなった。相談援助実習指導Ⅰと同様に、今後は本科目で修得した知識・技術が実際の実習現場でどのように役立ったか/役に立たなかったか、実習後指導(個別面談、発表、レポート)が知識・技術の修得に十分寄与したかといった点での評価も必要と考える。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導Ⅱ	3	通年	選択	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は、「必修科目である」が57.1%、「資格取得に必要である」が100%であったが、医療における社会的な問題に困る人々の生活課題を解決調整する意味について感じ、考えることを学生らに求めたことから、実習での経験で随分と成長したと評価できる。</p> <p>①医療機関での実習に必要と思われる知識と技術について参考資料の提示と講義を行った。 ②配属については、前・後期それぞれ2週間のストレスを考え、実家若しくは一人暮らしの場所からの通いを配慮した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①「到達度自己評価」「授業の質評価」の項目は、平均値が3.9以上であり教育目標は達成されたと考える。「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値が4.0以上を得ている点は学生自らの成長から伺える。</p> <p>②図書館の利用が少なく、インターネットの利用は高い傾向にある主体的に調べる取り組みは評価できる。</p> <p>配属先の情報については、学生各自で過去の先輩らが同じ施設で実習した時の資料を参考にしたり、インターネットなどを活用し調べさせるように指導した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>実習先としての医療機関は、他の領域と同じ扱いではあるが、生命を扱う場としての特殊性があると説明し、受験資格を得る為の実習では、他職種の実習生と比較され注意、指摘を受けると注意を喚起し緊張感と積極性持つよう指導した。そのことが「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」が4.4、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」が4.3と高く「到達度自己評価」に表れDPは達成できたと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>実習先としての医療機関は、他の領域と同じ扱いではあるが、生命を扱う場としての特殊性があると説明し、受験資格を得る為の実習では、他職種の実習生と比較され注意、指摘を受けると注意を喚起し緊張感と積極性持つよう指導した。そのことが「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」が4.4と高く「到達度自己評価」に表れDPIは達成できたと考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>概ね、実習指導に基づき行うことが出来ていると思われる。実習先となる医療機関は、他の領域と名時扱いではあるが、生命を専門職との協働によって緊張感のもとに成されていることを自覚し実習に取り組んだ成果として学生らの成長から評価できると考える。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導Ⅱ	3	通年	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目の一つであり、「相談援助実習」のスーパービジョン、及び事前指導・事後指導を行うものである。児童福祉領域(児童養護施設・障害児施設を含む)での相談援助実習を通して、相談援助の知識・技術を実践的に体得し、社会福祉士として求められる総合的に対応する力を高められるよう事前指導、事後指導を展開した。事前指導においては、実習施設で求められる援助技術や知識の習得とソーシャルワークの視点の形成、実習中及び実習後指導においては実践と理論の統合化を学生の主体的な学びと気づきの中から達成できるようスーパービジョンを実施することを心掛けた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>各DP項目の達成状況について、学生の到達度自己評価から見ると、いずれの項目も「かなりそうだと思う」と答えた学生は0名または1名のみであり、「知識理解」(DP1)については「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(わりにそうだと思う76.9%、まあまあそうだと思う23.1%)「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」(わりにそうだと思う76.9%、まあまあそうだと思う23.1%)、「思考判断」(DP2)については「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」(わりにそうだと思う76.9%、まあまあそうだと思う23.1%)、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」(わりにそうだと思う76.9%、まあまあそうだと思う23.1%)、「意欲関心」(DP3)については、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」(わりにそうだと思う76.9%、まあまあそうだと思う23.1%)、「態度」(DP4)については「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」(かなりそうだと思う7.7%、わりにそうだと思う76.9%、まあまあそうだと思う15.4%)、「技能表現」(DP5)については「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」(わりにそうだと思う69.2%、まあまあそうだと思う23.1%)、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」(かなりそうだと思う7.7%、わりにそうだと思う76.9%、まあまあそうだと思う15.4%)であった。実習を経験して、達成感を感じつつも、自身の不十分さやまだまだ学ぶべきことが多くあることに気づいた学生の自己評価が厳しい目で行われたことによると考えるが、そのこと自体を含め、多くの学びがあったものと考えられ、目標を達成したといえる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からの内容的妥当性 4(2)に記述したように、学生の到達度自己評価から、DPにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性に問題はないと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性 本科目は「相談援助実習」と連動して展開される科目であり、実習に向けた具体的準備、実習に向けての動機づけを行い、事前学習、学びの整理を行うものである。本科目のCPおよびカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価においては平均値3.8～4.1が得られた。授業の予習(1回30分程度以上)を1度も行わなかった学生、復習(1回30分程度以上)を1度も行わなかった学生がともに61.5%と高い値であった。学生が学びを深めたい意欲をもち、自発的学習につながるような授業の展開を工夫していきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目の教育目標はある程度達成できたと考えるが、学生の学びを深める意欲を引き出し、主体的自発的に学ぼうとする態度の形成につながるよう、さらなる改善を行いたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導Ⅱ	3	通年	選択	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目であり、「相談援助実習」と連動して展開される科目である。授業は実習前指導、実習配属中の指導、事後指導からなり、事前指導ではソーシャルワークの視点形成、事後指導ではスーパービジョンを通じた実践と理論との統合化を目標に展開した。受講動機を見てみると、「資格取得に必要である」は87.5%となっており、ほとんどの学生は資格取得のための履修であり、「関心のある内容である」は0.0%、また「単位数を確保する」、「友人が履修している」も12.5%であった。</p> <p>今年度は事後指導にプロセス・リコードのツールを導入し、利用者との関わりの場を再構成することで、学生が実習体験を深められるようにした。そしてこれらの学生が経験した内容に基づいてグループワークを行い、それに関連したソーシャルワークの理論やアプローチを提示できるように努めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	達成された	達成された	達成された	やや達成された	やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。 * 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>本科目の最終的な成績の平均値は81.2点、中央値81.5点で、十分なレベルの達成度であったと考える。学生の学習達成度の自己評価においては、「自分なりの目標を達成した」が平均値3.8、中央値4.0であった。各項目については、知識理解が平均値3.9-4.0、中央値4.0、思考判断が平均値3.9-4.0、中央値4.0、意欲関心が平均値4.1、中央値4.0、態度が平均値3.8、中央値4.0、技能表現が平均値3.8-3.9、中央値4.0であった。これらの評価から、目標は概ね達成されたと判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性</p>
--	---------------------------------------

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業の質評価については、「全くそうでないと思う」、「少しそうでないと思う」と回答した学生はおらず、平均値3.6-4.1、中央値4.0であった。平均値3.6と最も低かった「期限内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の項目については、今後どの学生にも明確に伝達できるよう丁寧な説明を行っていく必要がある。</p> <p>学習量の評価については、実習前後の課題も多いためと考えられるが、「自発的学習」をした学生は25%にとどまり、「図書館の図書、雑誌の利用」37.5%、「学術データベースの利用」25%、「インターネット利用」62.5%であった。実習の経験をもとに、自発的学習を促す工夫が今後必要である。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目であり、「相談援助実習」と連動して展開される科目である。4. に記したように成績および学習達成度の自己評価からは概ね授業の目標は達成されたと考えられる。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	高口 恵美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	3	後期	選択	いいえ	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機は「必修科目である」が35.7%であり、「資格取得に必要である」が64.7%、「関心のある内容である」が5.9%と、「単位数を確保する」が11.8%であった。精神保健福祉士を目指すものにとって基本的な知識を得る教科であるが、関心が極端に低かった。実践がイメージ出来るような事例を豊富に取り入れながら、実践で役立つよう、要約や記録の機会を多く設けた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	やや達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価では「コミュニケーション力や表現力を高めることが出来た」の平均値3.4を除き、その他の項目では平均値3.6以上であった。また、学習量の評価では、予習復習いずれも0回が半数以上を占めており、授業課題以外の学習にもつながっていない。記録や要約、知識の習得を中心に授業を進めているが、学生が主体的に学習に取り組めるよう、問いや考察を深める工夫も必要であると考え。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見て、本科目は資格取得に必要な「選択科目」であり、精神保健福祉に関する援助の基盤となる知識を高める教科である。学生からの感想では「精神保健福祉に関する関心が高まった」とあり、学習達成度の自己評価からみても、DP、CPともに内容は妥当であると考え。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価について「評価基準が明らかである」の平均値は3.6、「学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値は3.8、「説明は理解しやすいものであった」の平均値は3.7、「自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど学生が参加する機会が作られていた」の平均値は3.5、「口頭、文書など、何らかの形で質問を受け付け、答える機会が作られていた」の平均値は3.5であった。以上のことから、考察や意見交換の時間を意識的に設けたい。また、学習量の評価では、自主学習に取り組む機会を設けることが出来なかった様子がうかがえた。評価基準を明確に示し、学生が自主的に考察し自学に取り組むことが出来るよう工夫したい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>精神保健福祉の基本的知識を「学ぶ」時間と、学んだことを要約し記録する時間を多く設けた事から、学生の知識向上につながったと考える。しかし、授業時間以外に学習に取り組む機会につなげることが出来なかったことは課題である。以上のことから、学習のねらいや復習課題を提示するよう努めていきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
精神保健福祉援助演習 I	2	後期	選択	いいえ	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉士の国家試験受験資格に関する科目であり、受講学生は、全員が精神保健福祉士レーンである。精神保健福祉士との関連性が十分ある科目であることから、1年生時や2年生前期において受講済みの精神保健福祉士受験資格科目の内容を踏まえた上で、更には精神保健福祉士レーンで初めての演習グループであることも十分に考慮して講義を展開させた。具体的には、第一回目の講義の時に、受講についての詳細な説明を文書で提示した。シラバスに記載していることを前提として、今までの開講科目の精神保健福祉士受験資格関連科目との関係性を説明した。他には予習復習の件、欠席遅刻の件、理解をしておくべきキーワード、理解を深めるための専門職能団体の研修会案内の件、リアクションペーパーの件等々を詳細に説明した。さらには、理解度を深めるために、北九州市における精神保健福祉社会資源マップの作成をグループ化して行うことを事前に知らせ準備させた。毎回講義のレジュメを作成して配布し、理解度を高めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、全員合格領域に到達しており、標準的レベルには達成した。また、演習参加協力度、リアクションペーパー、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。全体的に80点以上が殆どを占め、理想的レベルに達している。リアクションペーパーからは、初めての精神グループでの演習で、仲間との理解も深まったし精神に進んでよかったと思ったや、とても楽しい15回でした、次年度からも精神保健福祉関連の講義が楽しみです等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性については、受講の全学生が、精神保健福祉士のレーン選択の学生であり、精神障害者福祉や医療福祉領域に興味があるということで、講義に対してのモチベーションは非常に意欲的なものを感じられ、高い関心を感じられた。学生も成績評価からみて、一定の到達領域に達しており、内容的には十分に妥当であると思われる。DP、行動目標からみた見での内容的妥当性についても、成績評価から、知識・理解はある程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価の「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均点が、他の項目と比較すると低かった。その場面設定を行い、実際にグループ化して社会資源マップを作成する作業を行った。2年生になって初めての自分の専攻の演習であったので、なかなか慣れていないということもあったかもしれないが、可能な限り今以上に展開できるように、次年度以降も工夫をしていきたい。また、昨年度は、調査の作業を課したのでインターネット上での検索は多く、残念ながら学術データベースの活用が殆どなされてなかった。今年度は利用の仕方からのインフォメーションを行い、積極的に活用できるよう指導をした。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、忙しかったという回答があった。時間の作り方に関しても、引き続き具体的な方法を提示するなどの指導を行いたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>精神保健福祉士国家試験受験資格の必須科目であり、全員が精神保健福祉士養成レーンの学生であった。1年次や2年前期での精神保健福祉士関連科目とのつながりを考えて教授を行ったが、初めての専攻のグループであるので、前半部分は相談援助の基本的なことの復習も含めて講義を進めていくこととした。また、後半部分は、実際に援助支援をする時に必要なものに理解を深めさせるために、地元の精神保健福祉の社会資源マップの作成をグループ化して分担で課した。更には、上記に示したように、よりリアリティを習得できるように、ロールプレイを取り入れ実際に演じてみるという演習を行って、良い意識づけはできたと思う。毎回資料配布しその説明を行い、理解を深めることができたと感じられる。次年度も引き続き、予習復習、学術データベースの利用方法に関しても、具体的な指示を出すことにしたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
精神保健福祉援助演習Ⅲ	4	通年	選択	いいえ	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉士の国家試験受験資格に関する科目であり、精神保健福祉士との関連性が十分ある科目であることから、他の精神保健福祉士受験資格科目の内容を踏まえた上で、更なる考慮をして講義を行った。具体的には、第一回目の講義の時に、受講についての詳細な説明を文書で提示した。シラバスに記載していることを前提として、今までの開講科目の精神保健福祉士受験資格関連科目との関係性を説明した。他には予習復習の件、欠席遅刻の件、理解をしておくべきキーワード、理解を深めるための専門職団体の研修会案内の件、リアクションペーパーの件等々を詳細に説明した。さらには、理解度を深めるために、精神保健福祉士の過去の国家試験問題等を利用したりしての解説等を行うことを事前に知らせ実施した。毎講義ごとにレジュメを作成して配布し、理解度を高めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、全員合格領域に到達しており、標準的レベルには達成した。また、演習参加協力度、リアクションペーパー、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。全体的に80点以上が殆どを占め、理想的レベルに達している。リアクションペーパーからは、国家資格の試験対策にとっても役に立ったや、幅広く福祉全般の関連分野まで理解が深まった等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性については、受講の全学生が、精神保健福祉士の国家試験受験者であり、精神障害者福祉や医療福祉領域に興味があるということで、講義に対してのモチベーションは非常に意欲的なものを感じられ、高い関心を感じられた。学生も成績評価からみて、一定の到達領域に達しており、内容的には十分に妥当であると思われる。DP、行動目標からみた見ての内容的妥当性についても、成績評価から、知識・理解はある程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価の「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の項目が他の項目より平均点が低かった。座学であるがゆえ、なかなか困難かとは思いますが、可能な限り今以上に事例等の導入を検討したり、アクティブな活動を入れ込む等を検討を行い、次年度以降の課題としたい。学術データベースの利用に関しても残念ながら殆どなされてなく、利用の仕方からのインフォメーションを行うことも検討としたい。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、時間が無いという回答が複数あった。時間の作り方に関しても、引き続き具体的に指導を行いたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>精神保健福祉士国家試験受験資格の必須科目であり、全員が精神保健福祉士養成レーンの学生であった。今までの精神保健福祉士関連科目とのつながりを考えて教授を行ったが、4年後期の開講科目という点から、前半部分は今までの復習とその関連性も含めて講義を進めていくこととした。また、後半部分は両福祉士の国家試験が近づくということも考慮して、その試験に関することに関係性を持たせて講義を行った。更には、上記に示したように、よりリアリティを習得できるように、ロールプレイを取り入れ実際に演じてみるという演習を行ったが、さらなる検討方法の内容を吟味していく必要があると感じた。毎回資料配布しその説明を行い、理解を深めた。次年度は予習復習に関しても、引き続き具体的な指示を出すことにしたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
精神保健福祉援助実習指導 I	3	通年	選択	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉士の国家試験受験資格に関する科目であり、精神保健福祉士との関連性が十分ある科目であることから、他の精神保健福祉士受験資格科目の内容を踏まえた上で、更なる考慮をして講義を行った。具体的には、第一回目の講義の時に、受講についての詳細な説明を、また、シラバスに記載していることを前提として、今までの開講科目の精神保健福祉士受験資格関連科目との関係性を説明した。更には、実習指導の進め方や目的、到達目標について具体的に示した。他には予習復習の件、欠席遅刻の件、理解をしておくべきキーワード、理解を深めるための専門職能団体の研修会案内の件等々を詳細に説明した。毎講義ごとにレジュメを作成して配布し、理解度を高めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉士の資格取得に課せられた精神保健福祉援助実習 I (医療機関実習)の事前事後指導の科目である。3年次の医療機関実習での実習に向けた各自の目標設定や課題の確認等しながら医療機関実習に臨むことができている。実習終了後のグループワークの中でも、自身の実習中のことを振り返ることができ、更には次年度の実習 II の目標も、ある程度立てられるようになっている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>3年次の精神保健福祉援助実習 I に対しての、事前事後指導という位置づけである。精神保健福祉援助実習 I を通して学んだことを、個別体験から総合的包括的な理解へと広がるための科目設定である。従って、内容的には妥当であると考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価に関しては、授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていたの項目と、質問の受付答える機会の提供の項目については高得点だった。できるだけ主体的参加によるグループワークが展開できるような、演習形式を意識して行っていたための評価であると考えている。実習事前事後指導については、具体的実習先を早い段階で決定して、各自の実習目的を明確化することを進めていった。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>精神保健福祉士を目指す学生のみが受講生をしめる本科目において、学生の学習への動機づけはある程度学生自身でできていると思われる。実習に向けての職業倫理や行動規範などにより時間をかけるとともに、授業外での学習を促したり、勉強方法の具体的提示を行うことで、より継続して勉強することへの動機づけができたのではないかとされる。次年度も、引き続きこの点を取り入れて授業を組み立てていこうと考えている。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	4	通年	選択	いいえ	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機は、精神保健福祉士の国家試験受験資格の指定科目であるため、必修であると回答した学生が多いと考えられる。また、学生は資格取得に必要な科目であることを意識しての受講であることがわかる。</p> <p>②資格取得のための指定科目という意識づけをオリエンテーションでの目的として、実習指導の進め方や目的、到達目標について具体的に示した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉士の資格取得に課せられた精神保健福祉援助実習Ⅱ(地域実習)の事前事後指導の科目である。3年次の医療機関実習での学びを通して4年次の実習に向けた各自の目標設定や課題の確認等しながら地域実習に臨むことができている。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉援助実習Ⅱに向けた、事前事後指導という位置づけである。精神保健福祉コースの総括としての実習Ⅱを通して学んだことを、事後指導の時間を多く設けて個別体験から総合的包括的な理解へと広がるための科目設定である。内容的には妥当であるとする。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価に関しては、授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた、及び質問の受付答える機会の提供の項目についても高得点であった。できるだけ主体的参加によるグループワークが展開できるような演習形式を意識して行っていたための評価であると考えている。 実習事前事後指導については、具体的実習先を早い段階で決定して、各自の実習目的を明確化することを進めていった。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>精神保健福祉士を目指す学生が受講生をしめる本科目において、学生の学習への動機づけはある程度学生自身でできていると思われる。実習に向けての職業倫理や行動規範などにより時間をかけるとともに、授業外での学習を促したり、勉強方法の具体的提示を行うことで、より継続して勉強することへの動機づけができたと思われる。次回も引き続き、この点を取り入れて授業を組み立てていこうと考えている。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
精神障害者地域生活支援論	4	後期	選択	いいえ	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>社会福祉士や精神保健福祉士の国家試験受験資格に関する科目ではないが、精神保健福祉士との関連性が十分ある科目であることから、他の精神保健福祉士受験資格科目の内容を踏まえた上で、更なる考慮をして講義を行った。具体的には、第一回目の講義の時に、受講についての詳細な説明を文書で提示した。シラバスに記載していることを前提として、今までの開講科目の精神保健福祉士受験資格関連科目との関係性を説明した。他には予習復習の件、欠席遅刻の件、理解をしておくべきキーワード、理解を深めるための専門職団体の研修会案内の件、リアクションペーパーの件等々を詳細に説明した。さらには、理解度を深めるために、精神保健福祉士の過去の国家試験問題等を利用したりしての解説等を行うことを事前に知らせ実施した。毎講義ごとにレジメを作成して配布し、理解度を高めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、全員合格領域に到達しており、標準的レベルには達成した。また、最終レポート、リアクションペーパー、レポート、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。全体的に80点以上が殆どを占め、理想的レベルに達している。リアクションペーパーからは、国家資格の試験対策にとっても役に立ったや、幅広く地域での福祉全般の関連分野まで理解が深まった等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性については、両福祉士の国家資格を取得するための専門科目ではないのにも関わらず、その関連性の高さから、講義に対してのモチベーションは非常に意欲的なものを感じられた。また、受講の全学生が、精神保健福祉士の国家試験受験者であり、精神障害者福祉や医療福祉領域に興味があるということで、高い関心を感じられた。学生も成績評価からみて、一定の到達領域に達しており、内容的には十分に妥当であると思われる。DP、行動目標からみた見ての内容的妥当性についても、成績評価から、知識・理解はある程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価の「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の項目が他の項目より平均点が低かった。座学であるがゆえ、なかなか困難かとは思いますが、可能な限り今以上に事例等の導入を検討したり、アクティブな活動を入れ込む等を検討を行い、次年度以降の課題としたい。学術データベースの利用に関しても残念ながら殆どなされてなく、利用の仕方からのインフォメーションを行うことも検討としたい。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、時間が無いという回答が複数あった。時間の作り方に関しても、引き続き具体的に指導を行いたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>精神保健福祉士の国家試験受験資格の科目ではないが、その関連性が強く、全員が精神保健福祉士養成レーンの学生であった。今までの精神保健福祉士関連科目とのつながりを考えて教授を行ったが、4年後期の開講科目という点から、前半部分は今までの復習とその関連性も含めて講義を進めていくこととした。また、後半部分は両福祉士の国家試験が近付くということも考慮して、その試験に関することに関係性を持たせて講義を行った。更には、上記に示したように、よりリアリティを習得できるように、多くの事例を提供して検討を行ったが、さらなる検討方法の内容を吟味していく必要があると感じた。毎回資料配布しその説明を行い、理解を深めることができたと感じられる。次年度は予習復習に関しても、引き続き具体的な指示を出すことにしたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
福祉臨床心理演習Ⅲ	3	後期	選択	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は「資格に必要である」55.6%、「関心のある内容である」44.4%、「単位数を確保する」44.4%、「友人が履修している」22.2%であった。認定心理士資格取得希望者が多く受講している。それ以外の学生はそれぞれの自主的な判断により選択、受講している科目と考えられる。</p> <p>本科目は、高齢者領域の臨床心理学、心理アセスメントと心理療法を取り上げており、3年後期は社会福祉士の実習期間が入ることを念頭に、心理アセスメントの理解を十分に深めた上で、心理療法について取り扱うよう計画した。受講学生のなかには、高齢者領域に実習にいく学生もおり、体験を交えて知識や技術を獲得できるよう学生の意見を多く取り入れた演習となるよう心掛けた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は85.8点であった。概ね80点以上の理想的レベルに到達している。</p> <p>学生の自己評価においても到達度平均点は3.3～4.1点であり、学生も目標を達成したと感じていると考えられる。</p> <p>「専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均点は3.6点、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」の平均点は3.7点であり、特に「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均点は4.1点で且つ「かなりそうだと思う」と答えた者が受講者のうち44.4%であったことから、殆どの学生が対人援助職を目指す者としてのスキルアップを実感したと言える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「選択科目」であるが、高齢者領域の臨床心理学の心理アセスメントおよび心理療法を体験的に学ぶことのできる内容である。したがって、基礎的な心理学、発達心理学の知識を修得した上で、それを実践にどう結び付けていくかを考えていく段階での学習が有効である。よって、3年次の開講は適切であると考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業はまず対象者理解を促し、心理アセスメント・心理療法についての解説を行った後、学生同士のロール・プレイを行った。昨年度と比べ、今年度は対象者理解にあたり、事例の背景を考えるグループワークやロールプレイを実施した。これが、学生同士の議論や表現を活発化させ、「専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均点は3.6点、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」の平均点は3.7点であり、特に「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均点は4.1点といった、殆どの学生が対人援助職を目指す者としてのスキルアップを実感したことに繋がったのではないかと考えられる。</p> <p>授業の質の評価は平均点が3.7～3.9点であった。評価基準、学習の範囲や課題については、学生は適当だと判断したと考えられる。また、授業内での説明、参加の機会、質疑の機会についても理解が得られたと考えられる。</p> <p>授業以外の学習に取り組んだという学生は1名であった。以上より、毎回、提出すべき課題等を課しているわけではないが、もう3年生であり、もっと学生が自主的に発展的な学習に取り組んでいこう、促す必要があったのではないかと考える。参考図書等を積極的に紹介していくことも検討していきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目の目的とする基礎的知識の形成および関心意欲の向上について、概ね達成できた。</p> <p>今年度は、授業の進行の工夫により、技術の向上を実感する学生が多くみられたことから、この取り組みは次年度も継続していくこととする。また、今後はさらに自ら進んで学ぶ姿勢の学生が増えるよう、参考図書等を積極的に紹介していくなどの工夫をしていく。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	中島 俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
発達臨床心理学	2	後期	選択	はい	45

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>講義を受ける学生との対話ある講義を心掛けたいと準備した。講義の導入に当たり学生の興味・関心のある内容を話すために、毎講義の最後に本時の講義に対する感想や質問を書いてもらうこと死している。本時終了後にその内容を精査して回答や問題定義を考えて講義に臨んだ。このことでスムーズに講義の内容には入れた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>多人数の講義だったがこれに対する評価は一定の成功を示していると思われる。それは以下の3点においてである。①成績評価のほとんどが平均以上の結果を出している。②自由記述の欄に、「ためになり、わかりやすく、面白い講義であった」と講義者の狙い通りのコメントが見られた。③学生の出席状況からみて、欠席傾向のあるものを除けば、95パーセント以上の学生が講義15回の90パーセント以上の頻度で参加していることは学習意欲の高さが示唆される。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>アンケートに記入された受講動機や自由記述を概観すると「心理学的なことに興味を持っている」「人間行動の不思議を知りたい」「人の心を理解するために必要」など心理的な知識やそれを応用したいとの意欲が伺われるので、その成果から勘案してこのカリキュラムマップと講義内容との整合性は妥当であると思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>自学自習を促すための「次回の授業までに日々の生活の中で心にとどめておいてもらいたいこと」を伝えた方が良い。このことについてはアンケートの結果からまだまだ改善されていないといえるようである。予習の課題設定を今後試行継続してみたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>講義の道は経験は多いけれど、今年度の達成状況の総括的評価は3段階A,B,C評価のBの中ではなからうか。授業はアートだと思う。授業者の体調、意欲。内容の鮮度。それに受講者の体調や意欲と能力、抱える日常の悩みなどが微妙にからみ合う相互行為である。なそうとしても良い授業ができない場合もある。しかし良い授業ができたときはすぐわかる。終了後に出ていく学生の顔に如実に表れる。おいしい料理を食べたときと同じ顔になると経験的に思っている。本年度はその数においてやはりBの上であった。努力を重ねたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会心理学	3	後期	選択	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は「必修科目である」9.1%、「資格に必要である」45.5%、「関心のある内容である」45.5%、「単位数を確保する」36.4%、「友人が履修している」18.2%であった。選択科目であり、認定心理士資格取得希望者には必要な科目であるが、それ以外の学生はそれぞれの自主的な判断により選択、受講されている科目と考えられる。</p> <p>本科目は、個人と環境との関係を重視する心理学の領域を取り上げており、身近な現象を研究により理論としたものが多い。講義のなかでも身近な例を取り上げて、研究方法やその理論について解説を行うが、学生が日常生活や今後の専門性を生かした働き方と重ねて学ぶことができるよう、小レポートにて学生から具体的な例を提案させることにより、専門性のある概念や言葉に親しみ、関心を深めるようにしている。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は87.9点であった。受講者のうち93.8%の者が80点以上であったことから、理想的レベルの知識理解が進んだと考えられる。</p> <p>学生の自己評価においても、特に「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」と「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均点は3.8点であり、殆どの学生が知識の獲得を実感することができていた。「専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均点も3.6点と高く、意欲関心も持つことができたようであった。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「選択科目」であるが、社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験に頻出の内容である。また、それらの資格に加え、養護教諭、保育士など対人援助職として個人と環境との問題を検討するためには基礎となる学問である。心理学概論、発達心理学、臨床心理学等の心理学の各領域の知識を獲得し、さらに専門性を高めようとする3年の時期に学ぶことは、適切であると考えられる。</p> <p>受講動機では、「関心のある内容である」が45.5%と高かったが、学習到達度の自己評価からは、期待通りの成果が得られたのではないかと考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>昨年度に引き続き、一昨年度より変更したテキストを用いて授業を進めた結果、特に学生からの意見はなかった。学生の理解度に沿った授業展開ができたと考えられる。授業の質の評価では、「評価基準は明らかであった」の平均点は3.9点、「学習の範囲や課題は明らかであった」の平均点は3.9点、「説明は理解しやすいものであった」の平均点は4.0点であった。</p> <p>学生アンケートによると、学習準備を30分程度1回以上行った者が6名だった。また、復習を30分程度1回以上行った者が7名だった。但し、知識を問う試験を実施し、その成績には学びの成果が反映されていたことから、試験に向けて集中的に学習に取り組んだ者が多かったことが推測される。</p> <p>また、授業以外の学習に取り組んだという学生は0名であった。これは、授業中より「積極的に、身近な出来事と専門知識を結びつけて理解してほしい」というメッセージを伝えているため、授業と身近な体験を結び付けて学習成果を上げている学生が多かったと考えられる。アンケート結果には上っていないが、学生からは「身近な出来事と結び付けて覚えたので、試験が終わってからも習った内容を覚えている」という感想が得られた。今後も継続してこのような成果を上げていくことが求められると考える。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目の目的とする基礎的知識の形成および関心意欲の向上について、概ね達成できた。 今後も継続して学生の知識と意欲の向上に努めていく。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
コミュニティ心理学	4	後期	選択	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は「資格に必要である」28.6%、「関心のある内容である」42.9%、「単位数を確保する」85.7%であった。選択科目であり、認定心理士資格取得希望者には必要な科目であるが、それ以外の学生はそれぞれの自主的な判断により選択、受講されている科目と考えられる。</p> <p>本科目は、臨床心理学の実践から生まれた応用領域の学問を学ぶものである。このコミュニティ心理学の基本概念や実践報告には、臨床心理学や社会福祉学と重なる点や異なる点が数多くみられる。そこでこれまで福祉学科で培った各学問との関係、各対人援助領域での応用のあり方について、文献を読み解きながら、受講者全員による質疑、議論を重ねることで、本科目の知識を吸収していくことを促した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は94.0点であった。全ての受講者は理想的レベルの知識理解が進んだと考えられる。</p> <p>学生の自己評価においては「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均点は3.9点、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均点は4.0点、「専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」の平均点は3.7点であった。</p> <p>また、授業の質の評価において、各項目の平均点は高く、4.3点～4.6点であり、概ねすべての学生が授業の質を好意的に評価していた。「説明は理解しやすいものであった」4.3点、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」4.6点、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」4.4点であったことから、授業準備で意図していたことが学生によく伝わっていること、これまで3年半の間に得た知識や経験に基づき、学生が積極的に授業に参加したこと、それが新たな知識の習得にも繋がったと考えられる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「選択科目」であるが、臨床心理学の応用領域ということから考えると、これまで3年半の間に獲得した心理学と社会福祉学の各領域の知識を生かし、さらに専門性を高め、実践に結び付けることを志向し議論することは、4年後期の時期に適切であると考えられる。到達度自己評価は「自分なりの目標を達成した」の平均点は3.3点であり、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均点は3.9点、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均点は4.0点、「専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」の平均点は3.7点であったことから、大半の学生が自らの目標を達成し、成長を実感することができたと推察できる。</p> <p>授業の質評価は、平均点4.3～4.6点と概ね高く、学生の力に合った授業内容であり、授業展開ができたと考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業外での学習については、学習準備を30分程度1回以上行った者が3名だった。また、復習を30分程度1回以上行った者が3名だった。また、授業以外の学習に取り組んだという学生は1名であった。多くの学生は国家試験対策と並行して学ばなければならない4年後期開講の本科目に対し、授業外に学習する時間を割く余裕があまりなかったと思われる。一方で取り組んだ学生の中には、アンケートの自由記述に「新聞やニュースなどを参考にした」とあるように、実社会との結びつけて学びを深めようとした者がいるようであった。</p> <p>授業内での学習については、授業の質評価は平均点4.3～4.6点と概ね高く、学生の力に合った授業内容であり、授業展開ができたと考えられる。</p> <p>以上のことから、今後も授業内での学習の質を保証することで、学生に十分な学びの機会を提供することが不可欠であると考えられる。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目の目的とする基礎的知識の形成および関心意欲の向上について、概ね達成できた。 今後も、適切な知識の提供とともに、受講者全員による質疑、議論を重ねることで、知識の吸収を促していく。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	坂巻 路可

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
栄養学	2	後期	選択	いいえ	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、食物に含まれる栄養素の役割やその人体での機能について解説し福祉に従事する立場から健康・栄養の大切さへの理解を深めることを目的としている。本科目は、選択科目であるが、養教一種免許状の資格取得の必修科目であることから、受講動機においては、「資格取得に必要である」が76.0%、次いで「必修科目である」が28.0%であった。昨年度、予復習時間の確保や自発的学習への取り組みについてに示したが、本年度は各回の授業において、次週のテーマの説明と当日のテーマの復習についての説明を強化し、半数以上(53.8%)の学生において、予復習への取り組みが行われたことが窺える。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された		達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>総合的な成績の平均値は78.4(±11.3)点であった。再試対象者は、いなかった。本試験の成績については、標準的レベル(70点以上)に達したものは46.2%、また理想的レベル(80点以上)に達したものは34.6%であった。学習到達度の自己評価においては、回答者全員が自分なりの目標を達成し、新たな知識を得ることができたと回答している。また、ほぼ全員の回答者(96.2%)から「学びを深めたい」(96.2%)、「様々な課題を検討する力を得た」(100%)との回答が得られたことから、教育目標は概ね達成できたと考える。</p>					
*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性</p> <p>本科目は、選択科目(養護教諭一種免許状の必修科目)であり、福祉分野における栄養学の基礎的な知識の修得を目指している。学生による授業評価においては、ほぼ全員が新たな知識を得ることができており、また、専門分野において課題を検討する力、的確に判断する力、必要となる技術を身に付けることができたとの評価を得ている。成績評価においても、一定の成績を修めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>DP, 行動目標からみでの内容的妥当性</p> <p>成績評価から知識、思考判断、態度等に関する達成度は比較的高く、本科目の内容的妥当性は問題はないと思われる。</p> <p>まとめ</p> <p>以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学習到達度の自己評価においては、ほぼ全員が自分なりの目標を達成し(平均値3.3)、新たな知識を得ることができた(平均値3.6)、と回答している。また、学習量の評価においては、約4割の学生が2~3回以上の予復習を行ったと回答し、授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習では、「教科書を読んだ」等の回答があり、積極的に授業へ臨んだことが窺えた。更に、授業の質の評価においては、平均値3.4で、否定的な意見は認められず、授業の進め方については、問題はないと思われるが、図書館等の利用について、利用者が少なかつたため、情報収集の場、学習の場として積極的な図書館の利用を勧めたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>学習到達度の自己評価から、大多数の学生が目標を達成し、栄養学分野において新たな知識を得ており、また事象を理解する視点や考え方を得ることができたと考える。次年度に向けこれらの評価を維持または向上できるよう、学習教材の内容や授業の進め方を検討する。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡部 明仁

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生理学	2	後期	選択	いいえ	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>生理学は、細胞の機能から生命体の維持の基本となる主要臓器の働きについて学ぶ学問である。福祉学科、特に養護教諭を目指す学生にとっては必要な科目であることから、内臓機能や神経系の働きについて理解することに重点を置いた。高等学校で学んだ生物基礎の知識をもとに、対象を認識するための感覚器の働き、中枢での情報の統合、運動神経による骨格筋の制御の仕組みなど、基本的な事柄が理解できるように努めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価のすべての項目において、「まあまあと思う」以上の肯定的な意見が9割以上あり、中でも「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」および「自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた」と回答している学生の平均値が3.6、中央値が4.0であったことをみると、本科目で意図した教育目標はある程度達成できたと考えている。しかしながら、「少しそうでないと思う」以下の否定的な意見も若干名あることから、専門用語などより丁寧な説明を行うべきだったと考える。</p> <p>評価はレポートで行ったが、レポート内容からは将来の自分の夢に対して非常に真摯に向き合っており、そのために「生理学」の内容が少なからず重要であるという認識を持っており、講義に対して大変真面目に且つ積極的な姿勢がうかがわれた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、社会福祉士国家試験の中の「体の構造と機能及び疾病」において必要な生理学分野の科目である。受講生の約6割が資格取得を目指して受講を決めている。カリキュラムマップの中では、「解剖学」、「医学総論」などと連携して、人体の構造と機能と疾病の成り立ちについての正しい知識を身につけるための科目である。</p> <p>近年の国家試験問題は、極めて難易度の高い設問も含まれており、本科目の授業内容では不十分な点もあるかと考える。時間数が限られる中で、国家試験問題のレベルに合致した授業内容となるよう、創意工夫が必要と考えている。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>講義で使用したスライドや資料は全て大学ホームページ内にある「講義資料配布」にアップロードし、学生がいつでもアクセスできるよう環境を整えた。これは自宅での復習や次回の予習に役立てられるよう配慮したつもりである。しかしながら、予習・復習を全く行わなかった学生が大半で、インターネットの利用などほとんどの学生が行っていなかったことから、周知が足りなかったと考えている。</p> <p>今年度は学生の能動的な学習意欲を引き出すためにも、「実感・体感する生理学」を目指して、血圧測定と肺活量計を用いて測定を行った。水銀柱を用いた血圧測定は、興味を持って受け入れられたと考えられる。体感・実感は動機づけには有効であった。次年度も続けたいと考えている。加えてNHKスペシャル「人体」のビデオ鑑賞を通して、生理現象について考える機会を設けてみることも必要であると考えている。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>限られた時間内に、人体のすべての臓器について基本的事項を講義することは不可能である。生理学で学ぶ事象については、身近な現象や病態などをできるだけ多く例示したつもりであるが、必ずしも学生にとって理解できる内容ではなかったのかもしれない。しかしながら、レポートを見る限り、大変前向きにとらえてくれており、受講態度も非常に良かったので毎回楽しく講義を進めることができた。</p> <p>今後の課題としては、より丁寧な説明を行い、教科書全ての項目を網羅しようとするのではなく、学生に興味を持ってもらえるような事例をもっと多く提示する必要があると考えている。そのためには、2年前期で開講されている「解剖学」とも連携を強める工夫が必要である。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	稲木 光晴

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
運動処方論	3	後期	選択	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>今回の受講動機をみると、「関心のある内容である」と答えた学生は50%、「単位を確保する」が62.5%であった。授業においては、1年次の「健康科学」の内容を振り返ることで、健康に関する正しい理解を促すと同時に、高齢者、妊婦、および子どもに適した運動(遊び)のプログラムの作成方法について具体的に説明を行った。</p> <p>毎回の授業において理解度チェックを行うと同時に、質問を受け付けることによって、学生の理解度を把握し、理解が不十分であったと思われる事柄については次の授業で説明を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は70.0(±17.0)点であった。成績分布別にみると、90点以上が11.1%、89～80点が22.2%、79～70点が22.2%、69～60点が33.3%、60点未満が11.1%であった。受講者9名中8名の学生が標準的レベルに達しており、そのうち1人の学生が理想的レベルに達していた。</p> <p>学生による到達度自己評価をみると、「自分なりの目標を達成できた」では、「かなりそうだと思う」が12.5%、「わりにそうだと思う」が25.0%、「まあまあそう思う」が37.5%、「少しそうでないと思う」が25.0%であり、75%の学生が肯定的に捉えていた(平均値3.3)。</p> <p>「知識・理解 (DP1)」に関する学生の到達度自己評価(質問項目2と3)についても、「かなりそうだと思う」が12.5～25.0%、「わりにそうだと思う」が37.5%、「まあまあそうだと思う」が37.5～50%と、すべての学生が肯定的に捉えていた(平均値3.6～3.9)。</p> <p>「技能・表現 (DP5)」に関する学生の到達度自己評価(質問項目7と8)についても、「かなりそうだと思う」が12.5%、「わりにそうだと思う」が37.5%、「まあまあそうだと思う」が25～50%と、ほぼすべての学生が肯定的に捉えていた(平均値3.4～3.6)</p>					
* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>専門教育科目の「保健・医療関係科目」に含まれる科目である。授業では高齢者、妊婦、子どもそれぞれの特徴を理解させた上で、それぞれに適した運動(遊び)プログラムの作成方法について具体的に解説を行った。「知識・理解 (DP1)」、「思考・判断 (DP2)」および「全体を通して」に関する学生の到達度自己評価では、すべての学生が肯定的な回答を行っていた。これらのことから、本科目はDP, CP, カリキュラムマップの位置づけからみて内容的に妥当であると考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生による授業の質評価は、平均値が3.7であったことから、授業の進め方は概ね良かったと考える。 学習量の評価についてみると、1回30分程度以上の予習を行った学生の割合は、6回が0%、4.5回が0%、2.3回が25%、1回が12.5%、0回が62.5%であった。 1回30分程度以上の復習を行った学生の割合は、6回が0%、4.5回が12.5%、2.3回が37.5%、1回が12.5%、0回が37.5%であった。 また授業課題以外の学習に取り組んでいなかった学生の割合は87.5%であったことから、学生の学習意欲をさらに高める工夫をする必要がある。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>目標は概ね達成できたと考える。 今後の課題としては、定期的に予習・復習を行う学生、また授業課題以外の学習に取り組む学生を増やすために具体策を考えることである。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	樋口 善之

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
学校保健 I	2	前期	選択	いいえ	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業の実施にあたっては、本科目が養護教諭コースを希望する学生が受講していることから、養護教諭として知っておくべき基本的内容を広く講義することに努めた。特に、保健学習については、保健管理を専門とする養護教諭にとっても、知っておくべき内容であり、また養護教諭自身が保健学習を担当することも期待されていることから、学習指導要領等の内容についての解説を充実させるようにした。</p> <p>また、授業の準備性を高めるため、開始時に動機付けとして教員採用試験等の状況について説明した。</p> <p>「学修準備性」については、受講動機を見ると、資格取得と回答したものが24名中21名であり、高い動機が伺えたが、実際に課題以外に取り組んだ学習は6名であった。自由記述において、「ニュースを見る」という学生もみられ、授業初回のガイダンス時に紹介した方法を試みた学生がいた一方で取り組んでいない理由に「何をしたらいいかわからなかったから」という理由も見られた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>本科目は、養護教諭になるため基礎的な科目であり、知識理解に重点を置いた。学習到達度の自己評価として、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値は4.0(前年度4.3)であり、知識理解は概ね達成できたと考えた。また、思考判断・意欲関心について、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」が4.0点(前年度4.2)、「自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた」が4.0点(前年度4.3)であり、前年度と比較して、学生自身の到達度自己評価としては若干下がっているが良好な結果であったと考えられる。</p> <p>一方、技能表現については、講義形式で座学が中心であったことから、達成されたとは言いがたい。学生の自己評価も、「コミュニケーション能力や表現力を高めることができた」が3.4点(前年度3.5)と低くなっていた。継続してこの課題として検討したい。</p> <p>全体を通して、最終的な成績の平均点は86点、再試験対象者は0名となった。授業の予習復習や指示課題については取り組む姿勢が見られたが、前述の通り、指示された課題以外の学習に取り組むものの割合が、25名中6名と極端少ない。課題を指示するだけでなく、参考図書などを紹介して、自主的な学びを促していきたい。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>カリキュラムとして、本科目は養護教諭を希望する学生が受講する選択科目であり、専門教育科目として位置づけられている。また学校保健を専門的に学ぶ導入的な位置づけであることから、講義の内容としては、基礎的な知識の修得と意欲の醸成に重点を置き、成績評価としても記述式の期末試験を課し、学校保健に関する基礎的な知識と共に、自己の考えを述べる設問内容としている。カリキュラムの位置づけとしての内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方について、自由記述を見ると「わかりやすい講義でした」「映像も見たりして分かりやすかった」等の評価があったことは今後の励みにしたい。一方で、予習復習に取り組んでいない学生が多く、授業の課題以外の学習については、図書館や学術データベースを利用するものも少なかった(25名中4名)ことから、授業外の自主的な学習を充実させる取り組みが必要であると考えます。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>総合的評価として、概ね良好であると考えます。本講義を担当して5年目となるが、学校保健は広範な内容を取り扱うため、学校保健IIIにつなげられるよう、基礎的な理解に重点をおいた。また前年度から基礎的な知識の修得に加え、発言の機会を増やしたり、ブレインストーミングを取り入れたりするなど、前年度よりも双方向的な授業になるよう心がけたところ、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」に対して「全くそうでないと思う」「少しそうでないと思う」者が傾向として減少しており、引き続き、授業改善を進めていきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
学校保健Ⅱ	2	後期	選択	いいえ	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は養護教諭一種免許状取得に必要な科目であり、看護臨床実習、養護実習の履修要件を満たすための科目である。受講動機としては、「資格取得に必要である」81.0%、「必須科目である」19.0%、「関心のある科目である」0.0%であり、資格取得や必須科目であるが、関心意欲が低いことが分かる。これらのことから、授業では養護教諭の執務について、学校保健Ⅰで学んだことを基礎に、できるだけ具体例を示し、グループワークやロールプレイを取り入れ、関心意欲を高めるように心がけた。</p> <p>②オリエンテーションでは自分自身が児童生徒だった時の養護教諭のイメージと理想の養護教諭像のグループワークを行った。また、第14回、15回では保健室経営の中で理想の保健室のレイアウトを考え、グループ発表を行い、養護教諭の執務がより具体的にイメージできるように工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>最終的な平均値は77.0(±7.0)であった。理想的レベル(80点以上)は10名であった。目標別の到達度は、知識理解に関しては70.0%、思考判断70.0%、関心意欲77.0%であった。基礎的な問題の正答率は高かったが、基礎的な知識を応用した論述問題の正答率が低かった。このことは、基礎的な知識の定着とそれを応用しての理解が不十分であったと考えられる。授業では基礎的な知識の定着を確認しつつ、グループワークなどを通して応用力の定着を図るように授業構造を改善していきたい。</p> <p>学生の授業評価においては知識理解において、知識を確認、修正したり、新たに得ることができた(平均値3.9、中央値4.0)、また、関心意欲においては、自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた(平均値3.8、中央値4.0)であった。一方で、コミュニケーション力や表現力を高めることができたと答えた学生が少なかった(平均値3.7中央値4.0)。</p> <p>次年度に向けて、基礎的な知識を活用し応用問題に対応できるように復習問題などの課題を取り入れていきたい。さらに、コミュニケーション力を向上することができるとの演習を取り入れ授業構造を改善していく。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP,CPカリキュラム上の位置づけから見ての内容の妥当性 本科目は「保健・医療関係科目」であり、養護教諭一種免許状取得するための看護臨床実習、養護実習の履修要件科目である。受講動機としては「資格取得に必要である」81.0%、「必須科目である」19.0%であった。また、学生の授業評価においては知識・理解において、知識を確認したり、修正したり、新たに得ることができた(平均値3.9中央値4.0)、また、自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた(平均値3.8、中央値4.0)と答えている。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。</p> <p>②DP,行動面から見ての内容的妥当性 成績評価から見て知識理解に関する達成度が比較的低かったが、基礎知識を活用し、応用問題に適切するように授業構造を検討していくことから、内容的には妥当であったと考える。また学生の授業以外に取り組んだこととして、授業内容をもとにレジュメを活用し、復習に取り組んでいた。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容妥当性には問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業評価においては、「保健室のレイアウトなどをするために、課題に取り組んだ」という意見があった。また、昨年度、学生から演習をするための模擬保健室に設置についての要望があったが、設置することができ、今年度より演習をする際に活用をする予定である。 さらに授業では、グループワークなどを取り入れ、コミュニケーション力や表現力を身につけることができるように、授業を改善していきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は、養護教諭一種免許状を取得するために必要な科目である。基礎的な知識は概ね達成できたが、学校現場では臨機応変に対応することが求められる。基礎的な知識を定着させ、さらに活用できるような実践力が身につくように授業構造を改善していきたい。 授業内容について基礎的な知識の定着を図るとともに、復習課題を提示し、応用力の養成に取り組んでいきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
看護学	2	後期	選択	いいえ	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は養護教諭一種免許状取得に必要な科目であり、看護臨床実習、養護実習の履修要件を満たすための科目である。受講動機としては「資格取得に必要である」91.3%、「必須科目である」17.4%、「関心のある内容である」0.0%であった。このことから、資格取得や必須科目であるが、関心が低い科目であることがわかる。これらのことから、講義を通して基礎的な知識が定着できるように、講義と演習のバランスを考え授業計画を立て、関心を高めるように心がけた。</p> <p>②授業では、看護理論の基礎を学び、実践に生かすことができるように疾患についてグループワークを行った。また、課題についてプレゼンテーションを行い発表した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>最終的な平均値は77.3点(±5.3)であった。理想的レベル(80点以上)は7名であった。目標別の達成度は知識理解に関しては、71.6%、思考判断71.6%、関心意欲87.0%、技能表現83.0%であった。知識理解では、基礎的な問題の正答率は高かったが、基礎的な知識を応用した論述問題の正答率が低かった。このことは、基礎的な知識の定着とそれを応用しての理解が不十分であったと考えられる。授業では基礎的な問題の定着を確認しつつ、復習問題を課題に出すなどの工夫を通して、応用力の定着を図るように授業構造を改善していきたい。</p> <p>学生の授業評価においては思考・判断において、自分が学ぼうとしている専門分野において課題を検討する力を得ることができた(平均値4.2、中央値4.0)、関心・意欲において、自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた(平均値4.0中央値4.0)であった。一方で、自分なりの目標を達成することができたか答えた学生の割合が低かった(中央値3.4平均値3.0)。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP,CPカリキュラム上の位置づけから見ての内容の妥当性 本科目は「保健・医療関係科目」であり、養護教諭一種免許状取得するための看護臨床実習、養護実習の履修要件科目である。受講動機としては、「資格取得に必要である」91.3%、「必須科目である」17.4%、「関心のある内容である」0.0%であった。このことから、資格取得や必須科目であるが、関心が低い科目であることがわかる。</p> <p>学生の授業評価においては、知識・理解において、知識を確認、修正したり、新たに得ることができた(平均値3.9中央値4.0)また、関心・意欲においては、自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた(平均値4.0中央値4.0)と答えている。また、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。</p> <p>②DP,行動面から見ての内容の妥当性 成績評価から見て最終の平均値は高かった。さらに基礎知識を活用し、応用問題に適應するように授業構造を検討していくことから、内容的には妥当であったと考える。また学生の授業にが取り組んだこととして、授業内容をもとに復習やノートのまとめ、テスト勉強に取り組んでいた。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容妥当性には問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業では、講義でしっかりと基礎知識を身につけ、グループワークなどを取り入れ、学校現場で実践できるような力を身につけることができるように授業内容を工夫していきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目は、養護教諭一種免許状を取得するために必要な科目である。基礎的な知識は概ね達成できたが、学校現場では医学的な知識を持った専門職として臨機応変な対応が求められる。基礎的な知識を定着させ、学んだ知識をさらに活用できるような実践力が身につくように授業構造を改善していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
精神保健学	3	後期	選択	いいえ	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉士の国家試験受験資格に関する科目で、教職の必須科目であることから、他の受験資格科目と、教職科目との関連性を考慮して講義を行った。具体的には、第一回目の講義の時に、受講についての詳細な説明を文書で提示した。シラバスに記載していることを前提として、1, 2年次での開講科目の精神保健福祉士受験資格関連科目との関係性を説明し、教職課程における本講の重要性を述べた。他には予習復習の件、欠席遅刻の件、理解をしておくべきキーワード、定期試験の件、社会福祉士の実習期間に伴う補講の件、理解を深めるための専門職能団体の研修会案内の件、リアクションペーパーの件等々を詳細に説明した。さらには、理解度を深めるために、関連キーワードの確認テストを行ったり、後期のみでの講義で、30コマあること(週に2回)から学習状況確認のために、16回目に中間的な小テストを行うことを事前に知らせ実施した。毎講義ごとにレジュメを作成して配布し、理解度を高めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、全員合格領域に到達しており、標準的レベルには達成した。また、定期試験、確認テスト、リアクションペーパー、レポート、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。全体的に80点以上が約3割を占め、理想的レベルに達している。リアクションペーパーからは、国家資格の受験資格を取得するだけでなく、教職との関連性も含め、幅広くメンタルヘルス全般の関連分野までの理解が深まった等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性については、精神保健福祉士の国家資格を取得するためと、教職必修の科目でもあり、講義に対してのモチベーションは非常に高いものが感じられた。また、精神保健福祉士の受検資格は取得し国家資格も取得するけれど、精神方面には進まないという学生や、教職免許は取得するも、教育には進まないという学生、の受講もあったが、メンタルヘルス領域に興味があるということで、高い意欲を感じられた。学生も成績評価から、一定の到達領域に達しており、内容的には妥当であると思われる。DP、行動目標からみた見ての内容的妥当性については、成績評価から、知識・理解はある程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価の「コミュニケーション力や表現力を高めることができることができる」の平均点が、他の項目より低かった。座学であるがゆえ、なかなか困難かとは思いますが、可能な限り今以上に事例等の導入を検討したり、アクティブな活動を入れ込む等を検討していきたい。次年度の課題としたい。学術データベースの利用に関しても殆どなされてなく、利用の仕方からのインフォメーションを行うことも検討としたい。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、時間が無いという回答が複数あった。時間の作り方に関しても、指導を行いたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得するために必要な科目、および教職必修科目ということで、精神保健福祉士養成レーンと養護教諭レーンの学生の受講が多かった。2年次での精神保健福祉士関連科目とのつながりを考えて教授を行ったが、2年次に受講していない学生（養護教諭レーンや、メンタルヘルス領域に関心を持つ者）も受講していることから、前半部分は2年次の復習とその関連性も含めて講義を進めていくこととした。また、上記に示したように、よりリアリティを習得すすために、事例を提供して検討を行ったが、さらなる検討方法の内容を吟味していく必要があると感じた。毎回資料配布しその説明を行い、理解を深めたと感じられる。次年度は予習復習に関して具体的な指示を出すことにしたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会的養護	3	後期	選択	はい	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>少人数クラスであり、相互のコミュニケーションは可能であった。学習の準備性については不十分さを感じた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業理解度を測定するために、最終的所産物としてレポートを貸したが、十分なレベルに到達したとは評価できない。テキスト以外に視聴覚教材を利用したが、参加度はこちらの方が高かった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>内容の妥当性はあると考えられる。</p>
--	-------------------------

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>使用するテキスト以外にDVD等で社会的養護の実践を学ぶ機会を設け、より理解を深めたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>十分と言えるレベルまでは達成していない。社会的養護内容の授業と関連付けながら、本科目の理解を深めたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	杉谷 修一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育原理	2	後期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>○学生にとってわかりにくい授業のひとつであり、授業において教育を本質・文化・制度など多面的に理解するためのフックを工夫した。</p> <p>○保育士という専門職にとっての教育の意味をイメージできるようつとめた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された		どちらともいえない		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>○秀27.3%、優45.5%、良22.7%、可4.5%、平均点80.9であった。</p> <p>○点数からすると満足できるレベルといえる。</p> <p>○ただし授業中の参加の様子を見る限り、保育に近い内容や現代的なトピックには反応するが、歴史的な変遷や教育の本質の意味など土台部分には興味を持ちづらいのではと思われる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>ODP、CP、カリキュラムマップ上では保育士に必要なものとして位置づけられており、内容妥当性について問題はないと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン
ターネット利用」学生の意見など

○教育原理の土台部分については今後とも具体的な資料や映像を活用するとともに、ニュースなどの事例を使って現代の課題と結びつけて考えさせたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

○定期テストで測定できる学力レベルは本年度同様のものを目指すとともに、授業の質を高めることで参加度を上げ、主体的な学びができるような取り組みを行いたい。

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どもの保健 I	2	通年	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、学生の動機がそれに該当する。そのため、資格取得のために受講している感が強く、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目である。その中で、初回授業において、授業の進行方向や希望する細く内容について学生の意見を聞き、授業の進行に反映した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価として、優:11人、良:9人、可:2人であった。授業においては、学生の希望を反映し、テーマ設定やグループワーク、プレゼンテーション等主体的な進行を取り入れたが、実習等での欠席もあり、成績評価「秀」の学生はいなかった。そのため、全体として「やや達成された」としている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、特に保育内容に深くかかわる科目であることから、関連DPについては妥当であると考えます。また、実習に行く前に身につけておくべき内容であることも含めて、CP, カリキュラムマップ上の位置づけも妥当であると考えます。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示ください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方は、学生の意見を初回に聴取するだけでなく、各回においても要望を尋ねており、授業中の態度等からも概ね問題ないと考えている。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>成績評価上も概ね教育目標は達成できていると考える。授業進行については、年度の学生の状況を踏まえて、資料提示等に工夫が必要であるとする。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	天本 理恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どもの食と栄養	3	通年	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「子どもの食と栄養」は、福祉学科の学生にとっては、保育関係の専門科目であり、卒業後に子どもたちに関わる仕事に就く学生にとっては、食育について学ぶ重要な科目となる、また保育士資格の必修科目として設定されている。よって受講動機は「必修科目である」が72.7%であることは当然の回答である。また「資格取得に必要な」も54.5%と高かった。「関心のある内容である」が9.1%と低いことに関しては、学生の関心をひきつけるような講義の実施が出来なかったことも推察されるが、この科目が保育関係の専門科目の中でも、どちらかといえば副教科として存在していることも理由の一つと考える。2018年度のみ、この科目は前期に講義、後期に実習を2名の教員にて担当した。前期の講義では、スライド資料を配布し、その資料には、板書を書き写すためのスペースを設けるなど、資料作成に努力した。また、毎回の授業終了前に、その日の講義の復習小テストを行い、解説して、提出させた。その小テストには、授業理解度を%で自己評価させ、意見や質問をうける欄も作成している。毎回、質問欄には、学生たちから色々な意見や質問が記入されており、それに必ず返答して返却するよう努力している。その結果、学生たちが意欲的に講義に臨む姿勢がうかがえた。また後期の実習では、調理実習を行い、前期で学んだ理論を実習にて実践し、知識との統合を図った。実際に調理をすることで、子どもたちの食の重要性を再認識したことが推察される。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>DP1(知識理解)に関しては、定期試験結果および後期の提出課題から評価した。またDP5(技能表現)に関しては、後期の食育に関するプレゼンテーションにて評価した。結果は12名の受講生中、A(秀)が41.7%と高く、B(優)が50%であり、D(可)が1名であった。受講生全員が標準的レベルに達しており、41.7%の学生が理想的レベル(今回は秀90点以上として評価した)に達していた。また学生による授業評価においては、知識理解に関する自己評価が高い。講義および実習への関心の高さは、試験結果や実習課題で判断することが出来たが、学習量の評価では、約50%の学生が予習および復習を一度もしていなかった。シラバスを活用し、予習・復習を促すことは実施したが、他の教科の課題との関連もあり、学習時間を設けることが難しいことが考えられるため、学修時間の確保に関しては福祉学科の専門教科との関連性の中で検討していく必要がある。また、学習のために図書館を利用したり、インターネットを利用して検索学習を行う学生が少なかった。特に図書館の利用に関しては、自主的学修のためにも学生に勧めていく必要がある。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、福祉学科の学生にとっては保育関係の専門科目でかつ保育士資格必修教科でもある。このことから、受講動機の「必修科目である」が72.7%なのは、当然の回答である。また、本科目に対する学習到達度や試験結果、提出課題の結果から、必修教科ではあるものの関心の高さや達成度の高さは伺えたため、DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性に関しては、妥当であったと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学習量の評価では、約50%の学生が予習、復習を一度もしていないと回答した。さらにこの授業を履修する際にシラバス記載を参考にしなかった学生は90%と高かった。必修科目であるため、シラバスを参考にしなくとも、本科目の履修は卒業条件だと思いが学生たちにあると考えられる。また、講義の初回にシラバスを配布し、一緒に目を通してしているため、その後にシラバスを参考にする必要がなくなったことも考えられる。今後も講義初回のオリエンテーション時における、シラバスの説明、今後の授業の進め方、自己学習の仕方等を丁寧に実施していき、常にシラバスを参考にするように促していく必要がある。予習復習等自己学習に関しては、まずは、少時間でもいいので、予習・復習をする習慣をつけてもらえるよう、シラバス記載の予習・復習項目を常に意識するよう学生に促したが、まだ低い。今後も同様の方法で予習・復習を促していく必要がある。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目の位置づけは、福祉学科にと保育関係の専門科目のなかでも副教科となるが、保育士資格必修の専門科目である。必修科目としての履修ではあるが、学習到達度の学生の自己評価および試験結果、課題提出等から、概ね全てのDPを達成できたものとする。本科目の予習・復習に関しても、毎回の講義で、実施を促していく必要がある。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	中島 俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育の心理学 I	2	後期	選択	はい	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>現代社会はストレス社会と言われる。したがって心理学の分野にも期待が高まっている。本講義では基本となる心理学一般の基礎知識や教養的知見の修得を目指しながら、専門性のある生涯発達心理学の視点から授業を組み立てている。前年度の大きな課題は「講義中の集中力をいかに高めるか」という点であった。このため講義途中で質問コーナーを作ったり「映像」を多く取り入れた。自由記述をみると概ね成功したと理解できる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体を通して達成されたという根拠は「定期試験の結果」である。優れた及び良いという高評価を得た学生が95%以上に達した。記述式が中心の問題が中心であるが、記載内容も的を得たものがほとんどを占め、理解の深まりが進んだものが多かった。また授業評価アンケートの内容も自由記述欄には「わかりやすかった」の記述が多く講義のねらいはほぼ達成されたと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>昨年度と同様に、毎回の授業について、ミニ感想や質問を自主的に書いて提出するように求めている。この効果は大きく好評のようである。自由記述を見ると、これに関する「質問の回答の時間が一番良かった」「心理学だけでなく先生の人生の話が面白かった」等の記述もあり、本科目の目標である「ストレスの多い現代社会を生き抜く健康な心構えを形成する」というねらいが達成されたと評価できる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>昨年度の問題点であった、自学自習を促すための「次回の授業までに日々の生活の中で心にとどめておいてもらいたいこと」を伝えた方が良いのではないかと授業アンケートの結果からまだまだ改善されていないと言える様である。昨年同様に学習量を高める工夫の一つとして予習の課題設定を今後さらに試行継続してみた。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>講義シラバスで年度当初の学生に期待した行動目標は概ね達成出来たと思う。しかしまだ授業中に集中力が途絶え、睡眠モードに切り替わる学生が幾人か存在する。注意の仕方に工夫をくわえたい。睡眠学習者0を達成するのは容易ではない。今年度取り組んだ映像や教師の発問、討議話題の挿入などまだ工夫の余地を継続して続けたい。がんばりたいと思う。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	深堀 和枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容 健康	2	後期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①シラバスの通りでないこともあるので、授業終了時には次回すること準備すべきことを伝達し、授業開始時には先週の復讐をいれ、習熟度を確認するようにした。 ②実技の際に準備不足で開始するのに時間を取ってしまったことがあり、学生を待たせることになり申し訳なかった。非常勤講師のため、もっと前もっての準備物の確認をする必要があった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された			やや達成された		やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①技能表現では、指導計画や模擬保育に時間を取るよう努めたが、十分であったとは言えない。 ②保育はチームですので発表の後、他者の意見を聞き共感、認めることはしながらも、自分の考えも言い、互いに支え合っていく共同的な関係ができる機会をできるだけ作った。 ③「到達度自己評価」で「少しそうではないと思う」が1名いた。演習をする中で、評価すべきところが不十分なところがあったかもしれない。評価としてはっきり示す小テスト等をもっと入れることを検討する。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①学生の「到達度自己評価」は3.6～3.9で、4.0には届かなかったが、妥当であったと解釈している。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①「授業の質の評価」は4.0で演習を多く取り入れたことや質問にできるだけわかりやすく答えたり、映像を見せたことと推測できる。また、少人数での意見交換等は有益だった。 ②グループで体育的なあそびの指導計画を立て実践したことで、準備がととのっていることがどれだけ大切であるかを実感認識できたと考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>毎回の学びを書いてもらったが、それを十分に生かすことが出来なかったもので、様式を変え学、生が自分の学びを認識できるようにしたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	中島 俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容 人間関係	2	後期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育内容(人間関係)の重要性は社会が人間関係スキルを重要視すればするほど幼児期のこの分野での学習は大事である。単なる座学に終わることなく実際にワークを多く行い、また心理劇の技法を使った実際の保育の現場で遭遇する子ども同士のけんかやトラブルをどのように観察、仲裁をすればよいかを身体を使って学ばせた。この効果は大きかった。アンケートの自由記述にも好評化の記述が見られた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された		達成された	達成された		達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>達成の評価の根拠は定期試験の内容である。しっかりと授業者の求める論点(聞き書きの実践力)に従って書かれている学生が多く、授業者の意図をよくくんで内容を理解していることがわかる。(客観的データとして学生の成績平均を参照して頂ければ分かる)授業アンケートの集計結果も満足のいくものであった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>平和で幸せな地域の実現と、より良い社会の建設は教育の成否にかかっている。教職を目指す学生には良い社会の形成に関わるという責任と自覚を持って授業に臨むよう学生に求めてきた。シラバスに記載したように教育に貢献できる心理学的知見を紹介しながら「理想を失わない現実主義者」としての教師になる内容を出来るだけ厳選して授業に臨んだ。評価アンケートの結果をみるとおおむね達成できたと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>スマホ時代の真ん中にいる学生たちには言葉による講義だけでは集中力が続かないことは経験上理解している。その為に毎回の授業では映像を見て考える時間を取っている。アンケート結果をみるとこれは概ね好評である。ただ学生らの意見の中には出来るだけ授業者の話をききたいという要望もあるので今後この点を改善して新たな方法を試みてみたいと考えている。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>昨年同様に概ね年度当初の授業目標は達成したものと考えている。しかし多様性と個別化を体現している現代の学生のニーズに対応してグループワークや発見学習など多彩な講義時間の運営方法の工夫とさらなる知恵を出していく必要性を痛感している。今回最後の学科生になる学生に今後の母校への愛校心を形成したいと思ったが概ね達成できたと思っている。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	深堀 和枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
乳児保育	3	通年	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①できるだけ楽しく学んで欲しいと思い、学生自身が主体的にわらべうたや手遊び等を発表する時間を作った。自由記述でも「楽しかった」の意見があった。 ②教科書だけでは子どもの発達が分かりづらいと考え、保育現場等の映像を活用し説明をしていった。 ③実習時に活用できる遊具や教材などを製作し、発表する時間を作ることで期待感やワクワク感を持つことができた。 ④授業の最初は前回の終了時に書いた質問や印象に残ったフレーズを取り上げ復習時間を作り、確認できるようにした。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された		やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	①再試験が1名出た。その学生に対して、習熟できていない部分をもっと指導できたのではないかとと思う。 ②図書館、インターネットを利用した学生は少なく、次年度は課題として予習や授業中にも利用する機会を設けるようにする。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①「受講動機」は必須科目であるがほとんどであり、保育実習を経験した後期の授業は学生も意欲を示し、即実践出来る事の強化を図った。 ②「到達自己評価」では4.1～4.3であることから内容的煮には妥当であったと考える。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①シラバス通りにはならず、授業の最後に次回の内容を説明するという流れを取った。「授業の質の評価」は平均値は4.3であったので、満足は得られたと解釈した。 ②予習、復習をしていない学生がいることから次年度は課題を出し、インターネットや図書館利用をして、学生が自主的に学ぶ機会をつくる授業の組み立てを更に増やしたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>①昨年度の反省から、ベビー人形を活用しての演習を強化した。人形に名前を付け演習の時は必ず名前を言いこれからすることを言って行動に移すようにした。学生の表情から「愛情豊かに応答的に」が実践できたと感じた。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
障害児保育	3	通年	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の能動的学習を進めるために、一定時間を提示した課題を当該時間の担当学生が調べ報告する形態をとった。また、授業時間内では十分言及できない内容で、障害児保育の重要な考え方補いう方論についてテキストの各章ごとのノート作成を義務付けた。相当な量であるが、まとも方には学生間でばらつきがあった。この点はノート添削で指導した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>課題の発表やノート作成においては学生間のばらつきが大きかったが、最終レポートは一定の水準であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>内容的には妥当であると考えられる。</p>
--	--------------------------

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>受講者数が学年ごとに変動するが、現在の方法が学生の障害児保育に対する理解を深めることができるものとして有効であると考えている。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>臨床現場での測定以外に、学習理解度についての評価が困難な科目であるが、大学生に期間中の理解として最低限のことは達成できたと考えたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育の表現技術Ⅳ	2	後期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、8割以上の学生の動機がそれに該当する科目である。そのため、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。保育技術に関する教授内容であり、実技課題を多く出したが、復習時間が短く、課題量が少なかったと考える。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートにおいて約9割の学生が「到達度事項評価」にて全項目達成できたと感じており、学生が学修効果を実感している様子が確認された。成績評価上も良好で、学生の実感と近い結果であった。一方、学習に際してシラバスの活用や図書館利用等は少なく、復習時間も短く、到達目標をより高く設定できたと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、特に保育技術に関する内容の教授であることから、関連DPについては妥当であるとする。また、実習に行く前に身につけておくべき内容であることも含めて、CP, カリキュラムマップ上の位置づけも妥当であるとする。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方は概ね問題ないと考えている。一方で、自己評価や成績評価が全体的に高く、課題に費やす時間が短いことから、到達目標については再考の必要があると考ええる。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>成績評価上も概ね教育目標は達成できていると考える。次の段階として、これ以降の授業で本授業で獲得した技術を発揮できる時間の確保ができればなお良いと考える。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育実習指導 I	3	三期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、ほぼ全ての学生の動機がそれに該当する。基本的には保育士資格取得希望者のみが受講可能な科目であり、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うというよりは、必然的に受講している科目である。</p> <p>学生の受講動機に関わらず、保育実習に行くための準備科目であるため、社会人としての基礎的なマナーから実習に必要な書類作成、実習の心がけ、基本的な保育技術について教授する準備を整えた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価から、全体的な教育目標は達成できたと考える。学生の「到達度自己評価」においても平均値が4点以上であり、学生の主観的な達成度も概ね高いと考える。保育実習後の施設からの評価、日誌をはじめとする書類においても良好であった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、学内の学びを総合的に実践の場で学ぶ機会であるため、上級学年での開講の必要がある。その点を踏まえて、DP、CP、カリキュラムマップにおける位置づけにおいては妥当であると考えます。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>実習に行くために必要な知識・技術を身につけるための科目であるため、必要な教授内容を系統的に配置し、進行した。講義だけでは、学生の理解に差が出るため、学習進度に合わせて4名の教員で授業時間外に個別に対応し、全体の授業進行を均一に保った。しかし、基本的な文章能力といった点については、学生間の差が大きく、個別対応の在り方等毎年の課題である。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>実習先からの評価、成績評価から概ね教育目標は達成できていると考える。学生の学力差に対する対応が今後の課題である。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育実践演習	4	通年	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、9割の学生の動機がそれに該当し、履修者全員資格取得を目指している。基本的には保育士資格取得希望者のみが受講可能な科目であり、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。</p> <p>上記を踏まえ、保育士として勤務するに当たり必要となる実践的な知識・技術を演習形式でロールプレイを通して経験し、身に付けることが出来るよう、多様な演習内容を準備した。具体的には、5つの異なる演習の計画・実行・反省を通して、学修が進むように各担当教員で各自準備を進めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価において全ての学生が達成されたと答えており、成績もそれを反映するものであった。ただし、シラバスや図書館の活用については半数以下にとどまっており、課題設定において改善が必要と考える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、4年間のまとめとなる科目のため、関連DPについては妥当であると考えている。また、4年間の学習後に総合的に保育実践力を身に付ける科目として位置付けていることから、CP、カリキュラムマップ上の位置づけも妥当であると考えている。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業への取り組み、授業内のディスカッションの内容、各演習の実施、振り返り、成績評価を踏まえて、授業の進め方は概ね問題ないとする。 各演習課題の準備について準備時間が不足するという学生の意見については、準備時間は必要に応じて設けているにもかかわらず、取り組みが遅く、直前で時間が足りていない様子が見受けられるため、準備期間中に継続的に課題に取り組むよう促し、適宜サポートする必要があると考えている。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>成績評価上も概ね教育目標は達成できていると考える。授業進行については、継続的な課題への取り組みの促しとサポートが必要であるとする。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門研究 I	3	通年	必修	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は、「必修科目である」100%である。具体的に学びたい方向性が定まっていな為、今日、何が社会的に問題となっているか、どのような方向性で社会が動こうとしているかについて、資料を基に考えさせるようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身に着けることができた」など全般的に高いもので、学生各自が習得できているものと考え。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価において3以上の評価が得られ妥当と判断する。</p>
---	--------------------------------------

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

全般的に高い評価とは言えないが「授業の質評価」でほぼ4.0であり各自の評価は一応のものであった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」と評価されていることで次年度につなげる期待が持てた。

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門研究 I	3	通年	必修	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>社会福祉専門職を目指す学生、特段メンタルヘルス分野(精神保健福祉領域)に興味を持つ学生を対象としたゼミである。可能な限りリアリティを重視し、現場実践学を学ぶ機会の提供を行うことに重点を置いている。ゼミで、司法施設や福祉施設の見学を積極的に行ったり、社会福祉士会や精神保健福祉士協会の研修会にも積極的に参加した。本ゼミを選択するに当たり、事前に全員と面談を行い、趣旨説明やゼミの学習内容を説明した。外部活動を行ったら、必ず振り返りを行い、レポートにまとさせた。更には、4年次につながる様に、最終的に卒業研究である「ゼミ論」のテーマの選定が行えるよう、アドバイスをを行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、全員合格領域に到達しており、標準的レベルには達成した。また、参加意欲、態度、レポート、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。全学生が80点以上であり、理想的レベルに達している。レポート等の内容から、幅広く福祉全般の関連分野までの理解が深まった等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>内容的妥当性については、卒業するための必須科目であり、講義に対してのモチベーションは非常に高いものが感じられた。また、メンタルヘルスや障害福祉、医療福祉領域に興味がある学生が選択しているということで、高い意欲を感じられた。学生も成績評価から、理想的な到達領域に達しており、内容的には妥当であると思われる。DP、行動目標からみた見ての内容的妥当性については、成績評価から、知識・理解はある程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>昨年度は、学術データベースの利用に関してが殆どなされていない状況であったので、卒業研究にもかかわる重要事項でもあり、利用の仕方からのインフォメーションを行った。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、時間が無いという回答が複数あった。最終学年になることも考慮して、時間の作り方に関しても、引き続き指導を行いたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>メンタルヘルスについて興味関心がある学生が多く、全員精神保健福祉士養成レーンの学生であった。これまでの精神保健福祉士関連科目とのつながりを考えて教授した。次年度には専門研究Ⅱが設定されているので、それに引き継ぐような関連性を持って講義を行った。また、上記に示したように、よりリアリティを習得できるように、実践現場の見学を行ったので、現状と課題を追求できるように、さらなる内容を吟味していく必要があると感じた。次年度は予習復習に関しても、引き続き具体的な指示を出すことにしたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門研究 I	3	通年	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機としては、「必須科目である」88.9%、「資格取得に必要な科目である」33.3%の学生が答えている。「関心のある科目である」22.2%であった。専門研究では個人で設定したテーマやグループで設定したテーマをもとに演習形式で行った。オリエンテーションではお互いを知るために、他己紹介等のグループワークを取り入れた。さらに、個人の興味のあるテーマについてディスカッションを行い、各自がテーマを設定しテーマについて、プレゼンテーションを行い、その後そのテーマについてグループワークを行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な平均値は89.0点であった。授業では興味のあるテーマについて個人が発表し、そのテーマについてグループ討議を行い、テーマの深化を図った。学生の授業評価においては知識・理解において知識を確認したり、修正したり新たに得ることができた(平均値4.1中央値4.0)、また関心・意欲においては、コミュニケーション力や表現力を高めることができた(平均値3.9中央値4.0)と答えていた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>授業では興味のあるテーマについて個人が発表し、そのテーマについてグループ討議を行い、テーマの深化を図った。学生の授業評価においては知識・理解において知識を確認したり、修正したり新たに得ることができた(平均値4.1中央値4.0)、また関心・意欲においては、コミュニケーション力や表現力を高めることができた(平均値3.9中央4.0)と答えていた。学生も一定の成績を取めていることから、内容的には妥当と考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の担当教員への意見においては、「皆で専門研究をすることで、いろいろなことに興味を持つことができました。」という意見があった。 また、学習量の評価について、図書館での学習などを通して、半数近くが学習準備をしていた。また、本ゼミに入って養護教諭になりたいと強く思うようになった等の意見があった。 本科目を通して養護教諭として専門性を深めていけるよう、グループ討議などを取り入れ授業構造を改善していきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目を通して養護教諭としての専門性を深め、学校現場において活躍できるような実践力を身につけることができるように授業構造を改善していきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門研究 I	3	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講学生の取得しようとする資格が同一ではないことから、各学生が強みとする専門性や学習準備性の不揃いな点を活用して、ともに学び合い教え合うことを通じて理解を深めていくことに重点をおいた。前期は共通の教材を用いて家族支援に関する基本的知識を習得し、後期は各自で関心のあるテーマについての文献検索、文献研究を通して研究における倫理と方法論の重要性、多角的な視点について理解を深めることに努めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生による到達度自己評価を見ると、平均値4.1～4.3であり、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」においては、「かなりそうだと思う」14.3%「わりにそうだと思う」57.1%であった。図書館利用においては「図書、雑誌を利用した」「インターネットのホームページを検索、利用した」「CiNiiなど図書館から利用できる学術データベースを検索し利用した」いずれも57.1%にとどまっており、データ上は「学びを深めたいと意欲をもつことができた」ことが学生の行動に結びついてはいないことを示す結果となっていることから、教育目標の達成は十分ではないと評価した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>専門教育科目の「専門研究科目」に含まれる科目である。これまでの大学の授業で学んだ知識、理解を土台として、自身の専門領域における関心を深め、学びを深めていく意欲を引き出すこと、学生の主体的自発的に学ぼうとする態度を形成することによって専門教育での学びをさらに深めること、自立した専門職として自身をさらに向上させていく人となることをめざすうえで重要な科目であると考え、これらのことから、本科目はDP,CP,カリキュラムマップにおける位置づけから見ると内容的に妥当であると考え。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生による授業の質評価は、平均値が4.1～4.3であった。授業の進め方は概ね問題はなかったと考える。学習量の評価については1回30分程度以上の準備、復習を一度も行わなかったと回答した学生が、準備42.9%、復習71.4%であったが、専門研究Ⅰにおいては、各自がテーマを設定し、図書館での資料検索や文献調査を行い、発表準備をして授業に臨み、授業後は整理・補足を行い、さらに自己の設定したテーマを掘り下げていく作業を常に繰り返しているため、この回答の数値は事実を示すものとは考えられず、質問の意図に対する疑問・戸惑いが表れたものとする。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目の教育目標はある程度達成できたと考える。本科目において、学生の学びを深める意欲を引き出し、主体的自発的に学ぼうとする態度の形成していくには学生との対話が何よりも重要であるとする。学生の声にしっかりと耳を傾け、学びの意欲を高めていけるよう努めていきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	稲木 光晴

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門研究Ⅱ	4	通年	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業では、専門研究Ⅰで学び、得た知識をもとに、学生自身がさらに興味関心をもったテーマを決定させ、それについて調べ、まとめさせた。学生各自がテーマに沿って調べてきた内容を定期的に提出させ、その進捗状況をチェックするとともに、内容についての改善ポイントなどコメントすることによって、研究レポートを作成させた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は75.0(±11.4)点であった。成績分布別にみると、89～80点50%であり、79～70点が5%、69～60点が30%であった。全員が標準的なレベルに達しており、そのうち50%が理想的レベルに達していた。</p> <p>学生による到達度自己評価をみると、「自分なりの目標を達成できた」では、「わりにそうだと思う」が40%、「まあまあそうだと思う」が50%、「少しそうでないと思う」が10%であり、90%の学生が肯定的に捉えていた(平均値3.3)。</p> <p>「知識・理解(DP1)」に関する学生の到達度自己評価(質問項目2と3)についても、「わりにそうだと思う」が30～50%、「まあまあそうだと思う」が40～60%、「少しそうでないと思う」が10%で、90%の学生が肯定的に捉えていた(平均値3.2～3.4)。</p> <p>「思考・判断(DP2)」に関する学生の到達度自己評価(質問項目4と5)についても、「わりにそうだと思う」が30～50%、「まあまあそうだと思う」が40～60%、「少しそうでないと思う」が10%で、90の学生が肯定的に捉えていた(平均値3.2～3.4)。</p> <p>「意欲・関心(DP3)」に関する学生の到達度自己評価(質問項目6)についても、「かなりそうだと思う」が10%、「わりにそうだと思う」が20%、「まあまあそうだと思う」が60%、「少しそうでないと思う」が10%で、90の学生が肯定的に捉えていた(平均値3.3)。</p> <p>その他、「技能・表現(DP5)」(質問項目7と8)、「態度(DP4)」(質問項目9)に関する学生の到達度自己評価についても、平均値はそれぞれ3.3～3.4、3.3であり、ほとんどの学生が肯定的に捉えていた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>専門教育科目の「専門研究科目」に含まれる科目である。この授業では、専門研究Ⅰで学び、得た知識をもとに学生各自が設定したテーマに沿って調べ、その内容を定期的に提出させ、その進捗状況をチェックするとともに、内容についての改善ポイントなどコメントすることによって、研究レポートを作成させた。</p> <p>すべてのDPおよび「全体を通して」に関する学生の到達度自己評価では、すべての学生が肯定的な回答を行っていた。これらのことから、本科目はDP, CP, カリキュラムマップの位置づけからみて内容的に妥当であると考え。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生による授業の質評価では、平均値が3.3～3.5であり、授業の進め方は概ね良かったと考える。 学習量の評価についてみると、1回30分程度以上の予習を行った学生は、6回が20%、4.5回が30%、2.3回が20%であった。また、1回30分程度以上の復習を行った 学生の割合は、4.5回が10%、2.3回が10%、1回が20%であった。授業課題以外の学習に取り組んでいなかった学生は70%であった。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生による授業の質評価では、平均値が3.3～3.5であり、授業の進め方は概ね良かったと考える。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門研究Ⅱ	4	通年	必修	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	受講動機は「必修科目である」が100%である、3年次の専門研究Ⅰから継続し、学生自らが研究領域、テーマを決め主体的、積極的に研究の成果を各自がまとめる取り組みをした。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。 *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	受講動機は「必修科目である」が100%である、3年次の専門研究Ⅰから継続し、学生自らが研究領域、テーマを決め主体的、積極的に研究の成果を各自がまとめる取り組みをした。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	「到達度自己評価」にもあるように「自分なりの目標を達した」とする学生がほとんどであったことは評価できる。また、「専門分野no
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>卒業研究をまとめる作業でインターネットを活用したはずだが評価に表れていなかったのが残念であった。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>「到達度自己評価」にもあるように「自分なりの目標を達した」とする学生がほとんどであったことは評価できる。また、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」と評価しているが高い点であり成果として考えられる。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門研究Ⅱ	4	通年	必修	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>3年次からの引き続きで、社会福祉専門職を目指す学生、特段メンタルヘルス分野(精神保健福祉領域)に興味を持つ学生を対象としたゼミである。可能な限りリアリティを重視し、現場実践学を学ぶ機会の提供を行うことに重点を置いた。ゼミで、司法施設や福祉施設の見学を積極的に行ったり、社会福祉士会や精神保健福祉士協会の研修会にも積極的に参加した。3年次に設定した、自分の卒業研究の課題を「ゼミ論」としてまとめさせ、それに伴う文献研究や実践現場でのインタビューや調査等の指導を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、全員合格領域に到達しており、理想的レベルには達成した。また、ゼミ論、参加意欲、態度、レポート、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。全学生が80点以上であり、理想的レベルに達している。ゼミ論、レポート等の内容から、幅広く福祉全般の関連分野までの理解が深まった等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>内容的妥当性については、卒業するための必須科目であり、講義に対してのモチベーションは非常に高いものが感じられた。また、メンタルヘルスや障害福祉、医療福祉領域に興味がある学生が選択しているということで、高い意欲を感じられた。学生も成績評価から、理想的な到達領域に達しており、内容的には妥当であると思われる。DP、行動目標からみた見ての内容的妥当性については、成績評価から、知識・理解はある程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>前年度は、ゼミ論をまとめるために、学術データベースが、あまり利用がなされてない状況であったので、今年度はその活用方法を教授した。次年度も、利用の仕方からのインフォメーションを行うことを引き続き行いたい。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、時間が無いという回答が複数あった。就職活動や国家試験対策で時間を取ることも考慮して、時間の作り方に関しても、引き続き指導を行いたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>メンタルヘルスについて興味関心がある学生が多いということで、精神保健福祉士養成レーンの学生の受講が多かった。これまでの精神保健福祉士関連科目とのつながりを考えて教授した。卒業研究のゼミ論完成に向けて、それに引き継ぐような関連性を持って講義を行った。また、よりリアリティを習得できるように、実践現場の見学を行って、現状と課題を追求できるように指導できた。最終的には、全ゼミ生の就職が決定し、国家試験も良い結果を残せた。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	納戸 美佐子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門研究Ⅱ	4	通年	必修	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機をみると「必須科目である」100%、「資格取得に必要なである」11.1%、「関心のある内容である」22.2%であった。本年度の学生は、認知症予防や認知症高齢者を介護する介護者の負担感など高齢者に関する課題をテーマにしていた。そのため、各学生のテーマに関して、文献研究等を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>再試験対象者は0名であり、全ての学生が標準レベルには、達していた。到達自己評価において、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」は、平均値3.8点(かなりそうだと思う11.1%、わりにそうだと思う55.6%、まあまあそうだと思う33.3%)であった。「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は、平均値3.7点(わりにそうだと思う66.7%、まあまあそうだと思う33.3%)であった。「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」は、平均値3.7点(わりにそうだと思う66.7%、まあまあそうだと思う33.3%)であった。「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」平均値3.7点(かなりそうだと思う11.1%、わりにそうだと思う44.4%、まあまあそうだと思う44.4%)であった。また、図書館の利用状況は、約9割の学生が図書やCiNi等を利用していた。これらのことから、目標を達成したと判断した。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP・カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性:本科目は、カリキュラムマップにおける専門教育科目である。全ての学生が標準レベル以上に達したことから内容は妥当であると考えられる。</p> <p>②DPIにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性:本科目の受講動機は「必須科目である」が100%であった。しかしながら、到達度自己評価をみると、理解(DP1)、思考判断(DP2)、意欲関心(DP3)、態度(DP4)、技能表現(DP5)は「達成された」と考えられることから、内容は妥当であると思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>自ら考える時間とグループで意見交換をする機会を確保するようにした。授業の質の評価では、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」は、平均値4.0点(かなりそうだと思う33.3%、わりにそうだと思う33.3%、まあまあそうだと思う33.3%)であった。「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」は、平均値3.9点(かなりそうだと思う33.3%、わりにそうだと思う22.2%、まあまあそうだと思う44.4%)であった。今後は、学生が質問しやすいような場をこれまで以上に確保していきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>全ての学生が標準以上に達したと考えられる。全ての学生が予習や図書館の利用を行っていた。今後、学生の自主的な学びが促進されるような課題を検討していくことが必要である。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門研究Ⅱ	4	通年	必修	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機としては、「必須科目である」85.7%、「資格取得に必要な科目である」14.3%、「関心のある科目である」14.3%という結果であった。専門研究では個人で設定したテーマやグループで設定したテーマをもとに演習形式で行った。オリエンテーションではお互いを知るために、他已紹介等のグループワークを取り入れた。さらに、個人の興味のあるテーマについてディスカッションを行い、各自がテーマを設定しテーマについて、プレゼンテーションを行い、その後そのテーマについてグループワークを行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な平均値は87.0点(±6.1)であった。授業では興味のあるテーマについて個人が発表し、そのテーマについてグループ討議を行い、テーマの深化を図った。学生の授業評価においては知識・理解において知識を確認したり、修正したり新たに得ることができた(平均値4.4中央値5.0)、また思考・判断が高く、自分が学ぼうとしている専門分野において様々な課題を検討する力を得ることができた(平均値4.3中央値5.0)、また、関心・意欲においては、自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた(平均値4.2、中央値5.0)と答えていた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>授業では興味のあるテーマについて個人が発表し、そのテーマについてグループ討議を行い、テーマの深化を図った。学生の授業評価においては知識・理解において知識を確認したり、修正したり新たに得ることができた(平均値4.4中央値5.0)、また関心・意欲が高く、自分が学ぼうとしている専門分野において学びを深めたいと意欲を持つことができ(平均値4.2中央値5.0)、また、自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた(平均値4.2、中央値5.0)と答えていた。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の担当教員への意見においては、学習量の評価について、図書館での学習などを通して、半数近くが学習準備をしていた。また、本ゼミに入ってよかったという意見があった。 本科目を通して養護教諭として専門性を深めていけるよう、グループ討議などを取り入れ授業構造を改善していきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目を通して養護教諭としての専門性を深め、学校現場において活躍できるような実践力を身につけることができるように授業構造を改善していきたい。</p>
------------------------------	---

学科	福祉学科
氏名	薬師寺 元子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語Ⅳ	2	後期	必修	いいえ	86

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>『受講動機』は、必修科目ですので、少数の学生を除いて、ほぼ全員真剣に取り組んだと判断致します。しかし、昨年同様、専門科目である福祉関係の科目の準備が忙しすぎて英語まで手が回らないと言う自由記述が多々見られました。「授業の範囲だけで精一杯」、「他の課題があって取り組めなかった」、「何をしようか分からなかった」等がありました。授業の実施にあたり大切にしていることは、積極的、且つ、能動的な学習態度を軸と致しました。①まず出席とレポートの提出が肝要であると強調致しました。②次に予習、復習に重点を置くように勧めました。③さらに、予習復習を徹底するためにノートを作り、その使い方を詳細に説明致しました。まず英文をノートに写し、和訳をし、新出単語を調べてくる。これは、一部の学生を除いて、約8割が実行致しました。『授業以外に具体的に取り組んだ学習』の自由記述に、「内容理解の為に努めた」、「ノートをまとめた」、「単語の勉強を頑張った」、「解らないところを復習した」、「予習、復習をした」とありました。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目では、全員が、標準的レベルに達し、最終的な成績の平均値は100点満点中の75点であり、再試対象者は1名でした。80点以上で、理想的なレベルに達したのは、85人名中45名でした。考査の難易度は、標準的なものを作成致しました。『学生の到達度自己評価』につきましては、概ね肯定的な解答で、(1)自分なりの目標を達成した(83%)。(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることが出来た(78%)。(3)事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得ることが出来た(77%)。(4)自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることが出来た(約74%)。(5)自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることが出来た(70.8%)。(9)職業倫理や行動規約(守るべきルールなど)について学ぶことが出来た(69.6%)。と非常に割合が高い結果になっておりますが、(10)職業選択の参考になった、という点に関しましては、11名が「全くそうでないと思う」、17名が「少しそうでないと思う」と否定的な解答が約35%もいました。肯定的な解答が64.5%ですので、相対的に言えばやや達成された結果となっております。自由記述につきましては、「進むのが早い」、「訳が早すぎて追いつけないことがあった」、「難易度が上がりあまり解らなかつた」等があります。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①<CPカリキュラムマップ上の本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価> 本 科目は福祉学科の必修科目であります。昨今、グローバル化が進み、英語の発話力が問われてきました。しかしコンピューター時代に突入したため、それ以上に、正確な英語の読解力が求められます。精読により、語彙力、文法力を徹底的に修得することが肝要でありますので、中心的必須科目の位置にあるといえます。学生の本科目での授業課題以外に具体的にに取り組んだ学習には、「ノート整理」、「単語カード作成」等があり、「自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることが出来た」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることが出来た」、「職業倫理や行動規約(守るべきルールなど)について学ぶことが出来た」等に関するものが、7割以上を占めていますので、本科目の内容的妥当性は確実であると考えます。</p> <p>②<DP、行動目標から見ての内容的妥当性> 学生が達成すべき行動目標は、「健康、医療というものを、英語を通して、グローバルな視点から捉えることが出来る」、「社会人として基礎的な教養を身に付ける」と挙げられております。この項目につきましては、教科書、『日本文化を世界に』により、知識を広めながら、英文を確実に精読し、内容を理解致しました。「英語を通して、グローバルな視点から捉えることが出来る」、「社会人として基礎的な教養を身に付ける」という行動目標は達成でき、本科目は適切であると考慮致します。</p> <p>③<まとめ> 以上から、内容的妥当性には全く問題はないと判断致します。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p><授業の質評価>につきまして、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」では、「まあまあそう思う」と「わりにそう思う」と「かなりそう思う」を合わせると、88%でした。「期間内に行うべき課題は明らかであった」は82%であった。「説明は理解しやすいものであった」では、65%であった。「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」では、81%であった。「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、其れに答える機会がつけられていた」では、86%であった。以上総合いたしますと、ほとんどが、進め方につきまして、好意的な結果で、一生懸命に取り組んだ効果があったと考えております。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>授業を振り返ってみますと、教科書、『日本文化を世界に』を中心に、非常に丁寧に、じっくり進めたので、「新たなことを学べたので、楽しかったです」、「ノートをもとめた」、「内容理解の為に努めた」等々、かなり、効果的な授業を進めることが出来たと考えます一方、「日本語訳が早すぎて追いつけないことが多々あった」、という意見が出ています。テキストは標準的なものでございましたが、実際は、大変時間が掛かる予習で、専門科目と重複し、かなり負担であったと判断致しましたが、専門科目だけではなく、学生の心の視野を広げることも大切であると強く思います。 <学生が具体的に取り組んだ学習>と致しまして、「ノート作りに励んだ」、「英文を出来るだけ読んだ」、「予習、復習をしっかりと」、「教科書を読んだ」、「小テストの勉強をした」、「単語カードを作成した」、「英字新聞を読んだ」等が挙げられています。学期の始めに、「必ず、毎日英語に30分以上は接するように」と勧めました。これが、英語力を向上させる動機づけに多少は役立ったのではないかと思います。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	新谷 恭明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
教育原理	1	後期	選択	はい	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①教職をとる学生が初めて学ぶ科目であるため、教育に対する関心及び基礎的な思考力を育てることを目標とした</p> <p>②受講動機は基本的に教職課程の必修科目であるため、基本的に学生は真面目に受講していたが、講義は全学科共通のため120人ちかい規模になる。</p> <p>③「テストで友だちと協力してもよいと言っていたので協力し、話し合い上げるとなぜ友だちと同じ意見なのかと書かれていました。」という意見があったが、たとえ話し合ったとしても自分の考えを高めるのが学びだということを次回は伝えなくてはならない。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成されなかった	やや達成されなかった				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>試験成績の平均は71.74であり、全体の平均点72.45に比してわずかに低かった。だいたい全体の平均と変わらないと見ていい。理想的と言える80点以上の学生は39名中12名であり、まずまずであった。</p> <p>学生の自己評価でも、各項目に於いて「少しそうでない」というところに3～7人おり、これは例年になかったことである。到達度の平均値は各項目3.2～3.4と高くない。</p> <p>授業に対する評価も2.9～3.4であり、学生の評価は今年の現象として異常に低いと思う。その理由は今年の冬、私が強度の血管運動性鼻炎に罹り、マスクをしての講義だった。そのことについて「たまたまマスクをしている上に声小さくて内容が全く聞き取れないことが何度かあったので、もう少し大きくはっきり話してくれるとありがたかったです。」「マイクを使っていたけどあまり聞こえなかった。」「講義の内容は良いと思うのですが、何と言っているか全くわからないときがあったので改善してほしいです。」という意見があり、次年度からは罹病しないように心がけたい。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>教職科目であるため、受講動機も圧倒的に資格取得・必修というものが多く、カリキュラム上の位置づけに問題はないと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>先にも述べたが、「たまにマスクをしている上に声が小さくて内容が全く聞き取れないことが何度かあったので、もう少し大きくはっきり話してくれるとありがたかったです。」という声がいくつかあったので、罹病しないように心がけたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>文部科学省の言う「主体的・対話的で深い学び」というのはかなり学生のこれまでの学びの状況とかけ離れている。また、「正解のない問い」という昨今の動向についても、「何を書いても正解」という勘違いをしているようなので、「正解はいくつもあり、まちがいはある」とただしているところである。来年度は学生との対話的姿勢が顕在化するような工夫と、学生がアクティブに自分自身の「正解」を自己評価できる方法を考えたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	杉谷 修一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育社会学	2	後期	選択	はい	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>○教職課程の科目であり、学生の参加意欲はある程度みられるが、教職教養科目であるため教師の専門性との結びつきは明確でないことが多い。</p> <p>○教育の現代的課題などと結びつけながら理解させることで、科目の意味を理解できるよう意識した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>○秀16.7%、優16.7%、良29.2%、可33.3%、不可4.2%であった。</p> <p>○昨年度と比較すると、秀が10ポイント増加しておりこれは良の減少分に相当する。全体に上位に底上げされた結果となり、平均点もおおよそ75%で満足できるものであった。</p> <p>○昨年度0であった不可が1名出た。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>○教職課程の科目であり、DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置付けからみた内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>○前年度からの底上げという結果は昨年度の目標でもあったため、その点は満足できるものであった。ただし、可の割合はあまり変化が見られなかった。可の学生は論述タイプの問題やモデル図で理解・説明が必要な複雑な問題を苦手としているため、アウトプットの形を意識させながら授業を進めたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>○次年度は可の学生の割合を減らし、良以上が増えるように更なる底上げを目指したい。 ○画像、モデル図、事例などはこれまでもテキストの理解を助けるために工夫してきたが、これらの資料の読み取り方を丁寧に指導することを心掛けたい。 ○教師として教育社会学の知見をどのように活用するかという観点も強調し、単なる知識では無く将来のスキルを構成する要素として意識づけも行っていきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	新谷 恭明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
教育課程論	2	後期	選択	はい	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①教育課程論は前期に教職概論を受講した学生が教職への道を一步踏み込む科目になる。教員として知っておくべき諸課題についての基礎理論および新しい動向などについて教師のまなざしで見ることが出来る資質の習得を心がけた。</p> <p>②既に教職への関心を深めている学生なので、具体的な資料に基づいて思考を磨くことを試みた。</p> <p>③新学習指導要領の内容に踏み込んだ講義をした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成されなかった	やや達成されなかった				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	福祉学科の平均点は69.58であり、全体の平均値68.63を0.95ポイント上まわる。ほぼ平均ということだ。また、80点以上は24名中6名と決して多くはなかった。学生の自己評価もおおむね2.9～3.1と低く、22名中1～4名が「全くそうでない」「少しそうでない」に記入しており、16～20名、つまり大半の学生が「まあまあ」に入っている。凡庸な講義だったと考えられているようだ。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>教職科目であるため、受講動機も圧倒的に資格取得・必修というものが多。カリキュラム上の位置づけに問題はないと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「マスクをしていて、マイク持っているのにぜんぜん聞こえないときがあった。」という声がいくつかあった。今学期は血管運動性鼻炎に罹患し、マスクをして講義を行ったのでその所為であろう。次年度は罹患しないよう心がけたい。</p> <p>深刻なのは「授業がよくわからなかった。3年前期からは授業のやり方を変えてほしい。授業が終わる10分前くらいに文を書かせられるとよく理解できていないのに何を書けばいいかわからなかった。」というものである。どう変えればいいのか、その学生に訊かなくてはわからないが、講義の終わりに出させる小レポートの課題をわかりやすいものにする努力をしたい。</p> <p>「テストの方針を変えるならばじめにいつてほしかったです。」については定期試験期間内筆記試験の方針で決めること良スル。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>良くも悪くもないという評価ではあったが、講義内容に対する不満は多いので改善ははかりたい。よりわかりやすく、を心がける。</p>
------------------------------	--

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
学校保健教育法	3	後期	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は養護教諭一種免許状取得に必要な科目であり、看護臨床実習、養護実習の履修要件を満たすための科目である。受講動機としては「資格取得に必要な科目である」88.5%、「必須科目である」46.2%、「関心のある内容である」11.5%であった。資格取得や必須科目であるが、関心が低い科目であることがわかる。これらのことから、講義を通して基礎的な知識が定着できるように、講義と演習のバランスを考え授業計画を立て、関心を高めるように心がけた。</p> <p>②授業では、保健教育の授業の基礎(保健教育の位置づけ、指導案の作成方法など)を講義と演習を通して行った。さらに、学生が題材を決定し学んだことをもとに模擬授業の指導案を作成し、10分間の保健指導を行った。模擬授業をおこなうだけでなく、自己評価、他者評価を行い授業の質が向上するように工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	やや達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な平均値は76.0点(±6.7)であった。理想的レベル(80点以上)は10名であった。目標別の達成度は知識理解に関しては、75.0%、思考判断76.3%、関心意欲76.7%、技能表現76.0%であった。知識理解では、基礎的な問題の正答率は高かったが、基礎的な知識を応用した論述問題の正答率が低かった。このことは、基礎的知識の定着とそれを応用しての理解が不十分であったと考えられる。授業では基礎的な問題の定着を確認しつつ、復習問題を課題に出すなどの工夫を通して、応用力の定着を図るように授業構造を改善していきたい。</p> <p>学生の授業評価においては知識・理解において知識を確認したり、修正したり新たに得ることができた(平均値4.2中央値4.0)、また関心・意欲が高く、自分が学ぼうとしている専門分野において学びを深めたいと意欲を持つことができた(平均値4.1、中央値4.0)、であった。一方で、自分なりの目標を達成することができたと思えた学生の割合が低かった(中央値3.8平均値4.0)。</p> <p>さらに、学生が行った模擬授業において、指導案、教材等の作成の方法などを具体的に示し、達成感を得ることのできる授業内容の工夫を行っていきたい。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP,CPカリキュラム上の位置づけから見ての内容の妥当性 本科目は「保健・医療関係科目」であり、養護教諭一種免許状取得するための看護臨床実習、養護実習の履修要件科目である。受講動機としては受講動機としては「資格取得に必要な科目である」88.5%、「必須科目である」46.2%、「関心のある内容である」11.5%であった。また、学生の授業評価においては、知識・理解において知識を確認、修正したり、新たに得ることができた(平均値4.2中央値4.0)と答えている。また、思考・判断において自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた(均値4.1中央値4.0)と答えている。</p> <p>学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。</p> <p>②DP,行動面から見ての内容の妥当性 成績評価から見て知識理解に関する達成度が比較的低かったが、基礎知識を活用し、応用問題に適応するように授業構造を検討していくことから、内容的には妥当であったと考える。また学生の授業以外に取り組んだこととして、「教授の内容と合わせて学習をした。」「自分がどのような保健指導を学んでいたか見直した」「指導案の作成をした」「ノートにまとめ、復習した」など授業に積極的に取り組んでいた。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容妥当性には問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業評価においては、「模擬授業、良い経験ありがとうございました。」「授業を自分たちでする経験がなかったので、それを体験することができてよかった。」「実際に人前に出て、授業をしたことは、とても貴重な体験になりました。」という意見があった。授業では、講義でしっかりと基礎知識を身につけ、グループワークなどを取り入れ、学校現場で授業を実践できるような力を身につけることができるように授業を改善していきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は、養護教諭一種免許状を取得するために必要な科目である。基礎的な知識は概ね達成できたが、学校現場では保健教育の中心となり活躍することが求められる。基礎的な知識を定着させ、学んだ知識をさらに活用できるような実践力が身につくように授業構造を改善していきたい。さらに、学生が保健の授業の楽しさを味わうことができ、達成感を持つことができるような授業内容を工夫していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教職実践演習(養護教諭)	4	後期	選択	はい	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は教職課程における、養護教諭になるための学習として位置づけられ、さらに教職実践の進化を図るための科目として位置づけられている。受講動機としては「資格取得に必要である」72.0%、「必須科目である」32.0%、「関心のある内容である」8.0%であった。このことから、資格取得や必須科目であるが、関心が低い科目であることがわかる。</p> <p>本科目では、養護実習を通して学んだことを通して、自分が目指す養護教諭像や学校現場での実践についてより具体的にイメージできるように、講義と演習のバランスを考え授業計画を立て、関心を高めるように心がけた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な平均値は85.0点(±8.9)であった。理想的レベル(90点以上)は11名であった。目標別の達成度は知識理解に関しては、87.5%、思考判断85.0%、関心意欲83.0%、技能表現83.3%であった。授業では、養護実習の実践を通して個人で振り返り、個人の課題を把握しグループワークを通して課題に取り組み、学校現場での実践に生かすことができるように授業内容を工夫した。</p> <p>学生の授業評価においては知識・理解において知識を確認したり、修正したり新たに得ることができた(平均値4.1中央値4.0)、また関心・意欲においては、自分が学ぼうとしている専門分野において学びを深めたいと意欲を持つことができた(平均値4.0、中央値4.0)であった。また、コミュニケーション力や表現力を高めることができた(平均値4.0中央値4.0)と答えていた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP,CPカリキュラム上の位置づけから見ての内容の妥当性 本科目は「教職課程科目」であり、養護教諭になるための学習、教職実践の深化を図る科目として位置づけられている。受講動機としては受講動機としては「資格取得に必要である」72.0%、「必須科目である」32.0%、「関心のある内容である」8.0%であった。また、学生の授業評価においては、思考・判断において知識を確認、修正したり、新たに得ることができた(平均値4.1中央値4.0)、関心・意欲においては自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた(平均値4.0中央値4.0)、コミュニケーションや表現力を高めることができた(平均値4.0中央4.0)と答えている。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。</p> <p>②DP,行動面から見ての内容的妥当性 教職課程の深化を図るための科目として位置づけられ、授業において養護実習の経験を通して、学校現場で実践できる力を養成するために、講義と演習のバランスを考慮した。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容妥当性には問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の担当教員への意見に対して、「外部講師も多く自分のためになりました。グループワークでもっと他学科と関わりたかった。」「グループワークを通して発表することを上手になったのでよかった。」という意見があった。 また、学習量の評価として、図書館等を利用し課題に積極的に取り組んでいた。さらに授業では、学校現場で臨機応変に活躍できるような実践できるような力身につけることができるようにグループワークなどを積極的に取り入れ、授業を改善していきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は、教職実践の深化を図る科目である。学校現場では、医学的知識を身につけた専門職としての活躍が期待されている。学んだ知識をさらに活用できるような実践力が身につくように授業構造を改善していきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	古川 敬康

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キリスト教学(新約聖書)	1	後期	必修	いいえ	76

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①「学生の授業評価アンケート」(学科の全体62名)を見ると、受講動機としては「必須科目である」ことが96.9%であって、他の動機は「資格取得」が4.7%、「関心」「単位数確保」が1.6%であった。ほとんどがキリスト教に初めて接する状態であったことから、授業は前期の復習を含めて受講準備性のレベルが低いところから始める必要があった。学習動機向上対策として、第1に建学の精神である「感恩奉仕」との関係と目的を再度、最初に明示した。具体的には、総合人間科学の科目として、専門分野の科学の基盤となる重要な「自己理解」と「人間性」に関わる科学であることを説明した。第2に、シラバスにより評価基準を明示した。しかし授業の質評価を見ると、<評価基準は明らかであった>の項目で肯定的回答は「かなり」「わりに」「まあまあ」の順に「16、25、25」で98.5%であり、否定的回答の「少し」「全く」は「1、0」で1.5%であった。②「学生の質問を受け付け、それに答える機会」としては、授業毎に、受講者が「自分の考え、感想、調べたいこと等」を記入した「自己学習記録」を提出し、次の授業で教員からコメント等を記されて返却され、全体に関わる事柄については授業中に教員から詳しい説明を受けるフィードバックが与えられるというシステムを作り活用し、授業への参加意識を高める工夫の一つとした。③ 総合人間科学の科目であり、理解力を助けるための具体的なメタファーや例えは、可能な場合には福祉と関係のあるものを用い、キリスト教学の知識や理解を専門職との関係で蓄積できるように工夫した。④ 期末試験では、その準備の過程で、受講者が重要なテーマに関して自分の知識を正確なものとし、理解をより深めることができるように工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績を見ると、60点未達は1名であり、成績で見る限り、知識理解はほぼ目標に達した。② 学生の<知識><理解>に関する達成自己評価を見ると、それぞれ肯定的回答は「かなり」「わりに」「まあまあ」の順(以下同)に「13、26、28」と「14、25、28」で100%で、それぞれ否定的回答は0%であった。③ 専門分野での達成自己評価では、思考判断に関する<検討する力><判断する力>に関しては、肯定的回答は「10、23、33」と「10、18、37」で98.5%と97.0%であったのに対し、否定的回答は「1、0」と「2、0」で1.5%と3.0%となった。④ 専門分野でも<意欲>では肯定的回答は「11、20、32」で94.0%であり、否定的回答は「4、0」で6.0%であった。⑤ さらに専門分野の<技術><コミュニケーション、表現力>の習得では、肯定的回答はそれぞれ「9、21、33」「9、17、36」で94.0%と92.5%であったのに対し、否定的回答はそれぞれ「3、1」と「4、1」で6.0%と7.5%であった。⑥ 学生の規範学習に関する達成度の自己評価を見ると、肯定的回答が「10、19、36」で97.0%であったのに対して否定的回答は「2、0」で3%であった。⑦ <職業選択の参考>では、肯定的回答は「11、17、32」で89.6%であったのに対し、否定的回答は「7、0」で10.4%であった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>① CPの位置づけから検討すると、総合人間科学の一科目として、専門分野の諸領域の根本となり統合する総合的視点と人間性を養い広い視野に立つアプローチを可能にすることに意義がある。上記の通り、学生の達成自己評価の否定的回答を見ると、まず、<知識><理解>では0%であった。専門分野の学習において<検討する力>の数値は1.5%であり、<判断する力>では3.0%であった。<意欲>は6.0%であった。<技術><コミュニケーション、表現力>習得では6.0%、7.5%であり、<倫理・規範>に関しては3.0%であった。② DPの位置づけを検討すると、上記の通り、学生の達成自己評価では、豊かな人間性と社会性を支える広い教養を身につけるための<知識><理解>及び責任を自覚し倫理に基づく行動ができるようになるための<倫理・規範>、これらの分野では否定的回答が前者2つは0%、そして残りが3%であった。課題を解決のための論理的思考・判断にかかる<検討する力><判断する力>、及び社会のニーズの変化に対応し自ら学び続ける<意欲>並びに、<技術>の習得という専門分野と、適切な関係を形成する<コミュニケーション、表現力>に関しての否定的回答は、1.5%と7.5%の間であった。③ 以上から、CPの位置づけから肯定的回答は非専門と非技能表現の分野、専門と技能表現の分野、いずれも90%以上であり、授業内容は妥当であると考えられる。また、DPの位置づけからも、肯定的回答は、非専門と非技能表現の分野と、専門と技能表現の分野とにおいて同様なことが見られ授業内容は妥当であると考えられる。すなわち、CP及びDPカリキュラムマップ上の本科目の位置づけについて、授業内容は妥当であったと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>① 学生からの担当教員へ意見は予復習につき、何をすれば良いかわからないという学生には、第1回目授業から配布している「自己学習記録」に毎週の「復習の読書テキスト・予習の読書テキストとその時間」を記載する枠を設け頻繁に喚起し、学習量の増加を奨励した。② 学習量の評価を見ると、<配布資料に記載>が60人、89.6%、<自分なりのノート>が4人、6.0%であり、両者で64人、95.5%となり、<記録しなかった>は2人、3.0%に留まった。<1回30分以上の予復習>6回が11.9%、4.5回が6.7%、2.3回が49.3%、1回が26.5%で、0回は31.1%あった。③ 授業の質評価を見ると、<学習の範囲や課題は明らかであった>という項目で、肯定的回答は「かなり」「わりに」「まあまあ」(以下同じ)の順に「14,25,27」で98.5%であった。<理解しやすい>という項目では、「15,18,33」で98.5%であった。否定的回答の「少しそうでない」「全くそうでない」の順で「1,0」でいずれも1.5%であった。<参加の機会>では肯定的回答は「13,21,31」で97.0%あり、否定的回答は「2,0」で3.0%であった。<学生の質問への答を得る機会>では肯定的回答が「16,23,27」と98.5%であり、否定的回答が「1,0」で1.5%であった。④今後のこととして、学習量の改善が必要であり、予復習の方法と奨励につき工夫をする。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>① 授業準備として、学習動機向上に建学の精神「感恩奉仕」との関係と目的、評価基準を今後も明確にし、予習・復習の必要性と具体的方法を繰り返し喚起することが必要である。② 総合人間科学の科目として、専門分野の諸領域を超え、その根本となる総合的視点と人間性を養う広い視野に立つアプローチを可能にする利点は、専門分野とは異なる学問する喜びをもたらし得る。加えて、この科目は実学であって、学生の専門分野での「的確に判断する力」及び「その学びを深めたいと意欲をもつ」ことの基盤となるものである。この科目の知識理解を増すことは、専門分野での統合的な判断力及び意欲の基盤を強くするものである。そこで、<授業の進め方とその向上について>に記載した改善策に取り組む工夫をする。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
初年次セミナーⅡ	1	後期	必修	はい	77

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機は「必修科目である」が100%であった。このほか、「資格取得に必要である」が11.6%であった。この科目は、全体での共通の講義のほか、教員のオムニバス形式(6回1クールで行うので、実際に学生が受講する教員は2名)で行う科目であることから、各教員の専門性を重視しつつ、「初年次セミナーI」で学んだ「調べる」「聞く」「読む」「書く」ための技能に加えて、「発表する」「討論する」ための技能を身につけることを目的として授業を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価について、理想的レベル(80点以上)に達した学生は61名、再試験対象者は0名(このほか、所定出席数不足による不可1名)であった。到達度自己評価をみると、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値がともに4.1、「自分なりの目標を達成した」「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値がいずれも4.0であった。その他の項目の平均値も3.9～3.8を示しており、ほぼ「初年次セミナーI」と同様の傾向を示している。また、開講期間が異なるため単純に比較はできないが、全体的に2017年度の「基礎演習」の数値を上回っている。学習量については、授業の準備を1回も行わなかった学生が18名、2、3回行った学生は21名、4、5回行った学生は11名、6回行った学生は5名であり、「初年次セミナーI」に比べて学習量の減少がみられる。また、図書館の図書、雑誌を利用した学生は42名、インターネットを利用した学生は52名と、いずれも「初年次セミナーI」とほぼ同数で、受講者の過半数に達している。ゆえに、半数以上の学生について、大学における基本的な学習の技能が会得できていると評価できよう。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPカリキュラムマップ上の位置づけから見ると本科目は「必修科目」、「総合人間科学科目」であり、大学における学習の技能を身につけるための科目である。当然福祉の専門領域を学ぶための技能を身につけるための科目でもあり、内容的には妥当であると考えられる。②DP行動目標から見ると、すべてのDPの基礎となる内容を網羅しているともいえる。よって、内容的妥当性には問題ないと考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価について、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均値が4.3、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値が4.2、「説明は理解しやすいものであった」「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均値が4.1であった。これらの数値についても、「初年次セミナーI」とほぼ同様であり、いずれも「基礎演習」より上回っている。学習量について、授業の復習を全くしなかった学生は36名、授業の課題以外の学習に取り組んでいない学生は53名と、いずれも「初年次セミナーI」より増加している。授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習は「インターネットで調べる」「関連する指定図書や文献を読んだ」などが挙げられていたが、これらはいずれも授業の課題と密接に関連する学習でもある。他方、授業の課題以外の学習に取り組まなかった理由については、「課題だけ取り組んだ」「時間がない」「必要ないと思ったから」「取り組み方がわからない」などの意見がみられた。「初年次セミナーI」と比べて、取り組み姿勢や学習の技能について、学生間で差がついていると推測する。学習の技能については、振り返り、繰り返しながら徐々に身につくものでもあり、学生が積極的な学習姿勢をとるための動機づけが今後の課題であると言えよう。学生の意見については「1年間ありがとうございました」との意見が寄せられた。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>2018年度から開始されたこの科目では、全学共通の総合人間科学科目として、「調べる」「聞く」「読む」「書く」技能の習得に重点を置いた「初年次セミナーI」を基礎として、研究倫理のほか、さらに「発表する」「討論する」技能の習得を目指したが、当初の目標はおおむね達成できたと言えよう。次年度以降も「初年次セミナーI」「初年次セミナーII」を通じて、専門教育が本格化する2年次以降の学習をより深めるため、大学で学ぶための基礎的な知識、技能を身に付けることを目指す。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	稲木 光晴

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
生涯スポーツ	1	後期	選択	いいえ	55

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、からだを動かすことが中心のスポーツ実技の授業であり、学生が積極的に自律心をもって楽しく行えるように、指示は必要最小限にした。また、カロリーカウンターを用いることによって、授業中の歩数や消費カロリーを把握させ、からだを動かすことへの動機づけを図った。</p> <p>ラケットスポーツ(バドミントン、卓球、テニス)では、練習によって各種スポーツにおける技能を高めさせると同時に、ルールを理解させることによって、学生自身が積極的に試合ができるようにした。また、ダブルスのゲームでは毎回ペアを入れ替えるなど、できるだけ多くの人とコミュニケーションをとることができるよう工夫した。試合後には反省点や次回に向けての改善点(課題)などを実習記録にまとめさせることによって、各種スポーツ技能のさらなる向上を意識させた。</p> <p>ウォーキングやジョギングについては、自分に合ったペース、友達と会話ができるペースで行わせることによって、無理なく運動が続けられるようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は83.2(±8.0)点であった。成績分布別にみると、90点以上が15%、89～80点が58%、79～70点が17%、69～60点が10%であった。すべての学生が標準的レベルに達しており、73%の学生は理想的レベルに達していた。</p> <p>学生による到達度自己評価をみると、「自分なりの目標を達成できた」では、「かなりそうだと思う」が29%、「わりにそうだと思う」が35%、「まあまあそうだと思う」が35%であり、すべての学生が肯定的に捉えていた(平均値3.9)。</p> <p>「知識・理解(DP1)」に関する学生の到達度自己評価(質問項目2と3)についても、「かなりそうだと思う」が27～29%、「わりにそうだと思う」が23～42%、「まあまあだと思ふ」が31～40%、「少しそうでないと思ふ」が0～4%であり、ほとんどの学生が肯定的に捉えていた(平均値3.7～4.0)。</p> <p>「態度(DP4)」に関する学生の到達度自己評価(質問項目9)についても、「かなりそうだと思う」が27%、「わりにそうだと思う」が31%、「まあまあだと思ふ」が38%、「少しそうでないと思ふ」が2%、「全くそうでないと思ふ」が2%であり、ほとんどの学生が肯定的に捉えていた(平均値3.8)。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>総合人間科学・全学共通科目の「女性と健康」領域に含まれる科目である。ラケットスポーツ(バドミントン、卓球、テニス)の技術練習およびゲームを行った。「全体を通した」学生の到達度自己評価では、ほとんどの学生が肯定的な回答を行っていた。また、「知識・理解(DP1)」、「態度(DP4)」、および「技能・表現(DP5)」に関する学生の到達度自己評価でも、ほとんどの学生が肯定的な回答を行っていた。これらのことから、本科目はDP, CP, カリキュラムマップの位置づけからみて内容的に妥当であるとする。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生による授業の質評価は、平均値が3.8～4.0であったことから、授業の進め方は概ね良かったと考える。</p> <p>本科目では、ラケットスポーツおよびウォーキング・ジョギングを実技として行うため、講義の時のような予習・復習を必ずしも必要としていない。そのことを反映してか、ほとんどの学生は予習・復習を行っておらず、その必要性もないと考えている学生も数人いた。このことに対しては、ラケットスポーツのルールや練習方法などを調べさせ、レポートとして提出させるなどしたいと考えている。</p> <p>また、日常生活を活動的に過ごすことが、健康や体力の維持・増進につながることを考えれば、学生自身に日々の歩数や消費カロリーを記録させ、それを提出させることは、運動することへの動機づけになると考える。すでに学生の中には授業以外で日々意識的に歩いたり、トレーニングなどを行っている者もいた。来年度は、このような活動的な学生が更に増えるように工夫したいと考えている。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>概ね目標は達成できたと考える。</p> <p>今後の課題としては、本実習以外でも積極的にからだを動かす学生の数を増やすことである。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
文学	1	後期	選択	はい	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保健福祉学部への文学の講義は始めてであったが、第一点として「文学的考察が如何に重要であるか」を理解することが如何に大切であるかを教示するために開講された科目であることを、認識してほしかったのである。自身の進もうとする専門と文学が何故繋がっているのか、そこが明確でなければ、文学という講義を忽ち馬鹿にしたり、必要ないもの、という浅はかな結論でくくってしまうからである。文学的考察は、人のこころ、時代背景、歴史観、言語、表現といったすべての事柄を含むので、ひいては最終的に「生きてゆくために」必要不可欠な概念であることをつかむことを目的として、講義した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>同じ文学の講義といっても、人文学部の学生たちとはまた違った受け取り方があったが、学生からの感想文を主として返答する形を考慮に入れつつ講義を進めていった結果、学生自身の学びの自覚が見られて後、徐々に75%あたりまでは伸びたように思う。少数の学生たちは私の休講を(幼稚園の面接等々)不満にしていたが、大方の学生の反応は素直に理解していたようである。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>カリキュラムマップ等々における本科目の位置付けから見た内容的妥当性は良かったと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>意欲的に取り組む学生がいたので、講義は雰囲氣的に良かったと思うが、改善策としては、講義に参加できるような、学生の意見が聞けるような仕組みの講義であれば・・・と考案中である。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>達成状況の総括的評価は良いと考えている。</p>
------------------------------	-----------------------------

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
日本国憲法	1	後期	選択	はい	76

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機を見ると、「必修科目である」53.6%、「資格取得に必要である」46.4%、「単位数を確保する」27.5%であった。教職必修科目であるが、今年度は福祉学科のすべての1年生がこの科目を受講した。2016年度から選挙権の年齢が18歳以上に引き下げられたことから、2017年度より統治機構に関する講義を基本的人権に関する講義より先に行っている。憲法は学生自身の今後の生活や人生に関係が深い、ということを確認に伝えることを心掛けた。なお、欠席率は平均4.0%であった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>後期試験の平均点は73.57点であった。成績は後期試験をベースに、コメントの記述内容について若干加点(最高10%)することで総合評価とした。その結果、再試対象者は1名(ほかに放棄者1名)、理想的レベル(80点以上)に達した者は17名であった。学生による到達度自己評価については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値がともに3.8、「自分なりの目標を達成した」、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「職業規範や行動規範について学ぶことができた」の平均値がいずれも3.7と比較的高い。他の項目の平均値は3.3-3.6の間にあり、全体的に昨年度より上昇している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみると、本学は「総合人間科学」科目であり、教職指定科目であることに加えて、シラバスにも明記してある通り、福祉専門科目である「権利擁護論」で学ぶ内容の基礎となる。しかし、履修の際にシラバスを参考にした学生が半数にとどまっていることから、学部学科全体で履修登録の際にシラバスを学生に読ませ、理由の際の参考にするよう、働きかける必要がある。将来社会の中で、対人社会サービスの担い手となる学生にとって、援助の対象者や人権の主体たる個人として理解するための基礎を得るためには重要であり、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。②DP行動目標から見ると、自己評価と成績に相関関係がみられることから、内容的には妥当であると考えられる。よって、内容的妥当性には問題ないと考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価のうち、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」、「説明は理解しやすいものであった」の平均値がいずれも3.7、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値が3.6であり、昨年度並みの数値を維持している。加えて、2017年度から毎回講義終了後に学生にコメントを任意で提出する機会を与え、毎回10名前後の学生が提出していた。そのためか、「学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均値が昨年度並みの3.8となった。他方、講義の冒頭で予習・復習の具体的な仕方について説明したが、予習を全くしなかった学生は37名、復習を全くしなかった学生は34名であった。今後は予習・復習の必要性と具体的な方法についてより丁寧な説明を心掛けたい。授業以外の学習として「復習」、「テスト用ノートを作成した」、「新聞を読む」、「ネットで嫌韓運動の記事を調べた」などの記述があったが、授業以外に学習していない理由として「ひまがない」、「他の科目が大変」、「プリントにすべて書いてあったから」などの記述が見られた。学生の意見については、「世の中のことをより深く知ることが出来た」、「早口で聞き取れないことが何度かあったので、もう少しゆっくりはっきり、話してくれるとありがたいです」との意見が見られた。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>総合人間科学科目とする本科目の位置づけから、豊かな教養のもと、社会を多面的に捉える基礎的な知識の形成についてはおおむね達成できたと考える。今後は予習・復習の習慣が定着する方策を検討したいと考えている。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	桐原 隆弘

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
人生と哲学	1	後期	選択	はい	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>哲学の授業を受講するのは大半の学生にとって初めての経験であると考えられる。したがって、初学者にもわかりやすいように日常生活の事例を哲学思想と関連付けて説明するよう心掛けた(たとえば経験と習慣づけによって徳が習得されるとするアリストテレスの思想をアルバイト経験と結び付けて説明することで多くの学生が共感してくれた)。あまり事項を広げず、アリストテレス、功利主義、カントの思想のエッセンスを、日常生活の事例を用い、かつそれぞれを比較しながら繰り返し説明することを心がけた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>わかりやすさという点で言えばまだまだ課題は残るが、試験では学生たちはおおむね授業の趣旨を理解して的確に解答していた(テキストだけでなく板書や口頭の説明を網羅して非常に高い水準の論述答案を作成した学生もいた)。授業評価はおもにわかりやすさが評価基準となると思われるが、本講義のような科目においては各受講者それぞれの観点からの知的好奇心を喚起することがなにより重要である。「人生」の問題を「哲学的」的思考と結びつけて考えることに関心をもつ学生には響くものがあったと思われるが(実際、毎回欠かさず授業後に質問に来る学生もいた)、現段階で関心のもてない学生はどうしても「難しい・難しすぎる」といった印象を受けるものだと思う。したがって、多数の学生ではなく少数であっても知的好奇心に応える内容だったと受け止められたならば授業に関しては十分目標が達成されたと考える。また「この授業を通して何を得たか」は、試験準備と試験結果をふまえてようやく把握できるものだとすれば、試験答案を見る限り、授業の趣旨は多くの学生に十分伝わったものと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度の自己評価を見る限り、各自の目標はほぼ到達されたと考えられる(ただし、学期終盤・試験前の自己評価であり、試験後に自己評価を行えばより正確な評価が得られるものと考えられる)。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>板書が見づらかった、板書の追加などによりノートが取りづらかった、誤字があった、初心者には難しすぎた、など厳しい指摘を受けた。真摯に受け止めたい。とくに板書についてはあとから追加・修正するなどノート作成上余計な手間を要することを控えたい。また説明のわかりやすさについても、日常生活の事例をさらに工夫して取り入れ、より馴染みやすい説明を心掛けたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>授業については改善点(板書、説明)が多々ある。試験については各自十分準備し、授業の趣旨を理解して臨んでいたと思う。人生の諸課題に哲学的観点からアプローチするという試みに、より多くの学生が興味を持てるように工夫したい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	陳 青鳳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中国語発展	1	後期	選択	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 中国語発展の概要及び達成すべき目標とは、「勉強の継続性を考え、より一層高い講読力、聴取力及び会話力を養うことを教授する。中国語に対し関心を持ち、豊かな表現を楽しみながら、語彙と文型の学習をする」ということである。学生の「受講動機」においては④「単位数を確保する」の66.7%を除いて、③「関心のある内容である」も66.7%であった。このことから、本講義の目標を達成していたと考えることができる。 2. 受講人数がかなり少ない点については、ほかの専門科目と同じ曜日・時限にならないよう、次年度の時間割調整においても少し考慮していく必要があると考える。 3. 「少人数だから、教員とのコミュニケーションが取れる」という学生の意見から、これからの授業でも、できる限り学生一人一人と会話できる場を増やしていくことができるように工夫したい。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 「授業の質の評価」について、値的にはかなり良く、特に問題はないと思われる。 2. 「授業の量」については授業外の学習は5人が行っていたことから、次年度に向けても具体的な課題を提示するよう改善していく。 3. 「図書館やインターネット等の利用」はあまり積極できてはなかった。引き続き、授業と関連している知識やデータも重要視すべきであることを学生に喚起し、積極的に利用できるように促していきたい。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の学習到達度評価をみると、「自分なりの目標を達成した」は平均点4.0点、また、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は平均点4.3点であった。以上のことから、自信を持ち、新たに知識を得ようとする学生の姿勢は評価すべきものであり、内容的妥当性には問題はないと考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>1. 「授業の質の評価」について、値的にはかなり良く、特に問題はないと思われる。 2. 「授業の量」については授業外の学習は2人が行っていたことから、次年度に向けても具体的な課題を提示するよう改善していく。 3. 「図書館やインターネット等の利用」はあまり積極できてはなかった。引き続き、授業と関連している知識やデータも重要視すべきであることを学生に喚起し、積極的に利用できるように促していきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>1. 中国語発展は選択科目であり、基礎知識の形成については概ね達成できた。 2. 語学の授業なので「話す・聞く・読む・書く」という4つの基本学習をしっかりと習得できるよう、毎回の授業でこれらの項目に合わせた内容を取り入れていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	花沢 明俊

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
情報処理演習	1	後期	選択	はい	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講人数が少なかったこと、個人差はあるものの全体的に経験値が高く、授業進行が容易であり、受講者の理解度に合わせて、授業の進行速度や内容を調整することができた。エクセルによる統計処理とVBAを中心に講義を行い、情報処理基礎で学んだ基礎的知識をベースとした主体的・実践的な内容となることを重視した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績点は、課題の提出やプレゼンテーションなどのプロセス評価50%と、中間・期末試験の点数による達成度評価50%から構成されているが、課題の提出率が非常に高く、目標達成のためのプロセス遂行が確実に行われた。結果として、試験の点数も全体的に良好であった。ただし、授業内容を主体的・実践的に使いこなせるレベルまで到達したのは、一部の学生のみだった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、全ての学科に存在する学科横断的科目であり、在学中のレポート作成や発表など様々な場面で必要となる。さらには、就職後の実務において、全学科の学生が要求される内容である。このような観点から、学生それぞれの学習準備性の高低にかかわらず、全員がある一定レベルの技術水準を達成すること、授業終了後も技術習得を継続できるよう、受動学習だけではなくグループワークによる能動学習を行うこと、これら2点を柱としている。授業の妥当性が真に問われるのは、3年生、4年生の実践の機会や、就職後であるが、このような将来の展望から必要性を理解した受講動機の割合は非常に高いものの、履修率が低いため、本科目の意義を理解している学生は、学科の全学生の1割程度と推測される。授業オリエンテーションなどを通じた履修率の改善を望む。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>エクセルによる統計処理およびVBAの両方について、最後まで消化不良の部分が残っていたので、次年度はもう少し基礎的な内容を手厚く行う必要があると考えられる。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>課題の提出率が非常に高かったことから、授業目標達成のためのプロセス遂行は、問題なく行われたと考えられる。また、結果として試験においても全体的に高得点であり、高い達成度が得られた。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	倉富 史枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キャリア開発	1	後期	必修	いいえ	76

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>個人的な体験が労働政策や福祉政策、教育制度などの現在の社会構造とどのように関連しているかを理解できるよう、社会学的視点で現状を分析できる力をつけることに重点を置いた。そのために、メディアリテラシー、リーガルリテラシー、データリテラシーなど情報を読み解く手法を伝えた。また、その社会構造の中で人生を選択してきた多方面の分野の外部講師を招聘し、個人の体験や専門的な領域について講話してもらい、学生に自己決定の重要性を実感できるようにした。特に、1年次の必修であり、この4年間の学生生活がキャリア形成にいかに関与しているかを理解できるよう努めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業中のミニレポートでは、外部講師の話からこれまでさほど意識していなかった問題、例えば、労働問題などが実は身近な重要な課題であることを理解している学生は多かったことが確認された。また、。到達度自己評価から、社会の現状を分析的にみる視点の確保はある程度獲得できたと判断できる。ただし、試験結果からは個人的な体験や将来のキャリア形成とどのように関連付けるかについては、理解の格差がみられた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>1年次の必修であるため、キャリア形成への関心を広げ、充実した今後の学生生活につなげるよう学生をエンパワーしている点では、内容は評価できる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>福祉学科は職業選択の道筋がある程度見えていることから、それを踏まえうえて個人のキャリア形成を考えるよう随時働きかけた。ただし、受講者の数が非常に多く教室も広いため、受講生同士の意見の交換や講師とに質疑応答が難しいことが課題となった。また、職業選択の方向性の異なる他学科の学生も受講している中で、専攻科目とキャリア形成を具体的に関連付けるための自主的な時間を十分に確保できなかった。今後は、学籍番号順に座席を決めるなどして、意見を得やすい環境を整備する。多彩な外部講師の存在は新たな知識を得て、社会事象を理解する視点の獲得に役立ったが、網羅的に受け止める学生もいたため、今後は、授業全体の流れを体系的に理解できるよう初回での説明を十分に行う。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>多様なキャリア形成について、自分の人生と結び付ける力はある程度身につけたものと思われる。情報を読み解く力を現実の生活の中で活用し、自尊感情を伴う自己決定できるよう、キャリア形成についての理解を深める必要がある。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎実習	1	通年	選択	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は1年生を対象とした福祉基礎科目(選択)であり、学生が現場実習を通して体験的に学びを得るものである。学生の受講動機を見ると「関心のある内容がある」(87.5%)となっており、学生の関心は非常に高いと言える。講義では、今後の実習や学習等への動機づけとなるよう授業内容・運営を工夫した。具体的には、実習前の学内講義では対人援助職や実習先への理解が深まるよう個別指導を行った。また、実習後には個別面接や報告会を行い、実習体験から得た学びや課題を深めさせた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された			達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートにおける各DP項目から教育目標の達成状況を見ると、「意欲関心」(DP3)については「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」(わりにそうだと思う23.5%、かなりそうだと思う70.6%)となっており、達成できたと考える。「態度」(DP4)は「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」(わりにそうだと思う29.4%、かなりそうだと思う52.9%)で、これも程度達成できたと考える。「技能表現」(DP5)は、「コミュニケーション能力や表現力を高めることができた」(わりにそうだと思う35.3%、かなりそうだと思う52.9%)であり、達成できたと考える。また、学生との実習後の面談や実習報告会等においてもこれらの項目に関する学びが多数見られた。</p> <p>上記に加え、本講義におけるインターネットの利用状況(「利用した」58.8%)の結果から、学生の主体的学習態度が見られることから本科目の教育目標は達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP上の位置づけ 意欲関心(DP3)、態度(DP4)、技能表現(DP5)のすべてにおいて教育目標を達成しており、本科目のDP上の位置づけに問題はないと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけ 既述の通り、本科目は福祉基礎科目として学生の実習や学習動機を高めることを目標の1つとしている。学生の到達度自己評価や図書館利用(インターネット検索)、実習報告会・レポート等の学びからもCP及びカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>既述の通り、学生の到達度自己評価からは、本科目における教育目標は達成されたと言える。授業運営においては2016年度以降、実習期間中に帰校日(1日)を設け、実習中間の振り返りや面談を実施している。2018年度も引き続きこうした取組を実施した。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目を履修する学生の学習意欲・関心は総じて高いと言えるものの、1年生78名のうち履修者数は17人とどまっている(近年こうした傾向が続いている)。本科目の教育効果は非常に高く、今後、履修人数をさらに増やす働きかけが必要と考える。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	杉谷 修一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会学概論	1	後期	選択	いいえ	75

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>○高校時代までに経験したことのない授業であり、いったい何を学ぶのかという戸惑いが大きい科目である。それを興味関心に結びつけることができるよう、様々な事例を準備した。</p> <p>○社会福祉士国家試験に対応した授業であるが、受講学年が1年生であるため、学習意欲との直接的な結びつきはないと考えられる。</p> <p>○抽象的概念が多く出てくるため、それを具体的に考えるトレーニングを行う旨を初回授業で説明し、学生が意識的な授業参加をできるよう促した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>○昨年度は秀10%、優17.7%、良16.5%、可49.4%、不可6.3%であった。</p> <p>○本年度は秀30.1%、優12.3%、良27.4%、可26.0%、不可4.1%であった。</p> <p>○可が半減し、秀が3倍に増えたなど、全体に非常によい成績であった。</p> <p>○ただし、可の半数以上は60点付近であり、二極化する傾向がみられる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>○社会福祉士国家試験の受験科目と対応しており、DP、CP、カリキュラムマップにおける位置付けからみた内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>○視聴覚教材としてのビデオなどへの反応があったため、今後とも教材開発や利用を進めたい。 ○歴史や社会に関する知識・関心に差があるため、これを埋めるための工夫を行いたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>○昨年度と比べ大きな進歩が見られたため、基本的には次年度も同様の授業構成を進める。 ○モデル図だけでなく、事例や写真を組み合わせたり、身近な事例を導入した成果が見られた。引き続き工夫したい。 ○抽象的概念を具体例で理解するという基本的アプローチを徹底するため、授業中のアウトプットを増やしたい。 ○可の学生をできるだけ減らせるような基本事項の理解定着を工夫したい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助の基盤と専門職	1	前期	必修	いいえ	77

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>社会福祉士及び精神保健福祉士の国家試験受験に関する科目である。特段、社会福祉専門職になるための基盤となる科目であり、本学科で非常に重要な科目であることから、動機付けを大切に講義している。</p> <p>第一回目の講義時に受講に関する詳細の説明をし、シラバスに則って講義を進めた。講義の最初には、新聞等から毎時間必ず時事に関する話題を提供し、それが社会福祉専門職としてどのように捉えたらよいかを考えさせる時間を設けた。予習復習の内容の説明、理解しておくべきキーワード、実践につなげられるように専門職団体の研修会案内等々も随時行った。リアクションペーパーに関しては、予習復習の時間の記入や、その方法、また本日の自己採点点数記入などを導入し、学習意欲の向上に努めるよう工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、体調不良で再試験を受験できなかった2名の学生を除いた受講学生が合格領域に到達しており、標準的レベル以上に達成したものと考えられる。定期試験、確認テスト、リアクションペーパー、レポート、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。また、遅刻や欠席がほとんどなく、定期試験の結果も理想的レベルに達している。リアクションペーパーからは、国家資格の受験資格を取得するためだけでなく、幅広く社会福祉専門職としての現状や考え方、障害福祉、精神保健福祉、貧困等々の多岐にわたる分野までの理解が深まった等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性については、社会福祉士・精神保健福祉士の国家資格を取得するための必須専門科目でもあり、講義に対するモチベーションは非常に高いものを感じられた。また、社会福祉を学ぶための1年生で開講する基礎的科目であることから、福祉専門職に興味があるという点で、非常に高い意欲を感じられた。学生も成績評価から、一定の到達領域に達しており、内容的には妥当であると思われる。DP、行動目標からみた見ての内容的妥当性については、成績評価から、知識・理解は一定程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価の「コミュニケーション力や表現力を高めることができることができる」の箇所の平均点が他の箇所と比較すると低かった。必修科目であり、多くの人数が受講する座学であるがゆえ、なかなか困難かとは思いますが、可能な限り今以上に事例等の導入を検討したり、アクティブな活動を入れ込む等を検討していき、次年度の課題としたい。学術データベースの利用に関しても殆どなされていない現状であり、利用の仕方からのインフォメーションを行うことも検討としたい。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、時間が無いという回答が複数あった。時間の作り方に関しても、指導を行いたい。毎時間、予習復習の具体的情報提供を行うことも続けていきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>社会福祉士及び精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得するために必要な科目ということ、福祉学科に入学して初めての福祉の専門科目ということで、非常にモチベーションの高さを感じられた。また、今から開講される、社会福祉士や精神保健福祉士の関連科目とのつながりを考えて、思考が継続できるように教授を行った。次年度も、それらに引き継ぐような関連性を持ちながら講義を行いたいと考える。また、上記に示したように、よりリアリティを習得するために、事例を提供して検討を行ったが、さらなる検討方法の内容を吟味していく必要があると感じた。毎回福祉業界の時事に関する資料配布し、その説明を行い、福祉専門職としての理解を深められたと感じられる。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	細井 勇

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会福祉の歴史と思想	1	後期	選択	いいえ	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本講義は資格にかかわる指定科目ではないので例年受講者が少ない。しかし、2018年度は受講者32名と多かった。先生方の勧めのお陰である。アンケート(授業評価)では、受講動機として「単位数を確保する」が77%であり、「関心のある内容である」は27%(6名)であった。6名というのは「履修する上でシラバスを参考にし」て(7名)とほぼ同数である。シラバスでは、授業で次回資料を配布する、と書いたが徹底されなかった。今までの経験で事前に資料を配布しても読んでくるとは少ないようである。事前学習の動機づけには今後くふうが必要であると感じる。最初のオリエンテーションで、授業の進め方と最終課題のレポート提出を説明したが、実際に提出されたレポートでは参考文献を明記していないことが多かった。「この授業では、図書館の図書、雑誌を利用した」は6名に留まったのは衝撃であった。レポート課題にしたのは、自己学習を促す意図であったが、それはあまり達成されなかったことになる。今後は中間報告をしろもらい、参考文献等への個別の助言をしていくようにしたい。また、「授業中に、自分の意見をまとめ、話し合う、学生が参加する機会が得られた」という点で大きな問題があったことが確認できた。2019年度からは、話し合う課題を明確にして、意見交換し、それを発表する機会を何回も用意するようにしたい。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	どちらともいえない	やや達成された		やや達成されなかった		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>毎回授業では意見を書いてもらって、反応はよいと思っていた。西南学院では1年次の前期にキリスト教学が必修なので、キリスト教と社会福祉実践の深いつながりが理解されたと思っていた。しかし、授業評価を受けて、意見発表の機会がほとんどなかったこと、事前、事後学習で何をやっていいかわからなかった、という意見が多く反省している。授業を5回程度やって、一端まとめを行い、知識、理解を確認していくことを今後していきたい。また、最終レポートは、取組みを速め、中間的な報告をしてもらい、参考文献等の確認をして自己学習の内容を深めていくようにしたい。成績はSが8名、Aが18名、Bが7名で悪くはない。また、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は3、5であったので、知識理解としては「やや達成された」とした。しかし、授業評価から学生の授業への参加度は低かったので、意欲関心は「やや達成されなかった」とした。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>社会福祉の歴史と思想という講義名と、授業内容是对応していたと考える。ただ、キリスト教と慈善事業の連続性は19世紀末が中心なので、今日的な実践課題、専門職としての在り方にはそのまま連続しなかったと言えるだろう。社会福祉の展開を現在までの課題として説明し、実践的な知見を得ることにつながるような内容も盛り込んでいくようにしたい。私はここ10年、ドイツ、イギリス等を訪問し、実践的な知見も得ているので、そのことも授業に反映させていきたいと考える。特定の人物を取り上げ、その実践と思想を理解する、という方法には、よさと同時に限界もあると感じているので、最後の数回は、方法を変え、今日的な国際的動向を紹介するようにしたい。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>既書いてきたことだが、学生の授業への参加度に大きな課題があったので、改善していきたい。毎回というわけにはいかないが、皆で話し合ってもらって課題を明確に示し、議論し、意見発表してもらう機会を多く用意したい。最終課題であるレポートについては、中間の確認を行い、参考文献等で個別の相談に応じ、助言ができるようにしたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>授業科目名と授業内容は整合し。「既存の知識の修正や新たな知見を得ることができた」と評価してもらっている点は良かったと思う。しかし、学生に意見交換の機会、意見発表の機会ほとんどなかったこと、レポート提出を課題にしながら、自己学習の向上にあまり繋がっていなかったのは大きな反省点である。今後、既書いてきたような新たな対応を行ってきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習 I	1	後期	必修	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>入学し半年が過ぎ、基礎的な学習を経て来てはいるものの、社会事象を見聞きすることがこれまでとは随分と違って来ていると思われる。グループで、個人で調べる作業をさせたため「学習の準備」としてインターネットの活用を積極的に行っていたと伺えた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された		達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>「到達度」はいずれも高い評価であった。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>「到達度自己評価」各項目において高い評価であったことは喜ばしい結果と判断できる。また、「授業の質評価」での「授業中に、自分の意見を、まとめる、話し合う、発表するなど学生が参加する機会が作られていた」に高い評価があり演習の目的を十分に達したと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>考えさせることを主眼においていた。「授業以外に具体的に取り組んだ学習」として紹介した書籍を読んだと意見を出している者がいたことは評価したい。情報の取り方は結論だけを得ることに積極的だが、インターネットの活用をうまく利用させるなど今後の指導課題と思う。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>達成状況の総括的評価としては達成されたと考える。</p>
------------------------------	---------------------------------

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	山本 佳代子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習 I	1	後期	必修	はい	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、1年生の必修科目であり、社会福祉士としての必要な価値や視点、態度等を理解するとともに、社会や地域で起きているさまざまな福祉的課題の実情や背景、当事者について理解することをねらいとする。これらの課題について、DVD教材を通し現場の実際を知ることや、当事者を招き直接話を聴く機会を設け、より具体的に一人ひとりがそれらの課題について考えられるよう組み立てた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価を見ると、「知識理解」(DP1)は、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」において、「わりにそうだと思う」、「かなりそうだと思う」が67%で目標をやや達成したと考える。「意欲関心」(DP3)は、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」において、「わりにそうだと思う」、「かなりそうだと思う」が67%で目標をやや達成したと考える。「態度」(DP4)は、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」において、「わりにそうだと思う」、「かなりそうだと思う」が75%で目標をやや達成したと考える。「技能表現」(DP5)は、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」において、「わりにそうだと思う」、「かなりそうだと思う」が67%、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」において、「わりにそうだと思う」、「かなりそうだと思う」が75%であることから目標を達成したと考える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価の中央値から、内容的には妥当であると考えます。</p>
--	---------------------------------------

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>今年度は図書館ガイダンスを取り入れることができなかった影響もあり、昨年に比べ、図書館の図書、雑誌、インターネット等の利用が減少している。課題への取り組み方にも影響があると考えられるため、次年度は再度図書館ガイダンスを取り入れていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>到達度自己評価において、最も平均値の低かった項目「自分なりの目標を達成した」について、初回での目標設定が高かったのか、自己評価が高いのかなど様々な理由が考えられる。来年度は目標を明確にし取り組んでいきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅰ	1	後期	必修	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は1年次の必修科目であるが、社会福祉士指定科目でもあり、3年次の「相談援助実習」に向けた最も基礎的な知識・援助技術を学ぶ演習科目である。初年次の学習のため、社会福祉や社会福祉士の仕事への関心を高めることと、社会福祉にかかわる課題や課題を抱える人々に向き合う際の姿勢や考え方を身に付けることを目標に授業を展開した。学生の受講動機を見てみると、「必修科目である」が100%、「関心のある内容である」が7.1%であり、社会福祉を学ぶモチベーションの低さがうかがえる。このことから社会福祉や社会福祉士の仕事への学生の関心を高めるため、できるだけ社会福祉の利用者や実践者と交流できる機会を設けるようにした。</p> <p>前年度には、社会福祉への関心を高めるため、より実践的な内容を取り入れたり、学生が身近に感じられるようなタイムリーな話題を取り入れたりしながら授業を展開していくことを改善計画としてあげた。そこで今年度は難病当事者を講師に招き、講師との対話を通して利用者理解を深め、福祉的な関心を高めることを試みた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は80.8点、中央値85点であった。最低点60点、最高点90点と点数の開きが大きかったものの、約80%の学生が80点以上の成績を取っており、目標は概ね達成されたと考える。学生の学習到達度の自己評価をみても、「自分なりの目標を達成した」の項目については、平均値3.7、中央値4.0であった。目標の1つである福祉的関心を高めるという点については、DP3に関わる「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値3.8、中央値4.0であり、目標はおおむね達成されたと考える。基礎的な援助技術を身に付けるという点では、DP5に関わる「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値3.8、中央値4.0、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値3.9、中央値4.0であり、グループワークやコミュニケーションの演習の効果があったことがうかがえた。また「職業選択の参考になった」の平均値3.9、中央値4.0となっており、社会福祉士の仕事への関心を高めることもおおむね達成されたと考える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性</p>
--	--------------------------------------

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業の質評価では、「全くそうでないと思う」、「少しそうでないと思う」と回答した学生はおらず、平均値3.6-4.1、中央値3.5-4.0であり、概ね妥当であったと考える。</p> <p>学習量の評価を見てみると、2, 3回の予習をした学生は28%、4, 5回の予習をした学生は14%、2, 3回の復習をした学生は14%、4, 5回の復習をした学生は7%、自発的学習に取り組んだ学生も14%にとどまった。今後はさらに自発的学習をうながす工夫が必要である。ただ「図書館の図書、雑誌を利用した」学生は57%、「学術データベースを検索し、利用した」学生は50%、「インターネットのホームページを検索し、利用した」学生は71%と高く、調べ学習をもとにしたプレゼンテーションの機会を設けたことにより、利用率を高めたられのではないかと考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は社会福祉士の指定科目であると同時に社会福祉の基礎を学ぶ専門科目として位置づけられている。4. に記した学習達成度の自己評価、6. に記した授業の質評価より、概ね授業の目標は達成されたと考える。受講動機に記したように、初学者に対する社会福祉への関心を高める取組みは今後も重要であると考え。より実践的な内容を取り入れたり、学生が身近に感じられるようなタイムリーな話題を取り入れたりしながら授業を展開し、そのことが自己学習につながるよう努めていきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	高口 恵美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅰ	1	後期	必修	はい	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講同期は「必修科目である」が100%であり、続いて「資格取得に必要である」が28.6%、「関心のある内容である」が14.3%と、受講動機が低い。対人援助の仕事を目指す学生さんを対象としていたため、実践がイメージ出来るような事例を豊富に取り入れ、演習を行った。特に、多角的に物事をとらえ、考えを他者に伝える力を高めることを目的として授業を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された		達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価では「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」「専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた」「専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」という項目で、15名中10名が「かなりそうだと思う」と答えており、全体を見てもすべての項目において平均値4.3以上である。学習量については、授業の準備や復習を行った学生は少なく、図書館利用などにもつながらなかったため、今後このような機会が得られるよう工夫したい。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①カリキュラムマップ上の位置づけから見て、本科目は「必修科目」であり、相談援助の基本となる技術を身につけるための科目であり、内容は妥当であると考えられる。②DP、行動目標から見て、受講動機の低さが見られる中、学生の自己評価は全体的に高く、学習内容も妥当であると考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価について「評価基準が明らかである」の平均値は3.9、「学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値は4.1、「説明は理解しやすいものであった」は4.5、「自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど学生が参加する機会が作られていた」「口頭、文書など、何らかの形で質問を受け付け、答える機会が作られていた」の平均値は4.7であった。学習量の評価では、自主学習に取り組む機会を設けることが出来なかった様子がうかがえ、「学習の取り組み方がわからなかった」という意見も挙げられていたため、評価基準を明確に示し、また学生が自主的に自学に取り組むことが出来るよう工夫したい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>相談援助の基本的な技術の習得に向け、知識を「学ぶ」時間と、課題について「考え」ディスカッションする時間を多く設けた事から、学生の相談援助に対する関心が高まったと考える。しかし、授業時間以外に学習に取り組む機会につなげることが出来なかったことは課題である。以上のことから、学習のねらいや復習課題を提示するよう努めていきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	高口 恵美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	1	後期	選択	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機は「必修科目である」が33.3%であり、「資格取得に必要である」が83.3%、「関心のある内容である」が33.3%、「単位数を確保する」が29.2%であった。精神保健福祉士を目指すものにとって基本的な知識を得る教科であるが、関心は低めであり、単位数の確保を目的とした学生も3割程度存在した。授業では精神保健福祉に関する具体的イメージが持てるよう事例を豊富に取り入れながら、相談援助職における基本的なスキルとなる要約や記録の機会を多く設けた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された		達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価では「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値は4.2、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」「専門分野のさまざまな課題を検討する力をえることができた」の平均値が4.0と、精神保健福祉に関する理解を高めることができた。「専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」「職業選択の参考になった」の平均値4.0という評価からも、本教科を通して、精神保健福祉に関する関心を高めることができた様子が伺える。一方「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値は3.5と全体を見ると低めであった。これは授業内容が記録や要約、知識の習得を中心に授業を進めていたためであると考え。今後、学生が主体的に学習に取り組めるよう、問いや考察を深める機会を取り入れたい。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見、本科目は資格取得に必要な「選択科目」であり、精神保健福祉に関する基盤となる知識を高める教科である。学習達成度の自己評価からみても、DP、CPともに内容は妥当であると考え。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価について「評価基準が明らかである」の平均値は3.8、「学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値は3.7、「説明は理解しやすいものであった」「自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど学生が参加する機会が作られていた」「口頭、文書など、何らかの形で質問を受け付け、答える機会が作られていた」の平均値は3.8であった。今後は、評価基準や学習課題など明確に示すよう意識して取り組みたい。また、考察や意見交換の時間を意識的に設けたい。学習量の評価では、積極的に記録を取り入れたこともあり、期待以上に予習復習に取り組んでいる様子が伺える。更に理解を深めるため、学生が自主的に調べて考察することが出来るよう工夫したい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>精神保健福祉の基本的知識を「学ぶ」時間と、学んだことを要約し記録する時間を多く設けた事から、学生の知識向上につながったと考える。その結果、精神保健福祉に関する関心の高まりや、「この講義を通して精神コースにしようと思った」など進路選択のきっかけとなっている。さらに、ディスカッションの時間などを積極的に取り入れ、自身の考えを深める機会を設けたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	野井 未加

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
心理学概論Ⅱ	1	後期	選択	いいえ	75

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>福祉の領域の専門職を目指す学生が、総合的な人間理解の基盤を確立するための1つの学問領域として、心のメカニズムを究明する心理学を学ぶことは極めて重要であると位置づけている。内容的には理論的要素の強い学問領域であり、特に脳の働きと人間の行動との関連に重点が置かれているために、文系の学生には理解しにくい学問と言えるであろう。また高校までに生物を学んできたかどうかで、学生間の学修準備性は大きく異なると考えられた。従って第1回目の講義において「生物を学んだことがあるか」について口頭で問うたところ、半数以上の学生が生物を学んできていないようであった。そのため脳の働きを説明する前に、ニューロンの役割など基本的なところを細かく解説し、対応した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成されなかった	やや達成されなかった				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本試験の成績の平均値は66.6(±14.4)であり、最終的に単位を取得できなかった者は受験不適格者及び追再試験欠席者含め11名であった。追再試験受験者数が21名と昨年度と比べ平均値は下がり、追再試験受験者の人数が増えた。ただし80点以上の者が20名以上おり、成績の分布を見るとふた山ほどのピークがあるものと考えられる。最終的に不可であった学生の試験の回答内容を検討する限り、本試験にあたって準備不足であったと考えられる。また何度か「分からないところはそのまましておかないこと」「レジュメや教科書で分からない場合には心理学の他の教科書などを読んで復習に努めること」等指示を行ったが、学習量の評価を見ると復習を行った者の人数と成績の良かった者の数が大よそ同じであったため、日ごろから復習を行っていた者とそうでない者の差が出た可能性がある。まずは日々の復習から力を入れてもらいたいと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉学を学ぶ上での基礎科目として位置づけられており、学科のCPとも合致する科目であるといえるであろう。学生も「必修科目である(実際には選択科目であるが)」、「資格取得に必要である」、「関心のある内容である」と考えている者も多いため、内容的妥当性があるものとする。一方DP及び行動目標から検討するとDP1について達成されているとは言えず、方法的妥当性の問題があると考えられる。昨年度に知識理解を向上させるように復習を促していく事を課題として提示したが、それが十分に伝わっていなかったものと考えられるため、さらに復習を推奨していく事が必要であろう。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において「説明は理解しやすいものであった」という項目の平均値が3.9と比較的高かったことから、講義内容そのものに対する評価はそれほど悪くなかったと考える。しかしながら復習機会が少ないために授業で理解したことが定着していなかったモノと考えらえる。理解を定着させるためには復習が必要であることを何度も指示していくしかないと考えている。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>学生のコメントとして「例があると分かりやすく入りやすかった」「授業は面白いものだった」「先生が試してみてくださいと言ったことを試した」など、講義内容を楽しいものと評価したり、興味を持ったことについて自分なりに調べる・体験する・復習するなど実際の行動に結びついていた者がいたことは嬉しかった。理解を定着させる努力をする学生が増えることを期待する。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	野井 未加

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
発達心理学 I	1	後期	選択	いいえ	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本学科が養成する資格を取得する上で、胎児期～児童期までの発達過程について心理学的観点から理解することは極めて重要であると位置づけているが、受講者数が昨年度に比べ大幅に減少したのは残念な事であった。内容的には理論的要素の強い学問領域ではあるが、自らの発達を振り返ることができるためイメージしやすいところがあったと考えられる。またできる限り、具体的な事例などを紹介することでイメージの共有を図った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は73.1(±16.9)であり、最終的に単位を取得できなかった者(放棄した者を除く)は1名であった。学生による到達度評価が3.8と高めであり、知識の確認・修正・獲得の領域も3.9と高かった。成績の平均値より、学習量は低いものの授業の内容の理解は一定程度達することができたと評価できる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の内容は福祉の専門職(特に児童・障害児・教職・保育)にとって必須の知識であり、学科のCPとは合致していると考えられる。学生の受講動機としては「必修科目である(実際は異なるが)」「資格取得に必要である」「関心のある内容である」がそれぞれ10.7%、39.3%、35.7%と多くを占めており、この点からは内容的妥当性があるものと考ええる。一方DPは標準的水準以上の達成をしていると評価しているものの、学生の学習量は十分とは言えず、授業の内容以上に知識を増やそうという意欲のある学生が少なかったのが残念な点である。人間の発達の複雑さ、面白さに触れ、自発的で発展的な学習を促すよう、参考文献などを適宜紹介していきたい。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価においていずれの項目も3.5-3.9と、昨年度と比べ評価が大幅に上昇したと理解している。また直接質問に来る学生も少数ながら存在した。ただし、本講義の直後に会議があるためゆっくり学生の質問に応じる時間が取れなかったことが懸念される。一方、学生からの質問については感想に記載されているものもあった。以前の授業では感想に書かれた質問に文書で応じたこともあったが、回答だけで4, 5ページに至り先に進めないこと、学生自身が自己学習する機会が減ってしまうことが懸念されたため、2016年度より第1回目の授業の中で、「分からないことがあれば、一度は自分でレジュメや教科書、その他の関連図書を読んで解決する努力をしてほしい。その上で分からないことがあれば、直接質問に来るように。」と伝えることとした。また参考になる関連図書についても提示した。予習・復習の仕方については、一人ひとり理解度や学習方法が異なるため、各自に必要な程度・方法で行ってほしい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>学生自身の到達度評価及び成績も概ね高い値を示していると考えられるため、本科目における授業構成・展開でさほど問題はないと思われる。課題としては、学生が自発的・発展的に学習するように、レジュメに提示されている参考文献を読むなどの注意喚起を行っていく。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
臨床心理学概論	1	後期	選択	いいえ	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機は、「必修科目である」82.9%、「資格取得に必要である」41.4%、「関心のある内容である」12.9%、「単位数を確保する」10.0%であった。本科目は選択科目であるが、資格取得のための必修科目として受講した学生が多かったようである。本科目は、1年後期開講科目であり、初めて臨床心理学に触れる科目であることから、その基礎理論を具体的に分かりやすく伝えること、テキストの内容に加え、適宜参考資料をプリントし添付することで、学生のこの分野への知識理解の深まりと意欲関心の高まりを促している。</p> <p>授業毎に提出させている小レポートに挙げられた質問や疑問は、次回授業にてフィードバックを行い、学生の関心に応じるよう工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された		達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は79.5点であった。本試験受験者全体71名に対し、80点以上の理想的レベルの者は39名であったことから、半数以上の者が理想的レベルの知識理解と関心意欲を獲得したと考えられる。また、追再試受験者中67%の者については、再度勉強をし直し標準レベルの知識を獲得したことを確認することができた。学生の自己評価においても、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均点は3.7点と高い。その他項目についても概ね3.6点であり、知識の習得の実感を持ち、意欲的に課題に取り組んだと評価する学生が多かったと考えられる。</p> <p>意欲関心については、殆どの学生が小レポート30点配点中8割を超えており、概ね達成されたと言える。</p>					
<p>* 根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「選択科目」であるが、社会福祉士、精神保健福祉士、養護教諭、保育士など対人援助職としての専門性を獲得する上で、臨床の心理学を学ぶことは基礎である。したがって、1年次の臨床心理学概論の学習は重要でかつ妥当であると考えられる。</p> <p>臨床心理学概論における臨床心理学の基礎理論は、カウンセリング論、発達臨床心理学における応用的知識へつながる重要な導入科目として位置づけられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業は、スライドを用いてテキストのキーワードや概念を分かりやすく伝えるように工夫した。また、テキストの内容に加え、適宜参考資料をプリントし添付することで、学生のこの分野への知識理解の深まりと意欲関心の高まりを促した。</p> <p>学生アンケートによると、学習準備を30分程度1回以上行った者が45名だった。また、復習を30分程度1回以上行った者が52名だった。約7割の学生が予習復習に取り組んでいる。これは、授業内容は新しい概念や言葉など知識獲得を目的とするものであったため、まずは授業内容を理解し獲得していくことに専念した学生が多かったと言える。</p> <p>自由記述欄にも、授業以外の学習について「取り組み方が分からない」という感想の一方で、「予習復習をして自分なりに理解を深めた」「教科書をしっかりと読んだ」「ノートにまとめた」を主に行ったと述べている者が多く、まずは授業内容を自分のものとして吸収することを念頭に学習をしていることが伺える。毎回、提出すべき課題等を課しているわけではないが、学生が自主的に予習・復習に取り組んでいたことが伺え、また、その結果は試験に反映されたと考えられる。</p> <p>試験前には、個別に質問や確認に来るようにと促していたが、成績の振るわない学生のなかには、授業内容についての疑問や自分自身の学習課題を解決できていない学生が含まれているようであったことから、今後もそのような学生に対し、積極的な学びを引き続き促していく必要がある。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目の目的とする基礎的知識の形成、意欲関心の向上について、概ね達成できた。</p> <p>一部学生に、自主的な予習・復習を行い、日々の授業内容について行くことが難しい学生がいたことから、そのような学生に対しても十分な学びを促していきたい。</p>
------------------------------	---

学科	福祉学科
氏名	目野 郁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
微生物学	1	後期	選択	いいえ	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>① 本科目の該当DP、授業概要、達成すべき行動目標と達成目安については、パワーポイントを用い、印刷物を配布し説明した。また、養護教諭免許取得のための必須科目であるため、科目のカリキュラム上の位置付けについても丁寧に説明した。</p> <p>② 資格取得に必要な科目のため講義の内容量が多い。そのため今年度から講義回数半ばで小テストを導入し、学習意欲とモチベーションを持続させる工夫をした。また、学生の理解度の把握に役立てた。</p> <p>③ 基礎的な事項から始め学校現場を想起できるよう感染症事例を展開し講義を実施した。また、将来の就職先につなげるよう子どもや高齢者の感染症について最近のトピックスを中心に講義を行った。</p> <p>④ 質的・量的にかなり重たい講義のため、講義内容を整理するために講義進行にそって重要ポイントを数回提示し、学生の自主学習を促した。</p> <p>⑤ 講義の理解度を測るため、講義中に教員側から積極的に質問をした。学生の理解度が低いと思われる箇所は繰り返し説明した。また、学生にも声かけし質問をうける体制を作った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>① 総合評価の平均値は70点であり、再試3名と追試1名の対象者がいた。うち1名が受験し再試験に合格した。53%の学生が標準レベル(70点以上)に達しており、理想レベル(80点以上)に達した学生は21%だった。小テストの平均得点は7/10点であった。</p> <p>② 自由記述から「ノートにまとめる、予習した、復習した」などの記述があり、自主的に学習に取り組もうとする学生の姿勢が伺えた。</p> <p>③ 学生の自己点検評価値は、「知識を確認し新たに得ることができた4.2」、「専門分野について学びたいと意欲をもつことができた4.2」と昨年に比較し評価値は高く、上記到達度が理想レベルに達した学生も多いことから、学生が努力した様子が伺える。また、「職業選択の参考になった4.0」から講義内容も適切だったと思われる。学習量については、1回に30分以上の予復習の時間を4、5回以上かけた学生は14～25%、一方0回の学生は8～10%と昨年に比較し学生の学習量は増えた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>① CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 この科目は専門教育科目であり、養護教諭免許取得のための必須科目である。福祉・医療・学校現場で必要な感染症の知識を身につけるための講義内容としては妥当であり、学生の到達度自己評価「職業選択の参考になった4.0」からも科目内容は適切だったと思われる。</p> <p>② DP、行動目標からみた内容的妥当性 養護教諭採用試験や福祉・医療現場で役立つ知識の修得を目指しており、学生の到達度自己評価「知識を確認し新たに得ることができた4.2」「専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた4.1」「的確に判断する力を得ることができた4.0」からも内容は妥当であったと思われる。</p> <p>③ まとめ 上記で述べたように、本科目のCP上の位置づけもDPを達成するための講義内容についても妥当であると考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①今年度の授業工夫が、学生の到達度自己評価や授業の質評価にプラスの方向で反映されていることから、次年度も今年度の授業工夫を継続し行う。 ②レポートをなくしたことで、図書館利用率は減少している。一方、 課題以外の自主学習をする時間が増えていることから、次年度は雑誌・図書を積極的に利用し自主学習をするよう学生に促していく。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>・専門教育科目、教員免許資格に関わる科目として将来の就職現場に必要な知識を修得し、理解するという目標はやや達成できたと思われる。 ・次年度も今年度の授業における取り組みを継続し行なう。また、修得した知識が、将来の就職現場にどのようにつながるかをイメージできるような講義内容を提供することで学生の学習に対するモチベーションを上げていきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	中島 俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育者論	1	後期	選択	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>講義を受ける学生との対話ある講義を心掛けたいと準備した。講義の導入に当たり学生の興味・関心のある内容を話すために、毎講義の最後に本時の講義に対する感想や質問を書いてもらうこと死している。本時終了後にその内容を精査して回答や問題定義を考えて講義に臨んだ。このことでスムーズに講義の内容には入れた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された			
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>多人数の講義だったがこれに対する評価は一定の成功を示していると思われる。それは以下の3点においてである。①成績評価のほとんどが平均以上の結果を出している。②自由記述の欄に、「ためになり、わかりやすく、面白い講義であった」と講義者の狙い通りのコメントが見られた。③学生の出席状況からみて、欠席傾向のあるものを除けば、95パーセント以上の学生が講義15回の90パーセント以上の頻度で参加していることは学習意欲の高さが示唆される。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>アンケートに記入された受講動機や自由記述を概観すると「心理学的なことに興味を持っている」「人間行動の不思議を知りたい」「人の心を理解するために必要」など心理的な知識やそれを応用したいとの意欲が伺われるので、その成果から勘案してこのカリキュラムマップと講義内容との整合性は妥当であると思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>昨年度の問題点であった、自学自習を促すための「次回の授業までに日々の生活の中で心にとどめておいてもらいたいこと」を伝えた方が良いのではないかと授業アンケートの結果からまだまだ改善されていないと言える様である。昨年同様に学習量を高める工夫の一つとして予習の課題設定を今後さらに試行継続してみたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>講義の道は経験は多いけれど、今年度の達成状況の総括的評価は3段階A,B,C評価のBの中ではなからうか。授業はアートだと思う。授業者の体調、意欲。内容の鮮度。それに受講者の体調や意欲と能力、抱える日常の悩みなどが微妙にからみ合う相互行為である。なそうとしても良い授業ができない場合もある。しかし良い授業ができたときはすぐわかる。終了後に出ていく学生の顔に如実に表れる。おいしい料理を食べたときと同じ顔になると経験的に思っている。本年度はその数においてやはりBの上であった。努力を重ねたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容 ことば	1	後期	選択	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、7割以上の学生の動機がそれに該当科目である。そのため、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された		達成された	達成された		達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価結果から全体的な教育目標は達成できたと考える。学生の「到達度自己評価」においても全項目4.2点以上であり、学生の主観的な達成度も概ね高いと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、特に保育技術に関する内容の教授であることから、関連DPについては妥当であるとする。また、実習に行く前に身につけておくべき内容であることも含めて、CP, カリキュラムマップ上の位置づけも妥当であるとする。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方は概ね問題ないと考えている。実演形式で保育の表現技術について教授した。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>成績評価上も概ね教育目標は達成できていると考える。</p>
------------------------------	----------------------------------

リフレクションカード 2018年度後期

学科	福祉学科
氏名	金谷 めぐみ

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育の表現技術Ⅱ	1	後期	選択	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業では、保育士に求められるピアノの技術を習得する。入学時に学生のピアノ経験の有無があるため、あらかじめアンケートを実施し、ピアノ経験年数を把握し、ひとりひとりに適した指導を心掛けた。また、学生の学習内容を確認できるよう「レッスンシート」を作成し、学生が練習課題を記入したものを教員が毎回チェックすることで、適切に助言できるよう工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートにおいて、学生が授業時間外にピアノの自主練習を行ったことが記述されており、学生が技術習得に向けて自主的に取り組んだことが示された。また、音楽の基礎知識においても学習準備性においてばらつきがあり、必要に応じて個別指導を行うことによって全員が一定程度のレベルに到達することができた。試験の結果から、大半の学生は一定程度の技術レベルに到達することができたと判断された。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPカリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性 本科目は1年次開講科目であり、保育専門科目の受講に対する動機づけにつながるという点で重要な科目であると考え。教育目標においてはピアノ奏法のレベルによる目標設定を行ったが、授業内容としては歌唱や人の前に立って表現活動を行うことを取り入れた。また、学習準備性において個人差が大きかったものの、授業への取り組み、達成状況においてはある一定の成果が得られたことから、内容的には妥当であると判断できる。</p> <p>②DP行動目標からの内容的妥当性 それぞれにおいてある程度達成されており、内容的妥当性には問題はないと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」の平均値が4.9と高い値であった。ピアノ奏法の評価基準について、昨年度よりより具体的に示し、学生の試験に向けた取り組みに役立つような内容となるよう工夫できたと考えられる。その他の項目についても、平均値は4.7以上と高かった。音楽的基礎知識の獲得と学生が自ら音楽表現を楽しむことに重点をおいたことで、学習への意欲を向上させることができたと考えられる。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>達成度自己評価の結果と日々の学生の取り組みの様子から、教育目標は一定程度達成できたと考えられる。本科目は1年時のみの開講であり2年次以降は個人の努力でさらにピアノ奏法のレベル向上に努めていくことが求められることから、学生の技術習得への意欲を高め、自発的な練習につながるようさらに工夫していくことを来年度の課題としたい。</p>
-------------------------------	--